町田の教育

2011

町田市教育委員会

はじめに

町田市教育委員会では、教育目標を掲げ、その実現に向け教育行政を進めておりますが、より効果的に推進していくためには、市民の皆さんをはじめ、町田の教育にかかわる方々のご理解とご協力が何にも増して必要となります。そのためには、より多くの方々に教育行政の動きを知っていただかなければなりません。教育委員会では、あらゆる機会をとおしてお知らせしているところですが、その一つとして、町田の教育行政のあらましをまとめた「町田の教育」を発刊しています。町田の教育行政の一端を知っていただければ幸いです。

2011年(平成23年)11月

町田市教育委員会

町田市教育委員会教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに 社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つこと を目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

目 次

【教育委員会】		(7)不登校による長期欠席の児童・	38
1.町田の教育のあゆみ	2	生徒への支援体制	
2.教育プラン	8	5.就学相談・特別支援学級	39
3.教育目標	9	(1)子どもたちの就学	39
重点施策及び重点事業	13	(2)特別支援学級	39
4.教育委員会	15	(3)連合行事	42
(1)教育委員会の委員	15	(4)進路一覧	42
(2)教育委員会の開催	16	6 . 児童・生徒の文化・スポーツ活動	43
(3)2010年度教育委員の主な活動	19	(1)連合行事の開催	43
(4)学校支援地域理事	21	(2)町田市公立小・中学校作品展	43
(5)教育委員会の組織と事務分掌	22	(3)各種大会への参加助成	43
5.教育予算	24	7.教育のための支援	45
主な事業と予算	25	(1)就学援助	45
		(2)通学費補助制度	46
【学校教育】		(3)校外学習への補助事業	47
1.児童・生徒数	28	(4)奨学金制度	47
(1)学級編成	28	(5)特別支援学級の就学奨励	48
(2)学級数及び児童・生徒数	28	8.研修・研究	49
(3)児童・生徒数の推移	28	(1)研修	49
(4)学校選択制度	29	(2)研究	50
2 . 学習指導	30	9.学校保健	53
(1)教科指導	30	(1)各種診断・検査	53
(2)領域指導	30	(2)学校環境衛生の確保	53
(3)その他	31	(3)町田市学校保健会	53
3 . 生活指導	32	(4)日本スポーツ振興センター	53
(1)進路指導	32	10 . 学校給食	58
(2)禁煙・薬物乱用防止にかかわる	32	(1)学校給食の指導目的	58
指導		(2)学校給食の栄養内容	58
(3)生活指導補助者の派遣	32	(3)学校給食の衛生管理	58
4.教育センター	33	(4)学校給食施設の整備	58
(1)施設概要	33	(5)町田市学校給食問題協議会	59
(2)研究・研修部門	33	11.学校施設	61
(3)教育相談部門	34	(1)学校施設の現状	61
(4)小学校適用指導教室「けやき教室」	36	(2)学校施設の整備	61
(5)情報教育部門	36	(3)学校施設の耐震補強工事	62
(6)庶務部門	36	(4)学校新設事業	62

【生涯学習】		5 . 歴史文化財	91
1 . 生涯学習	64	(1)自由民権資料館	91
(1)社会教育委員	64	(2)考古資料室	92
(2)まちだ市民大学 HATS	65	(3)文化財の保護	93
(3)生涯学習情報の提供・団体活動	68		
の援助		【資料編】	
(4)学校施設「特別教室」の開放	69	1.町田市教育委員	98
2 . 公民館	71	2 . 各種委員一覧	99
(1)施設概要	71	3 . 小学校一覧	101
(2)施設内容	71	4 . 中学校一覧	103
(3)利用案内	71	5.児童・生徒・学級数の推移	104
(4)各種講座等の開催	72	6 . 学校施設一覧	105
(5)ことぶき大学	73	7 . 学校施設新増改築のあゆみ	107
(6)障がい者青年学級	73	8.小・中学校配置図	110
(7)町田市公民館運営審議会	73	9 . 社会教育施設配置図	112
(8)施設貸出し状況	73	10 . 年表	114
(9)事業一覧	74	11 . 問合せ一覧	122
3 . 図書館	77	12.私立学校等一覧	123
(1)貸出サービス	78	13.町田市子ども憲章	124
(2)移動図書館サービス	80		
(3)リクエストサービス	80		
(4) レファレンスサービス	81		
(5)障がい者サービス	81		
(6)視聴覚サービス	82		
(7)児童サービス	82		
(8)ヤングアダルトサービス	83		
(9)ホームページ上でのサービス	83		
(10)相互利用サービス	83		
(11)行事	84		
(12)町田市立図書館協議会	85		
(13)町田市子ども読書活動推進計画	85		
4 . 町田市民文学館	86		
(1)施設概要	86		
(2)施設内容	86		
(3)利用案内	86		
(4)各種機能	86		

教育委員方



1. 町田の教育のあゆみ

学制発布前後(明治前期)

明治5(1872)年の学制発布以前は「読み・書き・そろばん」が庶民の教育で、寺子屋や私塾・家塾等の私設の教育施設と、郷学校等の村や地域・有志等が設立した公共的性格をもった学問所があった。町田市域には相原地区の円山塾ほか合計で36を上まわる寺子屋ないしは私塾があったとみられている。

明治維新の後、政府と各府県は公教育の確立のため郷学校の開設を奨励した。そして、町田市域に開校したのが小野郷学である。

明治4年8月、神奈川県は前年に出た太政官の達しを もとにして、県下における郷学校設立の触れを出した (廃藩置県から町田市域は神奈川県へ編入。東京府に移 るのは明治26年)。



小野郷学の扁額

小野郷学は、これに先立つ同年1月、小野路村寄場組合を訪問した県吏員の勧めから近隣の村落が結集し、翌2月に開校していた。学制発布に基づく小学校の設置までの2年余と短命であり、就学率も高いとはいえなかったが、9歳から66歳までと幅広い層の就学者と、その半数近くを20歳代・30歳代が占め、成人を含めた教育機関の様相であったこと、授業料は徴収せずほとんどを有志の寄附でまかなったこと、すべてが村民の手で運営されていたこと等、村民の教育の普及にかけた意気込みとそれを可能にしたエネルギーの存在を示し、教育史上評価に値するものといえる。

明治5年8月、政府は学制を発布、学校制度が始まった。しかし、校舎、教科書、教員等、制度を支える条件の整備は未解決であった。町田市域では明治6年5月までに、19の小学校舎が開設されたが、校舎には、寺院を充てた例が圧倒的に多かった。開矇学校(現南一小)は独立校舎をもち、明治12年までには11校の新築をみたが、いずれも草または板葺き、障子張りの簡単な建物にすぎず、建坪も少なかった。例えば大蔵村の育英学校は32坪(105.8㎡)であった。



明治 23 年 成瀬学校(現南二小)開校式

また、校舎の建設から教員の給与など、すべてが民費 負担であり、学制の実施には財政上の無理があった。例 えば大谷村の真敬学舎では、開校半年で本町田村の昭明 学舎へ吸収合併し廃校とする案が出ているほどである。

当時、町田市域の就学率は全国より高いものであったが、農作業の手伝いを失うことや月謝は大きな負担であり、困窮、奉公等を理由に不就学を届け出る者もまだ多くいた。

政府は、こうした地方財政の窮状により、12年に学制を廃し、新たに教育令を公布して条件を緩和した。しかし、このことが学校の縮小や寺子屋式教育への回帰を招き、就学率が低下したため、翌年には改正令を発布、中央による統制強化に再転換した。あたかもこの時期、神奈川県下三多摩地方には自由民権運動の波のうねりが起こりつつあった。

明治中・後期

明治 22 (1889) 年、町村制が施行され、町村合併から、町田市域には、町田・南・鶴川・忠生・ 堺の五つの村が誕生した。この合併は、すでに 17 年 7 月より実施していた連合戸長役場制をより 強化し、村の力をつける目的で行われたものである。こうして財政的基盤の確立が急がれる一方、 小学校令の公布(明治 19 年)等による制度的な進展もあり、20 年代の初めには日本の近代教育の 原型がほぼ整えられるようになった。小学校の教科が、国語(読書・作文・習字)・算術・地理・ 歴史・理科・図画・体操・唱歌・裁縫・修身となったのも、14 年の文部省通達のあと、19 年に「小 学校の学科及びその程度」が制定されてからのことである。

極東の小国であった日本が、列強の中で生き抜くためには、産業を興し国富を増やすと共に国民の知識水準をあげることが絶対に必要とされ、その努力が急ピッチで行われた。これは、清国、帝政ロシアへの対応の必要性が現実のものとして国民の間に強く意識されたからである。そのために明治中期以降の教育が、質実剛健の気風を高めつつも、知育強化に傾いていったのは自然の勢いであった。明治 41 (1908)年になると修業年限が変更され、義務教育の尋常小学校を 4 年間から 6 年間に延伸し、これに伴って 4 年間だった高等小学校を 2 年間とした。

市域の小学校が村ごとに統合をみたのはこの前後の明治34年から45年(大正元年)である。例えば鶴川地区では尋常5校と高等1校を統合して、鶴川尋常高等小学校が41年に発足した。最終的に市域の22の小学校は7校になった。

この時期の町田市域の教育の様子は、開矇小学校長を務めた坂本龍之輔の伝記小説『小説教育者』 (添田知道著、昭和18年新潮文芸賞のうち大衆文学賞受賞)に生き生きと描かれている。

本著は坂本の半生を教え子の添田が書いたもので、以下のような内容となっている。坂本は明治 27 年 10 月から 33 年 9 月までの 6 年間、開矇小学校に校長として赴任した。日清、日露の戦雲が急を告げる一方、市域には過激な政治運動を行う三多摩壮士もいる状況の中で、教育予算の確保のために頭を悩ませつつ、地域と子どもの実情を直視し、それにこたえる実用教育の建設に全力を投入した。本書が描く彼を取りまく状況の中に、明治中・後期の市域の教育の姿の一端をうかがうことができる。

大正期

この時期の日本は、第一次世界大戦、米騒動、関東 大震災とたてつづけに大きな試練に出あうが、大正時 代は明治期と一種違った、いわゆる大正デモクラシー の時期でもあった。これが教育界にも個性尊重、個別 学習重視の『八大教育主張』に象徴される新風を呼び 込んだのである。

知識重視の注入主義が真に身についた学力にならなかったことの反省は、既に明治の後期から指摘され



大正時代の小学校

ていた。こうした機運を反映して、政府が設置した諮問機関の臨時教育会議は、大正6 (1917)年 「不必要ナル記憶ノ為二児童ノ心カヲ徒費スルノ弊風ヲ矯正スルノ必要アリト認ム」と答申した。 こうした情勢の中で、文部省は国定教科書の内容を日常語化する等の手直しを進めたが、このような教育思潮の変化が町田市域の学校教育にどのような具体的影響を及ぼしたかについては、はっきりしたことは判っていない。子どもたちの昼食は依然として日の丸弁当であったし、履物は手作りの草履であった。先生の教えも厳格だったし、一律の知育重視の教育であった。しかし、新しい様相が全くなかったわけではない。例えば、大正後期から昭和初期にかけて、町田市域の各学校で、運動競技、特にバスケットボールが盛んになって、対抗試合が目立って頻繁になった。南小学校には優勝旗が20本もあったというし、鶴川小学校では女子が膝丈位の着物を着て、竹の皮草履の音をぴたぴたさせながら、忠生小学校までバスケットボールの練習試合に出かけたという。また、町田小学校は800mリレーなどの陸上競技で他校の大会に参加しては優勝旗を獲得して、学校の教材室を所狭しと飾ったそうである。

明治初頭以来、体育は健全な精神と肉体を育成するために重視され推進されてきていた。こうした努力がこの時期になって、次第に実を結んでくるようになった。例えば、日本がオリンピックに初めて参加したのは大正元年、初めての金メダル獲得は織田幹雄の三段跳で昭和3年のアムステルダム大会であった。

大正期の新教育の一つの方向は、固定の教科の枠を越えて、自由に学習領域を広げようとしたことであるといわれているが、そこには学校行事や教科外活動を正課と認めて指導すべきであるという主張もあった。市域の小学校における運動の興隆は、こうした社会状況と大正期の新教育の傾向とが交互に作用して現われたものと理解することができる。

学校行事といえば、遠足や運動会は明治期より行われている。遠足地は、市域内では薬師池が多く、近隣地では百草園や八王子等で、紺絣の着物を着て、地下足袋を履き、風呂敷包みにくるんだ弁当を背負い歩いていった。横浜線が敷かれてからは、鶴見の花月園や江ノ島、鎌倉等がこれに加わっている。また、昭和の初め、町田の常設館(現在の原町田四丁目にあった)で南部4か町村(町田・南・鶴川・忠生)の連合音楽会が開かれたが、こうした行事も大正期の教育の一点景といえよう

義務教育の就学率は、大正の初期に 98 パーセントを突破した。市域の場合、明確な数字が出ていないが、明治の終わりから大正の初めにかけて児童数が急増したことや、女子の卒業生が男子を上まわる年があることなどの事実から同じような率の向上があったものと推察される。

大正期の義務教育は、質の問題が残されたとはいうものの、国民の間に十分浸透したといってよいようである。なお、こうした情勢をうけて大正期には市内各校で校舎の増改築が進行している。

昭和前期

昭和前期の教育は、一口にいって戦時体制下の教育である。大正 15 年、青年訓練所令が公布施行されて、小学校卒業者に 4 か年の軍事教練を含む公民教育を行うことになったが、その教場は小学校であった。男性の教員の多くは、並行して開設されていた補習学校の普通学科や修身公民科の指導に当たったのであった。

昭和12(1937)年7月、日中戦争が勃発すると国内の戦時体制は急速に強化された。

教育もその影響を色濃く受けて、昭和 16 (1941)年3月には国民学校令が公布されるに至った。 町田市域の小学校は4月1日を期して一斉に 国民学校と名称を変更した。 これに伴って高学年男子には剣道及び柔道が、同女子には発力が正課として加わることとなった。日本の教育はもともと精神主義的傾向が強かったが、この時代にはそれが極端に尊重された。小学生に軍人勅諭を暗唱させたり、毎朝の朝礼に「海行かば」を歌わせたりする一方、連帯責任ということが強調された。

戦争が激化し、とくに太平洋戦争(第二次世界大戦)が始まると、出征した兵士のあと、働き手を失った農家への勤労奉仕が高学年の日課となった。町田郵便局や軍需工場への動員も始まり、学校へ登校することはなくなった。

こうして子どもたちの影がうすくなった市域の各学校へ、昭和 19 年 8 月、空襲の危険をさけて 区部から 689 名の児童が疎開してきた。

しかし、学校の実情は勉強どころではなかった。特に 疎開の受入れ先の教師達は、食糧や物品の確保と児童の 健康維持に身をすり減らす日々を送っていた。戦争の激 化は教育をも次第に追いつめていったのである。

なお、昭和初期には、玉川学園、町田女学校・町田高等女学校(後の都立町田高校)原町田幼稚園と私立の学校が開設された。



東雲寺の疎開児童

戦後

昭和20(1945)年8月、終戦と同時に日本の学校教育は、占領政策の規制をうけて、その制度が 根底から改革されることになった。

文部省は、同年9月には新しい教育方針と「終戦二伴フ教科用図書取扱方二関スル件」を発し 戦時教育を一掃する姿勢を見せ、22年に、教育基本法及び学校教育法の制定、学習指導要領・一般 編(試案)を公布し、新教育の具体的学習活動が進められるようになった。

なお終戦後すぐの学校の様子について、教科書の墨塗りや焼却処分、MP(米軍憲兵)の巡検があったことなどが学校日誌に残っている。

こうして 6・3・3・4 制が実施され、同 22 年より新制中学が発足することになり、ふたたび市 民の浄財と奉仕によって、それぞれの町村に中学校が設置された。

また、この時期すでに町田市域には住宅進出が始まっていて、人口増加が進みつつあった。町田小(現町田一小)では昭和26年4月の児童数が2,980余名、学級数が60となり、教室の増設が急務とされ、昭和27年に町田二小、町田三小、昭和30年に町田四小が開校した。他の地域でも忠生二小、南三小等、分校が独立するなどしている。

高度経済成長期、東京への人口集中の波が町田にも押し寄せ、昭和40年頃から大規模な団地建設が進むと、団地人口の急増は児童・生徒の増加となり、さらに学校建設に追われた。終戦時に7校であった小学校は、昭和59(1984)年4月には44校となり、中学校は5校から20校にとふくれあがった。

市の人口増加に伴って、公私立の高校、大学が住宅都市に進出したのも戦後の特徴である。高校の進出は昭和21年の桜美林学園の創設に始まり、大学は昭和22年の玉川大学の認可が最初である。

現在、市域の高校は都立7校、私立5校、高等専門学校1校で、大学は短大を含めて9校を数える。

児童・生徒の急増、学校の増設は教職員の意識を変えた。区部の学校を経験した教師の増加や1割を超す新採用教師の加入は、教育活動を活発にした。また、町田の子も色々な地域や学校から転入してきた児童・生徒の影響を受け、生活が大きく変わっていった。

戦後の新学制は、社会科や特別活動の新設、学校給食の実施、児童・生徒の自治活動の重視等教育内容を大きく変えた。その実施にあたって、当初は少々の混乱があったが、一世紀近い近代教育の積み上げがものをいい、急速に定着し安定に向かっていった。そのころから、人口の都市集中と歩を合わせるように受験戦争が激化し、学習塾や進学塾に通う小・中学生が増えた。子どもたちの生活にも都市化傾向がみられるようになり、様々な問題行動が発生し、教育関係者の悩みの種となっていた。

一方、障がいのある児童に対する小学校での特別な教育は、昭和 20 年代後半から徐々に試みられてきたが、町田市が学級を設置したのは昭和 34 年である。以来、父母の要望とこれに積極的に応える学校の具体的な実践、人的・物的条件の整備に手を尽くす行政の施策等により、子どもたちの教育環境が整備され充実して、他地域にはみられない取り組みにより、障がい児教育の先進市としての評価が高まっていった。

児童・生徒の急増は子どもの生活を大きく変え、さまざまな問題行動が見られるようになった。 青少年の健全育成が市民の関心事となり、市は昭和 41 (1966)年に青少年の健全育成都市宣言を発 した。生活指導の強化が求められるとともに、子どもの心の指導を要請する声が大きくなっていっ た。

平成

都市型社会の影響からくる地域力の低下は著しく、社会規範の弱体化は憂慮すべき問題であった。 平成 11 (1999)年以降、都内の青少年の不良行為(飲酒、喫煙、深夜徘徊等)件数は増加傾向にあり、そのため、衰えた地域力を補うものとして、学校での規範教育を求める声が高まっていった。 また、地域と学校の連携を図り、地域に根ざし、開かれた学校づくりを進めるため、平成 14(2002)年から、「学校運営協議会」「学生教育ボランティア制度」が始まった。平成 19(2007)年には、「ボランティアの参画拡充」を本市の中期経営計画に位置づけて「小・中学校支援ボランティア推進事業」を実施している。

また、地域の教育力を活用するため、平成 20 (2008) 年 10 月に地域人材を広く募集し、目的に応じ適材適所を考慮して登録し、学校の実情やニーズに対応して紹介、派遣することのできる窓口として「学校支援センター」を新設したほか、平成 15 (2003) 年「道徳授業地区公開講座」、平成 17 (2005) 年「セーフティ教室」とさまざまな形で地域とともに学校教育を進めていく施策を行っている。平成 21 (2009) 年度からは学校支援地域理事を設置し、地域に根ざした特色ある学校運営のため活動を行なっている。

平成 16 (2004)年度からは小・中学校の新1年生を対象に、自ら希望し指定校以外の入学を選択できる「市立小・中学校選択制度」を開始した。同じく平成16 (2004)年に、教育相談所・教育研究所が移転し、「町田市教育センター(旧忠生第四小学校跡)」を開所した。高度情報化社会の進展を踏まえ、平成17年(2005年)度にこの教育センターを拠点として情報教育を強化していくため

に市立小・中学校全校と教育センターを結ぶ学校 L A Nの整備を行った。デジタル教材、モデル授業の共有等、ネットワークを生かした活用が行われている。同年9月には全中学校2年生の一斉職場体験事業を実施した。子どもたちの「生きる力」を育むキャリア教育の一環であり、フリーターやニートの増加を懸念しての教育施策である。

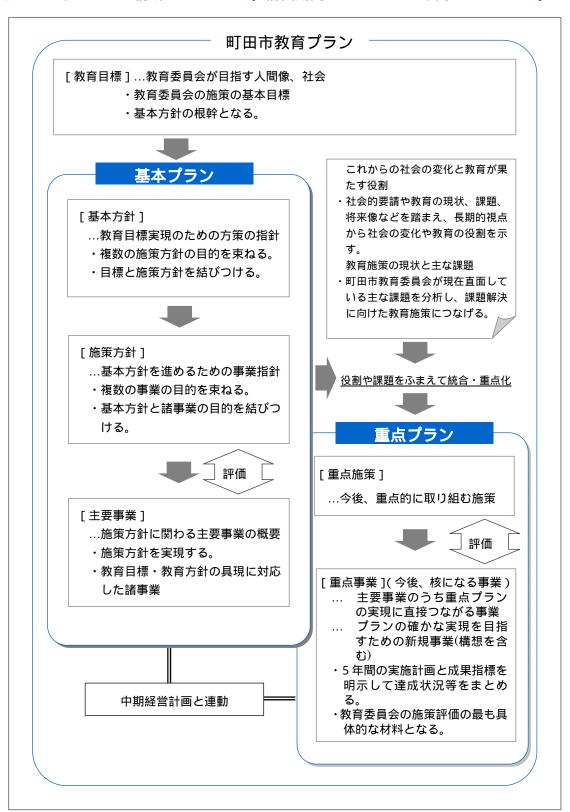
平成 17 (2005)年4月には、町田市としては21年ぶりの新設校として「小山ヶ丘小学校」が開校した。小山ヶ丘地区のマンション建設などによる人口増加に対応するものであり、その後も平成22年4月に「小山中央小学校」が開校し、平成24年4月には30年ぶりの新設中学校として「小山中学校」の開校が予定されている。

また、かねてより要望のあった中学校給食の導入を開始した。毎年4校ずつ開始し、平成21年度に全校実施となった。給食の方法は「弁当併用外注給食方式」とし、希望者のみ配送している。平成20(2008)年4月から、市立全小・中学校を本市独自重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」(規範教育、キャリア教育、英語教育、食育の4領域)が始まった。規範意識やコミュニケーション能力を高めながら、働くことの大切さを実感し、心身ともに健康で進んで社会に関わろうとする児童・生徒を育成することをねらいとしている。

平成 18 (2006)年に、約 60 年ぶりに教育基本法が改正されたことをうけ、平成 21 (2009)年3月に教育委員会として初となる「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」、『町田市教育プラン』が策定された。

2. 教育プラン

町田市教育委員会では、教育関係の法改正などを踏まえて、2007 年度末に教育目標と基本方針を 大幅に改定しました。教育プランは、その目標と方針に沿って、今後、教育施策をどのように進め ていくかをまとめたもので、2009 年度を計画の初年度として策定されました。教育目標や基本方針 を軸として諸事業を体系化した教育施策の全体計画である「基本プラン」と、これからの社会の変 化と教育が果たす役割や課題などを背景として、今後の教育施策の方向を示した重点計画である 「重点プラン」の2つで構成されています。計画期間はおおむね10年間としています。



3. 教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

基本方針及び施策方針

基本方針1 子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成

日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、人権尊重を柱とする町田市子ども 憲章の趣旨を生かして、次代を担う子どもたちに、将来の職業や生活を見通して 社会の中で自立的に生きる力や生涯にわたって学び続ける意欲、健やかな精神や 豊かな心をはぐくみます。

- (1)人権尊重の精神と男女平等の意識、平和を愛し、生命を尊び、自然を大切にする心などをはぐくむ教育を進めます。
- (2)伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛するとともに、公共の精神、社会 貢献の精神をはぐくむ教育を進めます。また、異文化理解を基盤とした国際理解の教育を進 めます。
- (3)障がいのある人や高齢者などすべての人が社会の一員として、明るく平等に活動できる社会を目指し、相互理解と連帯感をはぐくむ教育を進めます。
- (4)基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらの活用を重視するとともに、言葉を大切にしてコミュニケーション能力を高め、確かな学力と豊かな人間関係をはぐくむ教育を進めます。
- (5)個性や創造性を伸ばし、自主・自律の精神を養うとともに、自己の生き方についての考え を深め、望ましい勤労観・職業観を身に付ける教育を進めます。



基本方針2 学校の教育力の向上

様々な教育課題に対応し、子どもたちにとってよりよい教育を進めるために、教育環境を充実・整備し、教師の指導力を含めた学校の教育力の向上を図ります。

- (1)学校が自校の教育目標の実現に向けて、学習指導要領に則った教育課程、教育活動を計画的に進めることができるよう支援します。
- (2)指導力や様々な教育課題に対応する力を高めるため、教師が研修する機会の充実に努めます。
- (3)子ども一人一人の理解状況や学習内容の定着状況に応じるために、学習集団を弾力的に編成し、複数の教師による協力的な指導、指導補助者を活用した指導など、学校の指導体制の充実を進めます。
- (4)障がいのある子ども一人一人の教育ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行うために、専門家等による助言や支援者による指導補助などを通して、各校の特別支援教育を進めます。
- (5)子どもたちの情報を正確に処理する力や正しく判断する力、情報を効果的に活用したり発信したりする力を高めるために、コンピュータネットワークや図書館などを活用した授業ができる環境の充実・整備に努めます。
- (6)子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるよう、学校施設や教育環境の充実・整備に努めます。



基本方針3 家庭、地域、学校が連携した教育の推進

保護者や地域、関係諸機関と学校とが連携した健全育成などの教育の取組を進めるとともに、情報発信や公開、学校評価を充実し、信頼される学校づくりを進めます。

- (1)家庭教育の重要性を踏まえ、家庭と学校との連携を密にし、規範意識の向上、あいさつや 食事などの基本的な生活習慣、家庭学習などの習慣の形成に努めます。また、小学校と中学 校との連携を密にし、義務教育9年間を一貫した理念・計画のもとで、効果的に指導する体 制づくりを進めます。
- (2)子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、学校の全教職員が関係諸機関や 家庭・地域と一体となって、非行・問題行動の防止、犯罪被害・交通事故の未然防止、心身 の健康の保持増進に取り組みます。
- (3) いじめに関する問題は、すべての学校、すべての学級にあるという認識に立ち、家庭や関係諸機関と学校との連携を密にするとともに、不登校などの教育課題、就学や進路に関する悩みなどに対応する教育相談の機能を高めます。
- (4)学校が充実した教育活動を進めることができるよう、授業や生活指導、部活動、学校図書館などへの保護者や地域の方々の積極的な参加ができる仕組みづくりを進めます。
- (5)学校は、公開授業や研究等に全校を挙げて取り組むとともに、積極的に説明責任を果たします。また、保護者の組織や市民、学校支援地域理事や学校支援ボランティア等と連携した「開かれた学校経営」を行い、積極的に評価を受け、改善を図ることで信頼される学校づくりを進めます。



基本方針4 生涯学習の推進

市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を 目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を進めます。

- (1)市民が学習活動の幅を広げることができるよう、講座、講演会、イベント等の情報や講師、 団体活動の情報を積極的に提供します。
- (2)市民が誰でも自由に学習できるよう、図書館では図書やその他の資料の充実・サービスの 向上に努め、公民館、市民文学館、市民大学では多様化する市民の学習ニーズに応える講座 等を行い、社会教育の充実に努めます。
- (3)地域の教育力の向上を図るために、学校と地域の連携・交流を深める仕組みづくりを進めます。また、地域の大学や生涯学習事業を行っているその他の機関との連携を図ります。
- (4)市民が自らの学習成果を地域等様々な場で発揮できるよう支援し、市民の学習の場が十分 確保できるよう社会教育施設の整備を図るとともに、学校が地域の拠点となるよう、校庭、 体育館、教室の開放を進めます。
- (5)市内の貴重な文化財の維持・保全に努め、市民が文化財を活用できる機会を提供します。
- (6)文化・スポーツ振興に関する計画及び「子どもマスタープラン」の推進に当たって、学校、 図書館等の教育機関を中心に積極的に参画します。



重点施策及び重点事業

基本方針	施策方針(主なキーワード)	主要事業(取組を含む)
	(1) 人権尊重、男女平等、	規範教育の推進(小中一貫)
1	平和・生命尊重、自然愛	人権教育推進委員会
구	十和・土叩尊里、日然复	道徳教育の充実
نخ		国際理解教育推進事業
₺	(2) 伝統・文化、公共の精神、	英語教育の推進(小中一貫)
子どもたちの生きる	社会貢献、国際理解	日本の伝統・文化理解教育の推進
<u>စ</u>		芸術・文化に触れる体験活動の推進
生健き	(3) 相互理解と連帯感	特別支援教室整備事業
やる	(3) 怕互连牌C连带您	就学措置事務
か力		研究・研修奨励事業
。 た 精 神		授業力・教育課題研修会(大学連携)
神	(4) 確かな学力と豊かな人間関係	科学教育センター事業
前成		児童・生徒の体力の向上推進
成		新教育課程編成資料作成
	(5) 個性や創造性、自主・自律、	中学生職場体験事業
	(,	部活動推進事業
	望ましい勤労観・職業観	キャリア教育の推進(小中一貫)
	(1) 教師の研修の充実	研究・研修事業
		授業力向上プログラム
	(1) 教師の知何多の元夫	授業力・教育課題研修会(大学連携)
		町田市教育情報ネットワーク
	(2) 適正な教育課程、計画的な	適正な教育課程編成への支援
	教育活動の実施	週の指導計画の作成
2	教育/日勤の大旭	学校訪問
226	(3) 個に応じた指導の充実	学校支援ボランティア推進事業
学 校 の		少人数指導の推進
<u>က</u> ်		特別支援教育推進事業(人材派遣)
教育力の向上		特別支援教育推進事業(教員研修)
另	(4) 特別支援教育の推進	特別支援事業(支援員派遣)
o E		自立活動支援事業
上		幼小保す養連絡協議会
_	(5)コンピュータネットワーク、学校図書館等	ネットワーク整備事業
	情報活用環境の充実・整備	町田市教育情報ネットワーク
	旧拟石州城境 0 0元天	学校図書館と公立図書館の連携
		学校施設耐震補強事業
		学校施設リファイン計画
	(6) 健康で安全な学校施設や教育	学校運営物品管理事務
	環境の充実・整備	強化陶磁器食器導入事業
	域がいた 在間	学校新設事業
		児童・生徒急増対策事業
		中学校給食事業

基本方針	施策方針 (主なキーワード)	主要事業(取組を含む)
	(1) 家庭教育と学校との連携、	食育の推進(小中一貫)
	,	「東京都教育の日」講演会
3	小中連携・一貫体制の推進	小中一貫指導推進校の指定
家庭		教育指導推進事業
庭、	(2) 関係諸機関や家庭・地域と連携	防犯対策事業
地	した非行・問題行動、犯罪被害	学校・警察連絡協議会
地域、	の防止	学校サポートチーム
学		セーフティ教室
学校が連携し		規範教育の推進(小中一貫)
)) 連	(3) いじめ・不登校への対応、	教育相談事業
携	教育相談	e - ラーニング学習支援(大学連携)
し ナ <u>-</u>		小学校適応指導教室事業
た 教 育	(4) 学校教育への保護者、地域	生活指導補助者派遣事業
育	参加の促進	学校支援ボランティア推進事業
の 推	参加07促進	町田市教育情報ネットワーク
進		研究・研修奨励事業
	(5) 開かれた学校経営の推進	学校運営推進協議会
	(3) 州が10亿千1久経日の16進	学校評価(自己評価と関係者評価)
		学校ホームページ
		ホームページや広報紙での情報提供
	(1) 生涯学習情報の提供	生涯学習NAVIや情報コーナー
		生涯学習関連団体の情報提供
		公民館事業
4	(2) 社会教育の充実	市民大学事業
生	(=) [[23,63,0]]	図書館資料貸出し・閲覧事業
涯		各施設閲覧、展示、利用普及等事業
生 涯 学 習		地域学習ネットワーク事業
0.00	(3) 地域の教育力の向上	地域協働の学校づくりの支援
推進		共催・連携事業
~		社会教育関係団体講師派遣事業
	(4) 社会教育施設の整備	図書館利用環境の充実
		公民館施設貸出事業
		埋蔵文化財保護事業
	(5) 文化財の維持・保全・活用	古民家保存事業
		文化財活用事業
	(6) 文化・スポーツ振興への参画	町田市子ども読書活動推進計画実施
	(-) 210 - 100 - 2 100 - 100 - 100	「スポーツ振興計画」策定への参画

4. 教育委員会

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体が教育、 学術、文化に関する事務を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された合議制 の執行機関です。

(1)教育委員会の委員

教育委員会は、5人の委員で組織されています。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化 に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て任命するものです。任期は4年です。

委員長は、委員のうちから選挙によって選ばれ、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表 します。任期は1年ですが、再選が可能です。

委員長職務代理者は、委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときに委員長の職務を代行します。

教育長は、委員のうちから教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督します。



富川委員長



岡田委員



井関委員



髙橋委員



渋谷教育長

教育委員会委員(2011年4月現在)

職名	氏名	任期
委員長	とみかわ よしま 富川 快雄	2008.4.1 ~ 2012.3.31
委員長職務代理者	ぉゕだ ぇぃこ 岡田 英子	2010.10.28 ~ 2014.10.27
委員	いせき たかよし 井関 孝善	2010.10.28 ~ 2014.10.27
委員	たかはし けいこ 髙橋 圭子	2008.7.1 ~ 2012.6.30
教育長	しぶゃ ともかつ 渋谷 友克	2010.4.1 ~ 2014.3.31

(2)教育委員会の開催

教育委員会の会議は、「町田市教育委員会会議規則」の定めるところにより、毎月1回定例会が開催されるほか、必要に応じて臨時会が開催されます。また、これらの会議とは別に、教育行政全般について協議するために協議会が開催されます。2010年度には、定例会12回、臨時会5回が開かれ、下表の議案が付議され、可決されました。



月日	会議名		付議案件
4/1		議案第1号	教育長の人事に関し議決を求めることについて
4/9	第1回定例会	議案第2号	町田市学校安全衛生推進会議及び衛生委員会規程の制定につ いて
		議案第3号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第4号	町田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則 について
		議案第5号	学校医等委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについ て
		議案第6号	感謝状の贈呈について
		議案第7号	都費負担教職員の在職専従の許可に係る内申の臨時専決処理 に関し承認を求めることについて
		議案第8号	町田市公立学校教員の新規採用に係る内申の臨時専決処理に 関し承認を求めることについて
		議案第9号	平成22年度統括校長の採用に係る臨時専決処理に関し承認を 求めることについて
		議案第10号	事務職員及び栄養士の転任に係る内申の臨時専決処理に関し 承認を求めることについて
		議案第11号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承 認を求めることについて
5/7	第2回定例会	議案第12号	町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し 承認を求めることについて
		議案第13号	町田市立学校学校支援地域理事の任命について
		議案第14号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて
		議案第15号	町田市立学校設置条例の一部を改正する条例(案)について
		議案第16号	町田市立学校結核対策委員の委嘱 (解嘱)の臨時専決処理に 関し承認を求めることについて
		議案第17号	学校医等委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについ て
		議案第18号	町田市人権教育推進委員会委員の委嘱について
		議案第19号	町田市立小学校教科用図書採択方針・選定基準及び評価方法 について
		議案第20号	町田市立小学校教科用図書調査協議会委員の委嘱に関し同意 を求めることについて
		議案第21号	町田市社会教育委員の委嘱について
		議案第22号	町田市公民館運営審議会委員の委嘱について

6/18	第3回定例会	議案第23号	教育長の権限に属する事務の一部を委任する規程の一部を改 正する規程について
		議案第24号	町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し 承認を求めることについて
		 議案第25号	町田市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程につ
			いて
		議案第26号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて
		議案第27号	町田市特別支援教育推進委員会委員の委嘱及び任命について
		議案第28号	町田市情緒障がい学級(不登校)入退級相談委員会委員の委嘱 及び任命について
		議案第29号	町田市障がい児就学相談委員会委員の委嘱・任命及び解嘱・解
			任について
- /-		議案第30号	町田市社会教育委員の委嘱について
7/9	第4回定例会	議案第31号	町田市立学校事案決定規程の一部を改正する規程について
		議案第32号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第33号	町田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則 について
		議案第34号	学校医委嘱(解嘱)の臨時専決処理に関し承認を求めることに
		 議案第35号	ついて 町田市東京都立高等学校等入学者選抜に係る成績一覧表調査
		一	委員会委員の委嘱について
		議案第36号	町田市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程につ いて
		議案第37号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて
		議案第38号	都費負担教職員に対する処分に係る内申の臨時専決処理に関
		学 安等20日	し承認を求めることについて
		議案第39号 議案第40号	町田市社会教育委員の委嘱について 町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し
		一	前田市立子校子校文後120g年事の任命の臨時等次処理に関し 承認を求めることについて
		議案第41号	副校長の任命(新任)に係る内申の臨時専決処理に関し承認を 求めることについて
8/6	第5回定例会	議案第42号	2010年度町田市教育委員会の施策等の点検及び評価(2009年度分)について
		議案第43号	町田市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に 関する規程の一部を改正する規程について
		議案第44号	教育長の権限に属する事務の一部を委任する規程の一部を改
		***	正する規程について
		議案第45号	町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し 承認を求めることについて
		議案第46号	(仮称)町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校の在り方 検討委員会委員の任命及び解嘱・解任について
		 議案第47号	検討妥員会妥員の任命及び解嘱を解析にとういて 2011年度使用教科用図書(小学校)の採択について
		議案第48号	2011年度使用教科用図書(小学校)の採択について
		議案第49号	2011年度使用教科用図書(特別支援学級)の採択について
		議案第50号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
			を求めることについて 初寿会は教験号の温暖に係る中央の際時事法が理に関しる初
		議案第51号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて
		議案第52号	町田市立学校学校支援地域理事の任命について
		1	

9/3	第6回定例会	議案第53号	町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し 承認を求めることについて
		議案第54号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めるこ とについて
		議案第55号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて
		 議案第56号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
			を求めることについて
		請願第1号	「中央公民館の現状存続」を求める請願
10/8	第7回定例会	議案第57号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて
		議案第58号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めるこ とについて
		議案第59号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて
		 議案第60号	都費負担教職員の在籍専従の許可に係る内申の臨時専決処理
			に関し承認を求めることについて
		議案第61号	都費負担教職員の復職に係る内申の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて
		 請願第1号	「中央公民館の現状存続」を求める請願(継続審議)
		調願第15 請願第2号	「社会教育」と「生涯学習センター機能」の両立を求める請願(不採択)
		請願第3号	公民館の生涯学習センター化に関する請願(不採択)
		請願第4号	町田市公民館と市民大学HATSの存続を求める請願(不採択)
11/5	第2回臨時会	THWESTS: 3	委員長選挙
11/5	第8回定例会	議案第62号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めるこ
11,0	70 0 II C 1712		とについて
		議案第63号	都費負担職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を 求めることについて
		議案第64号	都費負担職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を
			求めることについて
12/17	第9回定例会	議案第65号	町田市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正
			する規則について
		議案第66号	町田市教育委員会公印規程の一部を改正する規程について
		議案第67号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めるこ とについて
		議案第68号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて
		議案第69号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
			を求めることについて
		議案第70号	町田市指定文化財の指定について
1/14	第 10 回定例会	議案第71号	2011年度町田市教育委員会教育目標、基本方針及び施策方針 について
		議案第72号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第73号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて
		 議案第74号	教育委員会表彰(学校医)について
		議案第75号	町田市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則について
		議案第76号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
		HJW/IC/IS/ O J	を求めることについて
		議案第77号	都費負担教職員の在外教育施設派遣命令に係る内申の臨時専
			決処理に関し承認を求めることについて
		1	

	77	***	
2/4	第 11 回定例会 	議案第78号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第79号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求め
			ることについて
		議案第80号	児童・生徒への表彰について
		議案第81号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
			を求めることについて
		議案第82号	学校支援ボランティアへの感謝状の贈呈について
		議案第83号	都費負担教職員に対する処分に係る内申の臨時専決処理に関
			し承認を求めることについて
2/17	第3回臨時会	議案第84号	町田市市民文学館条例の一部を改正する条例(案)について
		議案第85号	町田市公民館条例の一部を改正する条例(案)について
3/1	第 4 回臨時会	議案第86号	平成23年度町田市公立学校校長・副校長の人事異動及び統括
			校長の任用について
		議案第87号	都費負担教職員に対する処分に係る内申の臨時専決処理に関
			し承認を求めることについて
3/25	第 12 回定例会	議案第88号	町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規
			則について
		議案第89号	町田市立学校文書取扱規程の一部を改正する規程について
		議案第90号	教育委員会表彰について
		議案第91号	町田市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程につい
			τ
		議案第92号	平成22年度教職員への感謝状の贈呈について
		議案第93号	職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めるこ
			とについて
		議案第94号	学校医等の委嘱について
		議案第95号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
			を求めることについて
		議案第96号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認
		***	を求めることについて
		議案第97号	平成23年度町田市公立学校教員の人事異動に係る内申の臨時
		***	専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第98号	都費負担教職員の兼務発令に係る内申の臨時専決処理に関し
		** 🖒 🎋 🗔	承認を求めることにについて
		議案第99号	まちだ市民大学HATS運営協議会委員の委嘱について
		議案第100号	町田市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正
0./00		送完祭404 日	する規則について
3/29	第 5 回臨時会	議案第101号	教育委員会職員の3月31日付け人事異動の承認を求めること
		学安等400日	
		議案第102号	教育委員会職員の4月1日付け人事異動の承認を求めることに
			ついて

(3)2010年度教育委員の主な活動状況

(2)で挙げた会議等のほか、以下のような活動を行い、教育委員会としての考えや思いを広め、 更に、さまざまな活動を称え激励し、また現場の状況や生の声を把握することにより、教育行政の 一層の充実に努めています。

儀式・表彰式、市議会、教育委員会連合会、校長会等への出席

教職員の辞令交付式、児童生徒表彰式、教育委員会感謝状贈呈式、定例校長会・副校長会、 開校式・閉校式、町田市議会定例会本会議、東京都教育施策連絡会、東京都市町村教育委員 会連合会の総会・理事会・研修会、東京都市教育長会の会議・研修会、関東甲信越静市町村 教育委員会連合会の総会・研修会、地方教育行政功労者表彰式、市町村教委連合会管外視察 ほか

学校への訪問

市教委訪問(15校)指導主事訪問(14校)研究発表会(10校)道徳授業地区公開講座(34 校)、その他 (-各校の入学式・卒業式、運動会・体育祭、学習発表会、文化祭、合唱コンク ール、部活動見学、セーフティ教室、周年記念式典のほか日常の授業見学など)

市や学校の連合団体などが主催する研修会等への参加

夏季休業中の授業力・教育課題研修、小・中学校教育研究会の総会・研究発表会、学校支援 ボランティアコーディネーター研修会、小中一貫モデル校報告会、町田の丘学園と中学校特 別支援学級との交流会、町田市教育講演会ほか

教育機関の事業や生涯学習施設の展示会・講座等への参加

小中学校科学教育センター事業、公民館障がい者青年学級開級式・成果発表会、市民大学・ 公民館などの講座、文化財視察、公民館まつり、文学館まつり、大地沢夏まつり、文学館・ 国際版画美術館等の企画展内覧会やオープニングセレモニー、中央図書館開館 20 周年記念事 業、ひなた村・創作童話作品発表会ほか

市や市民団体等が主催する文化・スポーツ等の行事・式典への参加

小学校音楽鑑賞教室、小学校合同音楽会、中学校連合音楽会、演劇発表会、町田市公立小中 学校作品展、二十祭まちだ(成人式) 社会を明るくする運動町田大会、市民体育祭、町田市 新体操選手権大会、まちだ体操祭、町田市こどもマラソン大会、町田市中学校対抗陸上競技 大会、スポーツ祭東京 2013 関連行事、甲子園出場校応援ほか

PTAや市民団体等との懇談

公立小学校PTA連絡協議会の総会・研修会・懇談会、中学校PTA連合会の総会・懇談会、 中心市街地パトロール、町田市公立小中高PTA連絡協議会の合同研修会、市長・市議会議 員との意見交換会、障がい児保護者団体との懇談会ほか

その他教育に関連した活動

都立町田の丘学園訪問、長野県東筑摩郡町村教委連絡協議会視察

市教委訪問・・教育長以下、学校教育部の全管理職が学校を訪問するもので、各学校が抱える教育上の諸課題に ついて、その実態を把握し、解決の方途を見出すために実施するものです。全学級の授業参観や教 職員との協議・懇談会等を通じて、児童・生徒の教育指導、指導内容・方法、教材・用具、施設・ 設備、教育環境、保健衛生等、広い視野から教育上の諸課題について話し合い、学校と市教委との 連携を深めるねらいがあります。4年に一度は各校を訪問することになります。

指導主事訪問・・教育委員(教育長を除く)と指導主事が学校を訪問し、各学校の状況に応じ、児童・生徒の指 導上の諸問題を中心に、その学校のもつ課題について教職員とともに具体的な解決の方法を見出す 目的で行なわれています。上記の市教委訪問と比較しても、研究推進と授業改善に比重をかけてい ます。4年に一度は各校を訪問することになります。

研究発表会・・教育委員会が例示するテーマを参考にして、各学校が研究主題を決めて取り組むもので、ここ数 年各学校の研究意欲は高く、研究推進校、研究校がその成果や知見を広く内外に公開発表しました。

道徳授業地区公開講座・・東京都の「心の東京革命」の一貫として全都の公立学校で開催しているもので、各 学校での道徳の時間の授業を保護者や地域の方々など、広く市民に見ていただいています。併せて、 子どもの健全育成や子育てについての講演会を開催したり、授業後に意見交換会などを行ったりし て、家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進していくとともに、子どもたちの健全育 成を図ることがねらいです。意見交換会の場では、教育委員が、参観した授業について講評し、ま た、道徳授業地区公開講座の主旨説明などを行っています。

(4)学校支援地域理事

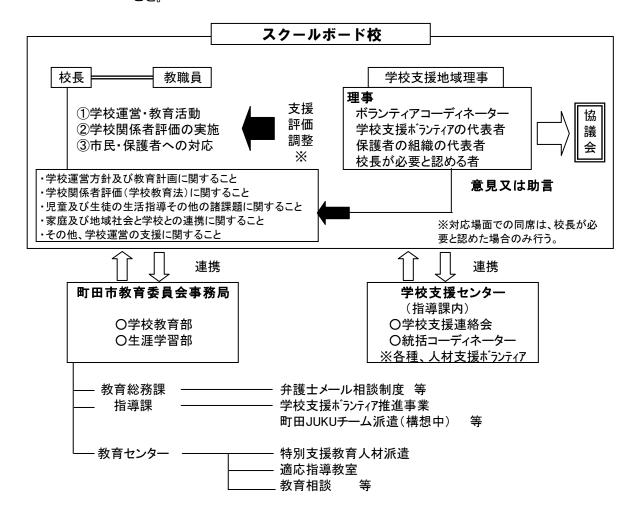
公立学校が、保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるとともに、その協力を得てより 一層効果的かつ円滑な学校運営を行うことにより、地域や社会に開かれた特色ある学校づくりを推 進するため、各校校長の推薦により選出された学校支援地域理事を設置し、全小・中学校がスクー ルボード校として運営しています。

学校支援地域理事の主な活動

授業参観・運動会・学習発表会・周年行事など学校行事への参加、スクールボード協議会参加、学校活動への助言、学校評価ほか

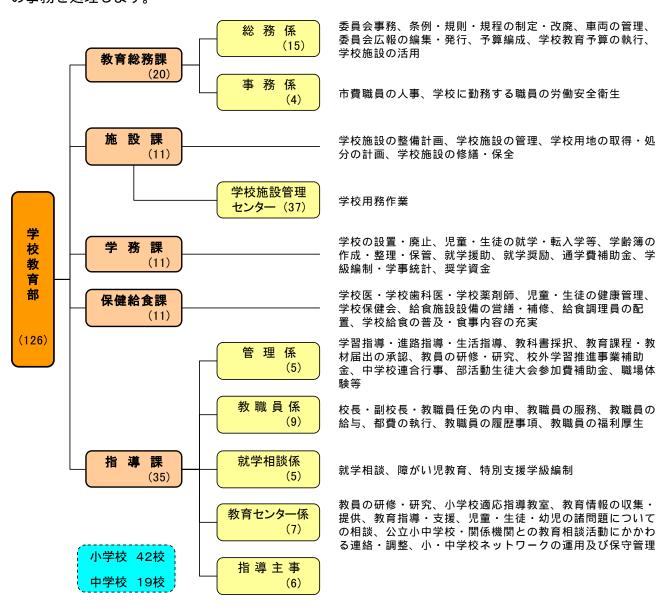
スクールボード・・ アメリカにおいて州ごとに教育委員会が置かれる前に、市町村かそれ以下のコミュニティで学校を維持していくため、住民が自分たちの手で学校を運営していた時期があった。これがスクールボード(「学校委員会」又は「学区委員会」)であり、町田市のスクールボードは、その精神を大切にしていくものであり、学校支援地域理事の支援による学校運営形態を表す言葉とする。

学校評価・・・・・ 学校が、学校としての教育機能をどのように、またどの程度果たしているかをできるだけ 客観的、総合的に把握・分析し、その結果に基づいて教育活動全般についての改善策を立てる こと。



(5)教育委員会の組織と事務分掌

教育委員会事務局及び教育機関は、教育長の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務を処理します。



市立学校に勤務する職員数(2011年5月1日現在)

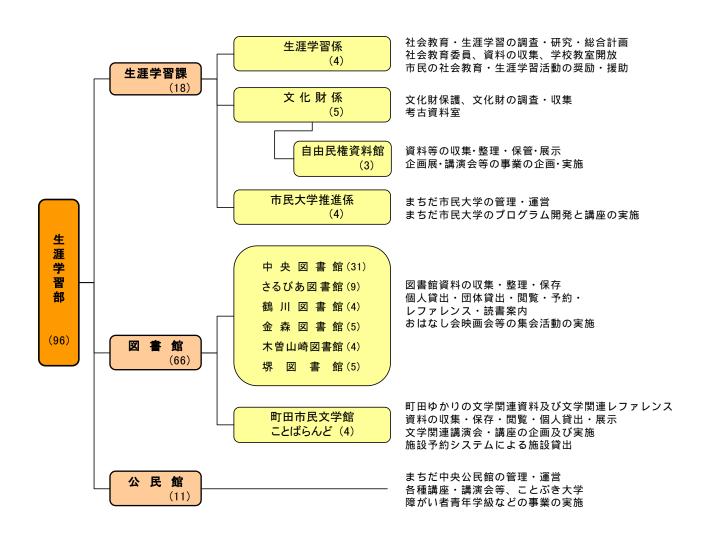
教職員数(都費職員) (人)

区分		教員						栄養士	合計
	校長	副校長	教諭	栄養教諭	養護教諭	小計	事務職員	木食工	
小学校	42	42	999	1	46	1,130	42	20	1,192
中学校	19	19	528	0	21	587	20	0	607
合計	61	61	1,527	1	67	1,717	62	20	1,799

学校勤務職員数(市費職員)

(人)

区分	学校事務	一般用務	給食調理	栄養士	合計
小学校	42	36	79	21	178
中学校	19	19	0	0	38
合計	61	55	79	21	216

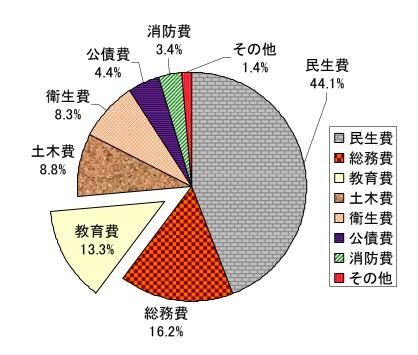




5. 教育予算

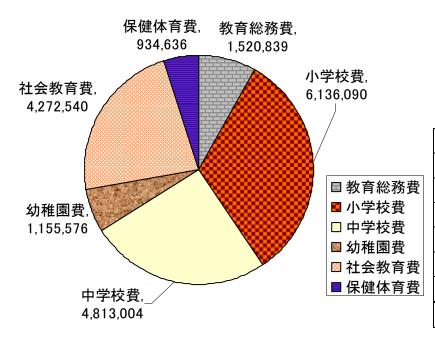
町田市教育委員会では、教育行政を進めていく上での基本的な考え方として教育目標を設けています。この教育目標の実現に向け、予算が編成され、事業等が実施されています。2011 年度の教育予算(当初)は、188億3,268万5千円となっています。

-般会計当初予算歳出にみる教育費の割合



額(千円)	比率 44.1%
286,832	44.1%
	,,
953,377	16.2%
832,685	13.3%
496,226	8.8%
775,159	8.3%
241,289	4.4%
779,883	3.4%
931,119	1.4%
296,570	100.0%
	953,377 832,685 496,226 775,159 241,289 779,883 931,119

教育費当初予算歳出の内訳(単位:千円)





項	予算額(千円)	比率
教育総務費	1,520,839	8.1%
小学校費	6,136,090	32.6%
中学校費	4,813,004	25.6%
幼稚園費	1,155,576	6.1%
社会教育費	4,272,540	22.7%
保健体育費	934,636	5.0%
合計	18,832,685	100.0%

主な事業と予算

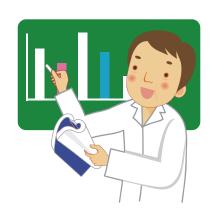
【学校教育】 (単位:千円)

事業	内容	予算額
奨学金の支給	高等学校等に在学し、成績が優秀で経済的理由により就学 が困難な方に月額 8,700 円を支給しています。	15,974
教育の研究	研究推進校(11 校)研究校(8校)の研究を助成、小・中学校教育研究会への助成、校内研究会講師謝礼の支払い、国・都委託研究事業を実施しています。	16,998
学校の管理運営	小学校 42 校、中学校 19 校の教材備品の購入費、警備の委 託料、光熱水費などです。	1,829,523
学校の維持	小・中学校 61 校の施設・設備を維持するため、修繕・補修 工事等を行います。	253,436
特別支援学級の運 営	小学校には、固定制として知的障がい学級を 20 校、肢体不自由学級を 2 校、情緒障がい学級を 2 校、通級制として弱視学級を 1 校、難聴学級を 2 校、言語障がい学級を 1 校、情緒障がい学級を 7 校、中学校には、固定制として知的障がい学級を 10 校、肢体不自由学級を 1 校、通級制として情緒障がい学級 2 校(1 校は不登校)難聴学級を 1 校設置しています。	305,184
就学の援助	町田市立小・中学校に在籍し、経済的理由で就学が困難な 児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、夏季施設費、 給食費などを補助しています。	383,982
特別支援学級在籍 児童・生徒の保護 者への補助	町田市立小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・ 生徒の保護者に、学用品・通学用品費、給食費などを補助 しています。(保護者の所得により、補助の内容が変わります)。	31,854
通学費の援助	町田市立小・中学校に在籍し、自宅から学校までの距離が 小学校 1.5 キロメートル・中学校 2 キロメートルを超え、 公共交通機関で通学されている児童・生徒の保護者に、定 期代の 1/2 の金額を補助しています(区域外就学者、指定 校変更者(特認地区を除く)及び学校選択者は対象になり ません)	11,337
集団宿泊事業	小学5・6年、中学2・3年が実施する宿泊行事に対し、 交通費の一部を補助し、看護師を派遣しています(引率教員 入場料も含まれる)。	94,830
社会科見学の補助	小学3年生の社会科市内施設見学のバス代を補助していま す。	6,300
生活指導補助者の 派遣	小学校に入学したばかりの新1年生が学校生活になれるま での約2ヶ月間、補助者を派遣します。	29,238
健康診断	学校保健法に基づき、定期健康診断を行っています。	70,493
小学校給食	単独校方式により小学校全校で完全給食を実施しています。	911,220
中学校給食	給食を希望する生徒に、業者が調理し学校に配送する弁当 形式の給食(弁当併用外注給食方式)を提供するため、調理・配送等の委託をします。	141,191
学校施設の整備	校舎内部の改修など既存施設の整備を進めていきます。	2,455,954
学校新築	児童生徒急増地域の教室不足を解消するため、中学校 1 校 (2ヵ年工事のうち1年度分)の建築を行います。	1,914,552

【生涯学習】 (単位:千円)

事業	内容	予算額
団体活動の援助	社会教育関係団体へ事業費の補助、及び講師費用の一部を補助します。	1,700
学校の教室開放	市民の生涯学習の場として、小学校3校、中学校1校の特別教室を市民団体に開放しています。	6,373
自由民権資料館の 管理事業	自由民権運動や町田市域の歴史に関する史料を収集・整理・保管し、市民の方への公開・閲覧を行っています。また、常設展示に加えて企画展や講演会のほか、古文書講座 等を開催しています。	55,415
まちだ市民大学 HATS 事業	通年、前期、後期に分け講座を開設します。	24,562
さがまちコンソー シアム事業	(社)相模原・町田大学地域コンソーシアム(略称:さがまちコンソーシアム)に加盟し、講座の開催や地域情報誌の発行等をしています。	7,800
文化財の保護	文化財保護審議会の運営、指定文化財(国・都・市)の保存・活用、無形民俗文化財の保護・育成、文化財図書刊行事業、 埋蔵文化財の発掘調査、考古資料室の管理・市民への開放 などです。	159,913
公民館の管理	施設の運営と維持・管理を行っています。	84,301
公民館の事業	市民講座、市民企画講座、自主男女共生学級など、各種講 座、講演会、学級を開催しています。	7,003
障がい者青年学級	知的障がいを持つ青年が社会の中で豊かな生活を築くため、「生きる力、働く力」の獲得を大きな目標のもと「自治」「生活づくり」「文化の創造」の3つを柱として事業を展開しています。	11,976
ことぶき大学	高齢者の学習と交流の場です。	1,878
図書館の管理運営	中央図書館、さるびあ図書館、鶴川図書館、金森図書館、 木曽山崎図書館、堺図書館の管理運営費のほか、図書購入 費が主なものです。	618,652
文学館の管理	町田市民文学館ことばらんどの維持管理及び施設の貸出を行います。	37,458
文学館の事業	年4回の展覧会、講演会及び講座等を開催します。また、 町田ゆかりの文学者に係わる資料等を収集すると共に、資 料の貸出・閲覧を行います。	18,017





1. 児童・生徒数

(1)学級編制

町田市立小・中学校の学級編制については、毎年度、4月1日を基準日として、東京都教育委員会が定める「学級編制基準」に従い、行うことになっています。

町田市では、1985 年度まで小・中学校全校において全学年が「45 人学級」で編制されていましたが、小学校においては 1986 年度から、中学校においては 1989 年度から、それぞれ第 1 学年が「40 人学級」となり、1991 年度からは、小・中学校の全学年が「40 人学級」で編制されることになりました。

以後、この「40 人学級」での編制が続きましたが、2011 年 4 月の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011 年度より、小学校の第 1 学年について、「35 人学級」を編制することになりました。

(2)学級数及び児童・生徒数

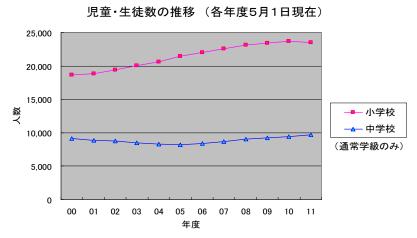
2011 年度の学級数及び児童・生徒数は、5月1日現在、小学校においては、通常学級720 学級、児童数23,554 人、特別支援学級51 学級、児童数314 人となっており、中学校においては、通常学級272 学級、生徒数9,732 人、特別支援学級34 学級、生徒数221 人、合計33,821 人となっています。

(3)児童・生徒数の推移

市制が施行された 1958 年は、人口 60,957 人、小学校 12 校で児童数 8,766 人、中学校 6 校で生徒数 3,460 人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距離であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ 1960 年代後半から 1980 年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は 1980 年に 36,928 人 (41 校) 生徒数は 1985 年に 17,689 人 (20 校)と、それぞれピークに達しました(児童・生徒総数のピークは 1982年の 51,769 人)。

その後も人口増加は続いているものの、人口急増の一因であった大型集合住宅の狭隘化等から子育て世代の市外への流出や出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりました。

しかし、近年のマンション建



設や宅地開発等により、児童数は 2001 年度、生徒数は 2006 年度から再び増加傾向となりました。 さらに、区画整理事業による市内周縁部の開発も進み、地域によっては急激に児童・生徒数が増加 してきました。ただし、近年この増加傾向も一定の落ち着きを見せはじめています。

(4)学校選択制度

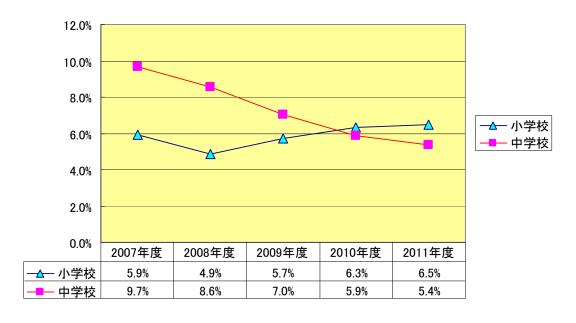
学校選択制度は、入学に際し、保護者やお子さんが自ら希望し指定校以外の小・中学校への入学を選択できる制度です。学校を選択できる対象学年は、翌年度に入学する新小学1年生、新中学1年生で、2年生以上の児童・生徒は対象になりません。また、町田市内全域の市立小・中学校から受入枠の範囲内で選択できます。町田市では2004年4月入学者から実施し、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

2011年7月には、学校選択制度についての検証を行うため、「町田市立小・中学校選択制度等検討委員会」が発足されました。検討委員会は、学識経験者、小・中学校長、小学校PTA連絡協議会、中学校PTA連合会、町内会・自治会連合会の各代表で構成されています。

区分	年度	2007年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
新小学 1年生	入学児童数 (人)	3,879	4,018	3,844	3,891	3,715
	内選択者数 (人)	230	195	219	246	241
新中学 1年生	入学生徒数 (人)	2,984	3,149	3,051	3,194	3,448
	内選択者数 (人)	288	270	214	187	185

学校選択制度入学状況 (各年度入学時点)

学校選択制度利用率



2. 学習指導

情報化、国際化が進み、急激な社会変化の中をたくましく生き抜くことのできる子どもたちを育てることが重要です。この変化に対応するためには、生涯を通して学び続けていこうとする学習意欲の育成が大切であり、学校教育では十分な基礎学力をつけるとともに、課題を自らの力で解決する能力を高める必要があります。

(1)教科指導

理科教育 科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学校は高学年を対象に、 中学校は2年生から希望を募り、土曜日の午後に研究活動を行っています。

小学校は4月から翌年2月まで旧忠生第五小学校を会場として実施し、中学校は6月から12月まで、指導教員の所属する学校で持ち回りによって実施しています。

閉講式には、それぞれ研究の成果を発表しています。2010 年度の実施内容については教育センターのページで紹介しています。(p.37参照)

外国語教育 外国語指導補助者の配置

英語教育の向上と国際理解教育の推進のため、外国語指導補助者(ALT)を1987年度から全中学校に配置しています。生徒は生きた英語とALTと交流することで、英語学習の効果を高めるとともに、他国の文化の理解に役立てています。また、小学校では2002年度から全校に配置し、年間を通してALTとふれあう体験活動を行っています。

	ALT人数	時間数	1校あたり平均
小学校	12 人	8,673 時限	206.5 時限
中学校	5人	2,655 時限	132.7 時限

2010年度 外国語指導補助者(ALT)活動実績

(2)領域指導

遠足(旅行)・集団宿泊的行事

町田市の宿泊施設である長野県川上村の自然 休暇村や相原町の大地沢青少年センター等を利 用して、移動教室を実施しています。恵まれた自 然の中で体験を重視した様々な活動を行ってい ます。

また、修学旅行や特別支援学級の宿泊訓練、 教育課程に準じた活動として夏季休業中に林間 学校等も行っています。



自然休暇村

安全指導

学校教育において、子どもたちが安全でいきいきと活動できることが何よりも重要です。その ため、全教育活動を通して、生命の大切さを指導し、安全についての理解を図り、自ら進んで安 全を守る能力と態度を育てるよう努めています。

防災指導

市立小・中学校では、月1回の避難訓練日を教育課程に位置づけ、学校生活のあらゆる時間 帯での地震・火災等を想定して、避難の方法や行動の仕方を確実に身につけさせるための訓練 を行っています。

また、毎年9月1日の「防災の日」には、避難訓練も行っています。小学校では保護者への 引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校 を行っています。

交通安全指導

交通安全に関する知識・理解・態度の育成を図るために、都教育委員会発行の「安全教育プ ログラム」等を活用するなどして交通事故の防止に努めています。

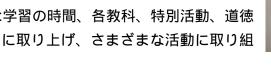
通学路の点検及び改善については学校、PTA、市教育委員会が協力して行い、子どもたち の登下校における安全確保を図っています。

(3)その他

環境教育

私たちの生活は、環境との調和の上に成り立っています。しかし、現在、 さまざまな環境問題が地球規模で発生しています。この問題を自分のこと として受け止め、自分のできることから解決の方策を探り、実践していく ことが大切です。

市立小・中学校では、総合的な学習の時間、各教科、特別活動、道徳 などの学習で環境について積極的に取り上げ、さまざまな活動に取り組 んでいます。



町田市内の小・中学校において、9割以上の学校 が行った主な環境教育として次のような取組が挙 げられます。

- ・ 人のいない教室の電気は消すなどの節電
- ・ 水道の出しっぱなしをしないなどの節水
- ・ 燃えるごみ、燃えないごみ等を分別
- ・ ごみの減量化(紙の回収・残飯の減量等)
- ・ 学校農園等で花や野菜などの栽培活動



節電の呼びかけ



緑のカーテン

3. 生活指導

すべての子どもたちが家庭、学校、地域でいきいきと活動し、相互に信頼し合う温かい人間関係を築くことが子どもたちの健全育成にとって大切なことです。このような環境により、一人一人の子どもたちの持つよさや可能性を最大限に伸ばし、人格のよりよい発達が図られます。学校では校長がリーダーシップを発揮しながら、教職員が一体となって「生活指導」の充実を図っています。

(1)進路指導

子どもたちが自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、 主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観、職業観を身に 付けることができるように指導内容、方法の改善、充実に努め ています。中学校では、様々な職場を生徒が訪問し、そこで働 く人から直接指導を受ける「職場体験」も実施しています。



職場体験中の中学生

(2)禁煙・薬物乱用防止にかかわる指導

市立小・中学校では、健康教育の一環として、禁煙・薬物乱用防止にかかわる指導に取り組んでいます。この時期の児童・生徒は心身ともに大きく成長します。その成長過程で喫煙することは、児童・生徒の健康を著しく害するばかりでなく、薬物乱用への足がかり

となる場合も少なくありません。

そこで各学校では、スライドやビデオを教材として、喫煙や薬物乱用が生命にかかわる危険をはらんでいることを指導し、喫煙や薬物のない 生活を送る態度を育てられるように配慮しています。



(3)生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生が、スムーズに学校生活に慣れるように約2ヶ月間、学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の 徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせながら必要な指導の補助を行います。

4. 教育センター

町田市教育研究所及び教育相談所は、個別にそれぞれの事業を行ってきましたが、町田市の教育を一層充実・発展させるため、指導課教育センター係として組織を整理統合しました。2004年6月、旧忠生第四小学校新館側校舎建物のリニューアル工事の完成とともに町田市教育センターとしてスタートしました。

(1)施設概要

所在 町田市木曽東3-1-3 構造 鉄骨造 地上4階 施設面積 2,821.75㎡



(2)研究・研修部門

調査研究

教育課程や課題についての各種調査や研究、統計処理等を行っています。また、小学校3・4年生が使用する社会科副読本『わたしたちの町田』の改訂に伴う統計資料等を収集し、編集委員会とともに改訂作業を行っています。

各種研修会の実施

小中学校教職員の資質や能力の向上のために、「授業力・教育課題研修会」、「特別支援教育 に関する研修会」、「パソコン実技研修会」のほか、各種研修会を行っています。

[2010 年度実施状況は、p.49(8.研修14~18番)に記載。]

学校支援のための巡回訪問・指導の実施

新しい障がい教育・特別支援教育が2007年度から実施され、新年度への移行を円滑に図るため、 特別な支援を要する児童・生徒に対するサポート体制の構築をしています。

これは、特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、小中学校の通常学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童・生徒も対象になります。

特別支援教育専門家チーム

専門員(2~3名)による、授業参観後の事例相談や校内研修での特別支援教育についての 講義などを開催しています。相談内容は、当該児童・生徒の発達障がいの状況や課題に関する 意見や判断、当該児童・生徒に必要な支援、配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、 当該児童・生徒の保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについ て指導・助言を行なっています。

特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な配慮を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、該当児 童・生徒への指導や管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言や、相談を受け

ます。

また、特別な配慮や支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行なえるようにします。

特別支援教育巡回指導員

心理系の大学院生や既卒者である指導員を月に2~4回学校に派遣し、通常学級に在籍する特別支援や配慮を要する児童・生徒に対する指導補助や心理的側面からの支援方法を協議します。

特別支援学級専任相談員

通常学級に在籍し、特別な配慮が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級の指導内容や方法について必要な助言を行います。

教育アドバイザー訪問

初任から4年次までの全ての若手教員を対象に、授業観察を通した訪問指導などを実施し、「授業力の向上」を図っています。

(3)教育相談部門

教育相談の実施

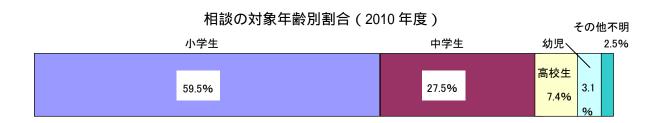
市内の児童・生徒及び幼児の様々な教育上の問題について、専門の相談員が本人、保護者、学校・保育園・幼稚園関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、集団不適応、友人関係、発達の問題、学習に関すること、生活面に関することなどですが、その他、子どもの教育に関するあらゆる相談に応じています。

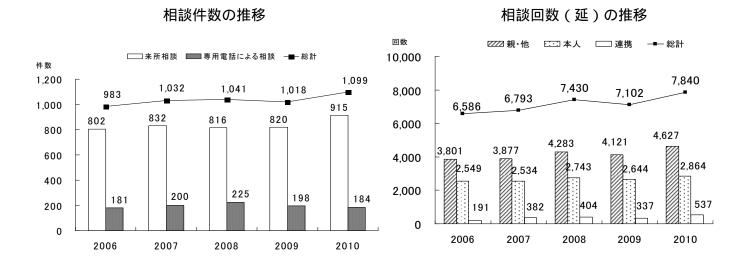
区分	相談日時	場所	問い合わせ・予約	
来所相談	月~金曜日 午前8時30分~正午 午後1時~午後5時 予約制	教育センター	792-6546	
出張教育相談	「広報まちだ」にて お知らせ	市民センター (なるせ駅前、南、 鶴川、忠生、堺、 小山)	792-6546	
電話による教育相談	月~金曜日 午前9時~正午 午後1時~午後4時30分	0000	792-6548	



2010 年度 相談件数

相談内容		来所相談	電話	合計			
怕談內台	就学前	小学生	中学生	高校生	その他	相談	(件)
不登校	1	138	160	44	7	43	393
軽度発達障がい	6	180	23	4	3	16	232
育て方・家族関係	5	12	6	3	0	26	52
落ち着きなし	5	66	10	0	0	17	98
いじめ	0	11	1	0	0	7	19
学校・教員等の関係	0	9	7	2	1	17	36
進路	1	12	7	4	2	15	41
知的発達	1	23	8	0	1	0	33
友人関係	1	6	0	0	0	10	17
非行	0	8	8	5	1	4	26
その他	9	73	24	6	11	29	152
合計	29	538	254	68	26	184	1,099





学校・関係機関との連携

学校、病院その他専門機関と連携を図り、相談活動を行っています。

子育て支援ネットワーク連絡会、町田第三中学校相談学級との連絡会など地域の各機関との連携を図るため、様々な会議に参加しています。

また、小・中学校の校内研修への教育相談講師派遣を行っています。

(4)小学校適応指導教室「けやき教室」

市立小学校に在籍する児童の中には、心理的な要因により学校へ行きにくい、または実際に登校できない状態にあるなどの児童がいます。そのような児童の学校復帰に向けた支援を目的として、2003年度に開設された教室です。

開設時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後3時までの間で、児童の状況によって保護者と相談の上、指導内容を決めていきます。指導内容は、社会性、協調性を育

けやき教室通室児童数(正式入室児童)

年 度	人 数
2008 年度	11
2009 年度	12
2010 年度	10

てるための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整、自信を取り戻すための励ましなど、 一人一人の児童の実態に合わせて指導を進め、学校への復帰のための援助を行っています。

(5)情報教育部門

2005 年度を初年度として、全市立小・中学校と教育センターを結ぶネットワークシステムを構築し、学校におけるパソコン利用環境の整備を行っています。パソコンルームや教職員用パソコンな

どの機器整備を始め、システム全体の運用管理及びシステムの利用サポートを行い、学校教育における情報通信技術の活用を推進しています。

(6)庶務部門

帰国・外国籍児童・生徒の日本語指導

教育センターでは、市立小・中学校に在籍 する外国籍児童・生徒及び帰国児童・生徒 のうち、希望者に対して日本語指導を中心と する特別指導・相談を行っています。

2010 年度外国籍児童・生徒に対する日本語指導

区分	人 数	時間数
小学校	14	678
中学校	13	596

教育資料等の整備・貸出

教育図書、教育資料の整備・保存及び所蔵資料の分析と教育図書の市内小・中学校への貸出し を行う。

科学教育振興 - 科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学校は高学年を対象に、 中学校は2年生から希望を募り、土曜日の午後に研究活動を行っています。

運営及び内容については小学校と中学校の校長会が委託を受けて行っています。小学校は4月から翌年2月まで、旧忠生第五小学校(2011年度より小山田南小学校)をメイン会場として、年に20回程度実施しています。中学校は7月から12月まで、指導教員の所属する中学校の持ち回りによって、年に10回程度実施しています。

閉講式には、それぞれ研究の成果を発表しています。

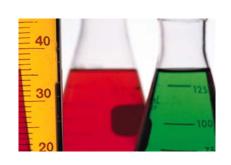
2010年度 第52回 小学校科学教育センター年間計画の抜粋

テーマ	回数	内 容
開・閉講式、研究発表	3	オリエンテーション、研究発表会など
基礎研究	5	出前授業、研究課題の決定に向けての研究
自由研究	4	個人研究課題の追究
野外自然観察	6	大地沢、油壺、かしの木山などでの自然観察

2010年度 第48回 中学校科学教育センター年間計画の抜粋

テーマ	回数	内 容
開・閉講式、研究発表	2	オリエンテーション、研究発表会など
物理分野	3	出前授業(光センサー) レンズカメラ実験
生物分野	3	免疫について、カエルの解剖、植物の観察
化学分野	2	液体窒素を使った実験、人工イクラを作る実験
地学分野	1	岩石を使った化石発掘体験





(7) 不登校による長期欠席の児童・生徒への支援体制

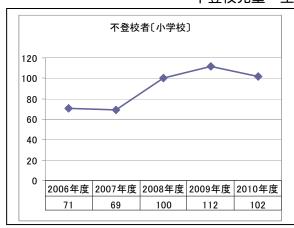
不登校問題は重要な教育課題の一つです。町田市では 2003 年度以降、それまで増加傾向であった不登校による長期欠席 (年度間 30 日以上欠席)の児童・生徒の人数は減少していましたが、中学校で 2005 年度から再び増加傾向にあります。

各学校では、こうした児童・生徒の個性を重視することを基本に、全教師で共通 理解するように努める一方、家庭との連携を深めるため、家庭訪問を積極的に行っ ています。

また、市教育委員会では大学と連携して、インターネットを活用した「e - ラーニング」による学習支援を行っています。さらに、教育センターでの相談活動を通して専門的助言を行うとともに、小学生を対象にした適応指導教室「けやき教室」(教育センター内)や中学生を対象にした通級指導学級「相談学級」(町田第三中学校内)とも連携するなど、学校への適応を図っています。



不登校児童・生徒数の推移(過去5年間)





「e - ラーニング」による学習支援

不登校児童・生徒への対応のための事業として、2007 年度から桜美林大学と連携して、 e - ラーニングによる学習支援を行っています。これは、不登校の児童・生徒が自宅等のパソコンを使い、インターネット上のドリル学習を進めるプログラムです。また、学習の過程で困ったことや質問がある場合には、メールを使って大学生に相談することができます。

2010 年度は、児童・生徒、保護者の希望により 73 名分の I D・パスワードを配付し、21 名が継続利用しました。

5. 就学相談・特別支援学級

障がいのある子どもも、健常児といわれる子どもたちと共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などをはぐくみます。健常児もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心も身に付けていきます。

人間尊重の精神を基本に学校教育を進めている町田市では、通常の学級で学ぶ子ども、特別支援学級に籍をおいてその障がいや発達に応じた指導を受け、ある教科や給食などを通常の学級での交流学習をする子ども、また、一定の時間に教師の訪問を受ける視・聴覚障がいの子どもなど、いろいろな形での指導が行われています。

(1)子どもたちの就学

障がいのある子どもが、その程度や発達に応じた教育が受けられるよう、また、 その就学手続きがスムーズに運ばれるよう就学相談を行っています。さらに、 どのような教育が望ましいか、専門的、総合的立場から判断する機関として「町 田市障がい児就学相談委員会」を設置しています。



就学相談

入学にあたり、子どもの学校生活に不安を抱いている保護者から、毎年7~8月に就学相談会の申込みを受け付けています。また、就学後、その障がいの状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。そして、就学相談委員会の所見をもとに、保護者や学校と連絡をとり、望ましい教育の場を考えていきます。

町田市障がい児就学相談委員会

学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。子どもの観察や診察、保護者との面接によって所見を出します。

(2)特別支援学級

1959年に町田第二小学校に、1961年には町田第一中学校に知的障がい学級を開設しました。その後町田市では、障がい児教育を教育行政の重要課題の一つとして位置付け、その推進に積極的に取り組んできました。その結果、現在までに小学校29校、中学校12校に特別支援学級(知的障がい、情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がいの6種別の学級)が設置されています。



これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、通級制、 巡回制の3つの指導形態があります。知的障がい、情緒障がい、肢体不 自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、 他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われていま す。

知的障がい・情緒障がい学級 固定制

知的な発達に遅れがある子どもたちを対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

なお、軽度発達障がいの児童・生徒や不登校の生徒を対象とした通級制の学級も開設されています。

肢体不自由学級 固定制

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある子どもたちを対象とした固定制の 学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

弱視学級 巡回制

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。 児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1~2回程度、その児童の学校に弱視学級の 先生が巡回訪問し、拡大鏡やレンズを使用して物の見方など、視覚をとおして物事を理解するた めの視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

難聴学級 巡回制

補聴器を使用しても話し声の理解が難しい児童・生徒を対象とした学級です。

子どもたちは平常、通常の学級で勉強していますが、週1~2回程度、その子どもたちの学校に難聴学級の先生が巡回訪問し、補聴器を使用しての聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

言語障がい学級 巡回制

口蓋裂(こうがいれつ) 吃音(きつおん) ことばの発達の遅れなどのある児童を対象とした 学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1~2回程度、その児童の学校に言語障がい 学級の先生が巡回訪問し、ことばや発音の指導等にあたっています。

情緒障がい学級 通級制

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがある、などの児童・生徒を対象とした学級です。

子どもたちは平常、在籍校の通常の学級で勉強していますが、週1日程度、指定の情緒障がい 学級設置校に通い、コミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を受けています。

2011 年度特別支援学級

《小学校》

2011年5月1日現在

区分	学級数	人数		学	校 名			
			町田第一	町田第二	町田第五	南大谷		
知的障がい・			藤の台	本町田	南第二	南第四		
情緒障がい学級	48	299	南つくし野	鶴川第二	鶴川第四	金井		
《固定制》			忠生第一	小山田南	木曽境川	七国山		
			小山	小山ヶ丘	小山中央	相原		
肢体不自由学級 《固定制》	3	15	町田第六	山崎				
弱視学級《巡回制》	1	7	本町田東					
難聴学級《巡回制》	2	17	本町田東	山崎				
言語障がい学級	2	23	本町田東					
《巡回制》		23	中 则 田 米					
情緒障がい学級	32	288	町田第四	成瀬台	南成瀬	鶴川第三		
《通級制》	32	200	忠生第三	図師	小山中央			

忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。

《中学校》

区分	学級数	人数		学	校名	
知的障がい学級			町田第一	南大谷	南	つくし野
《固定制》	32	209	成瀬台	隺	薬師	忠生
《回处则》			山崎	堺		
肢体不自由学級	2	12	町田第一			
《固定制》	2	12	μ] ШЖ			
情緒障がい学級	7	60	町田第二	町田第三		
《通級制》	,	00	叫四为—	叫田先二		
難聴学級《巡回制》	1	6	町田第二			



(3)連合行事

特別支援学級の子どもたちは普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。

2010 年度実績

行事名	実施日	人数	場所	備考
町田の丘学園 交流会	2010年5月11日	250 人	町田の丘 学園体育館	中学校の特別支援学級と町田 の丘学園中学部の生徒が一堂 に会し、スポーツで交流してい ます。
マラソン大会	2010年11月5日	250 人	上柚木 陸上競技場 (八王子市)	中学校の特別支援学級と町田 の丘学園中学部の生徒が、障が いの程度に応じて参加してい ます。
スポーツ交流会	2011年2月10日	200人	町田市総合体育館	中学校の特別支援学級の生徒 が一堂に会し、スポーツで交流 しています。

(4)進路一覧

中学校の特別支援学級で学んでいた生徒たちの中学校卒業後の進路一覧になります。

特別支援学級卒業生の進路一覧

進路年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
特別支援学校高等部	26	26	44	32	44	37	38
専修学校	2	3	1	1	2	0	3
職業訓練校	0	0	0	0	0	0	0
福祉作業所	0	0	0	0	0	0	0
就職	0	0	0	0	0	0	1
高等学校	0	2	0	4	2	4	7
その他	0	0	0	0	1	3	2

6. 児童・生徒の文化・スポーツ活動 指導課

子どもたちは学習活動や部活動等の時間における文化・スポーツ活動を通して日々自己を磨き、 自己を高める活動を行っています。そして、その成果を各種大会で遺憾なく発揮し、優秀な成績を 収めています。

(1)連合行事の開催

子どもたちが日ごろの活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しています。

	行 事 名	実施日	場所
小学校	小学校 合同音楽会		町田市民ホール
小子似	口门日来云	12/2	町田市民が一が
	陸上競技大会	10/5	上柚木陸上競技場(八王子市)
	音楽会 (吹奏楽)	7/27	町田市民ホール
中学校	中学校 音楽会(合唱)		町田市民ホール
	定刺発主人	11/6~	7 \ t> t- t+
	演劇発表会 	11/7	し ひなた村

連合行事(2010年度の実施内容)





陸上競技大会

(2)町田市公立小・中学校作品展

毎年1月~2月に国際版画美術館で、日ごろの学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。

(3)各種大会への参加助成

町田市を代表して児童・生徒が、関東、全国等の文化・スポーツの各種大会に参加・出場する場合、教育委員会では、その費用を助成しています。

2010 年度参加費助成一覧

種目	大会名	学校名
スケート	第 31 回全国中学校スケート大会	つくし野中学校
ソフトテニス	第 40 回関東中学校ソフトテニス大会	金井中学校
7717-7	第 41 回全国中学校ソフトテニス大会	金井中学校
テニス	2010 関東中学生新人テニス選手権大会	町田第三中学校
7 - ^	第 37 回全国中学生テニス選手権大会	町田第三中学校
ハンドボール	第 39 回関東中学校八ンドボール大会	南中学校
ハンドホール	第 19 回 JOC ジュニアオリンピックカップ 関東地区予選会ハンドボール大会	南中学校
ハンドボール	第 19 回 JOC ジュニアオリンピックカップ 2010 ハンドボール大会	南中学校
剣道	第 35 回関東中学校剣道大会	忠生中学校 町田第一中学校
	第 77 回 NHK 全国学校音楽コンクール 関東甲信越ブロック大会	鶴川第二中学校
合唱	第 63 回全日本全国合唱コンクール全国大会	鶴川第二中学校
	平成 22 年度「こども音楽コンクール」 東日本大会	鶴川第二中学校
新体操	第 41 回関東中学校新体操大会	真光寺中学校 つくし野中学校
水泳	第 34 回関東中学校水泳競技大会	鶴川第二中学校 鶴川中学校 町田第二中学校 つくし野中学校 山崎中学校
	第 50 回全国中学校水泳競技大会	金井中学校
/★ t品	第 41 回関東中学校体操競技選手権大会	南中学校
体操	第 41 回全国中学校体操競技選手権大会	南中学校
陸上	第 38 回関東中学校陸上競技大会	南大谷中学校 金井中学校 南成瀬中学校
	第 37 回全日本中学校陸上競技選手権大会	金井中学校 南成瀬中学校

7. 教育のための支援

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1)就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう 援助を行うものです。

対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯(要保護者)及び これに準ずる程度に生活に困っている世帯(準要保護者)です。

2010年度支給費目別支給額実績

	対 象							
支給費目	要	準	学年	人数(人)	支給額 (千円)	備考		
学用品	×		小全学年	3,192	40,232	児童・生徒が通常必要とする学用品及び		
通学用品費	`		中全学年	1,733	39,428	通学用品の購入費		
 入学準備金	×		小1年	442	8,796	小・中学校に入学する児童・生徒が入学 時に必要とする学用品及び通学用品の購		
八子午備並	~		中1年	596	13,648	入費		
 修学旅行費			小6年	25	574	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学料、記念写		
沙子派门莫			中3年	592	27,276	真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの 経費		
校外活動費			小全学年	3,580	7,771	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加 するため直接必要な交通費、見学料など		
1人八八五到县			中全学年	1,965	3,503	の経費		
夏季施設費			小 5•6 年	1,188	21,153	小学5年生(移動教室を含む) 6年生 (夏休み中に実施のもの) 中学1・2		
交子//6000英			中 1・2 年	698	25,223	年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修 学旅行と同じ経費		
通学費			小全学年	44	1,672	通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km以上で、公共の交通機関を利用して通 学している児童・生徒の保護者に交通費 の実費(定期代を上限)を補助します。 ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒		
地子 莫			中全学年	71	5,689	ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、距離は問いません(指定校変更者、区域外就学者、学校選択者を除きます)。		
給食費	×	•	•		小全学年	3,192	123,082	児童・生徒の給食費として、保護者が実
加及共	^		中喫食者 のみ	964	31,226	際に負担した経費		
医療費					小全学年	107	537	 児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う歯など 学校保健安全法施行令第8条に規定する
应 /水具			中全学年	21	152	疾病の治療に要する経費		

要・・・要保護者

準・・・準要保護者

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額

左帝	5月1日現在在籍		認 定 者	数(人)	亚丛壶	控 中 纷 郊 工口)	
年度	児童・生	徒 数(人)	要 保 護 準要保護		受給率	援助総額(千円)	
06	小学校	22,256	304	3,427	16.8%	224,982	
00	中学校	中学校 8,522 184		1,480	19.5%	103,750	
07	小学校	22,835	308	3,229	15.5%	210,928	
07	中学校	8,764	177	1,574	20.0%	112,591	
00	小学校	23,387	300	3,040	14.3%	200,389	
08	中学校	9,231	194	1,549	18.9%	123,488	
09	小学校	23,672	329	3,027	14.2%	196,348	
09	中学校	9,399	222	1,571	19.1%	131,480	
10	小学校	23,968	388	3,192	14.9%	203,817	
10	中学校	9,626	232	1,733	20.4%	146,145	

(2)通学費補助制度

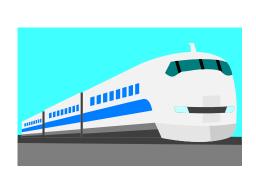
通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部(1か月の定期代の2分の1)を補助します(指定校変更者、区域外就学者、学校選択者を除きます)。



(3)校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学 5・6 年生 中学 1・2 年生	移動教室等にバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学3年生	修学旅行に交通費を補助しています。
社会科見学	小学3年生	市内施設等を中心とした 社会科見学にバスを配車しています。





(4)奨学金制度

町田市では、「町田市奨学資金支給条例」を制定し、有用な人材を育成するため、高等学校また は高等専門学校へ進学する方に、修学上必要な学資金を支給しています。

制度の概要

	・支給の日の1年前から引き続き市内に住所を有する保護者の子であること。						
	・東京都内または神奈川県内に所在する高等学校等に在学すること。						
資格	・成績優秀であること。						
	・経済的理由により、修学が困難であること。						
	・同種の奨学金を他から支給又は貸与等されていないこと。						
支給	・支給金額(2011年4月1日現在) 8,700円以内(月額)						
又給	・採用人員 50 名以内						

(5)特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。

保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2010年度支給費目別支給額実績

	小	学校	中	字校	
支給費目	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	備考
学 用 品 通学用品費	163	2,036	100	2,276	児童・生徒が通常必要とする学用品及 び通学用品の購入費
入学準備金	24	478	33	756	小・中学校に入学する児童・生徒が入 学時に必要とする学用品及び通学用品 の購入費
修学旅行費	2	44	23	983	児童・生徒が修学旅行に参加するため 直接必要な交通費、宿泊費、見学料、記 念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料 などの経費
校外活動費	157	460	93	319	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参 加するため直接必要な交通費、見学料 などの経費
夏季施設費	55	1,036	32	1,176	小学 5 年生(移動教室を含む) 6 年 生(夏休み中に実施のもの) 中学 1・ 2 年生の宿泊を伴うもので、援助対象 は修学旅行と同じ経費
通学費	176	1,228	89	3,298	公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費 (定期代を上限)を補助します(指定校変更者、区域外就学者、学校選択者を除きます)。
給食費	163	5,899	75	2,260	児童・生徒の給食費として、保護者が 実際に負担した経費
職場実習交通費(中学校)	-	-	4	10	生徒が教育課程に従い学校長の管理 のもとに、学校外の事業所等において 職業教育のための実習に参加する場 合の交通費
交流学習交通費	73	15	140	160	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を 行う場合の交通費
宿泊訓練費	275	2,383	200	3,380	特別支援学級の行事として行われる宿 泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、 見学料等
保護者付添通学費	17	672	3	75	通学に際し、児童・生徒に付添って保護者がバス・電車の交通機関を利用する場合の交通費(指定校変更者、区域外就学者、学校選択者を除きます。)
脳波検査料	3	10	3	7	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額

8. 研修・研究

「人格の完成」を目指す教育を支えているものは教員です。そのために、子どもたち、保護者及び地域から信頼を得られるよう教師の資質の向上を常に図る必要があります。法令においても教員に対して絶えず自己研さんに励む責務を課すとともに、行政に対しても教員の研修の機会を付与する責務を課しています。町田市では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

(1)研修

No.	研修名	回数	参加 人数	研修の目的
1	校長研修	3	61	教育上の課題と経営の改善について、学校教育ばかりでなく 広い視野で見つめ、学校経営に資するための研修を行ってい ます。
2	副校長研修	3	61	副校長としての識見を高めるとともに、資質・能力の向上を 図るための研修を行っています。
3	新任·転任校長·副校 長研修会	1	16	町田市の教育の特徴や個人情報管理・情報公開について市の 基準等の理解に資する研修を行っています。
4	新任副校長研修	1	11	副校長職について基本的理解を深めるとともに、実務取り扱いについての研修を行っています。
5	教務主任研修	3	61	教務主任の役割と教務経営のあり方を中心に、教務主任とし ての資質の向上を図るための研修を行っています。
6	生活指導主任研修	11	61	生活指導主任としての資質の向上のため、子どもたちの健全 育成のあり方について研修を行っています。
7	研究主任研修	3	61	研究主任としての資質の向上を図り、校内研究の充実を図る 研修を行っています。
8	新任主幹教諭研修	2	49	主幹教諭としての役割を明確にし、その職務についての研修 を行っています。
9	新任主任教諭研修	1	63	主任教諭としての役割を明確にし、その職務についての研修 を行っています。
10	10 年経験者研修・養 護教諭研修	8	19	在職期間が10年に達した教諭及び養護教諭を対象に、11年目に行う研修です。内容は、「学習指導」「教員の服務」「人権教育」「教育法規」等です。
11	教育課題研修 5~9 年次ニューリーダー 研修)	8	54	新しい教育課題や町田市の教育課題に関する研究を通して、 高い専門性を備えたニューリーダー教員を育成する研修を 行っています。
12	2 · 3 年次研修 (授業づくり研修)	7	163	教材研究や指導案づくりの方法について、講義や演習を行っています。
13	初任者研修	12	162	法的研修体系による初任者対象の研修です。内容は、「センター研修」「課題別研修」「校内研修」「宿泊研修」です。
14	特別支援教育に関す る研修(教育センター)	13	61	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、 学級担任の資質・能力の向上を図る研修を行っています。
15	授業力・教育課題研修 (教育センター)	37	59	桜美林大学、玉川大学と連携して、教科の専門性を高めると ともに、現在の教育課題への対応力を高める研修を行ってい ます。
16	パソコン実技研修 教育センター)	15	20	校務や学習においてワープロ、表計算及びプレゼンテーショ ンソフトなどを有効に活用するための研修を行っています。
17	理科実技研修 (教育センター)	4	15	理科の4分野における実験の基礎を身に付けるとともに、発 展、応用についての研修を行っています。
18	市内施設視察見学研 修(教育センター)		141	町田市への転任者や初任者に対して、市内の諸施設を紹介 し、学習にも活用できる研修を行っています。
19	特別支援教育研修	10	141	特別支援教育や発達障がいについての研修を行っています。

(2)研究

研究推進校・研究校・小中一貫教育モデル校

研究主題を掲げ、全校態勢で実践、研究にあたる学校を研究推進校に指定し、その研究費を助成しています。また、各教科等の指導法や評価についての研究を進める学校や、文部科学省、東京都教育委員会等の研究指定を受けている学校等を研究校に指定しています。2008 年度から市立全小・中学校で実施している小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」及び地域型小中一貫教育モデル校を指定しています。モデル校は、先駆的にカリキュラムの試行や生活指導、学力向上に重点をおいた指導実践を行います。2011 年度の研究推進校・研究校及び小中一貫教育モデル校は次表のとおりです。

2011 年度研究推進校一覧

学 校 名	教 科 等	- - マ
町田第一小学校	体育・健康教育	自ら育む健やかな体 ~進んで運動する児童の育成~
町田第四小学校	道徳	「たくましくしなやかな心」を育てる道徳教育
町田第五小学校 (都推進校)	人権教育	豊かな心をもち、自ら考え、進んで実践しようとする子供を育てる ~人権教育の視点を踏まえた道徳の授業の創造と特色ある教育活動の推進~
町田第六小学校	算数	できる楽しさ、わかる喜びをめざして わかる喜び、できる楽しさをめざして
南成瀬小学校	算数	考えを伝え合い、共に学び合う児童の育成 ~協同的探究学習を通して~
鶴川第三小学校	国語	生きる力を支える「人間関係力」の育成 ~言語活動の充実を図る指導の工夫~
三輪小学校	体育・健康教育	心身ともに健やかな子どもの育成
木曽境川小学校	国語・芸術教科	自分の思いを伝える ~書く力の育成を通して~
図師小学校	国語	心豊かに感じ合い、伝え合うこども 国語科「話すこと・聞くこと」~言語活動を通して~
相原小学校	町田っ子カリキュラム	我ら町田っ子・相原っ子 ~相っ子カリキュラムを通して自己肯定感をはぐくむ~
町田第一中学校	各教科	学び続けようとする学習意欲の定着を目指した『考える力』 の取り組み ~各教科の特性を生かした取り組みから~
つくし野中学校	保健体育、総合的な学習 の時間、特別活動、道徳	一人一人を大切にする指導の工夫 ~からだとこころの健康~

2011 年度研究校一覧

学 校 名	教 科 等	テ − マ
町田第二小学校	国語科を中心	自分の思いや考えを豊かに表現する力を育てる指導の 工夫 ~国語科を中心に~
町田第三小学校	体育	進んで運動できる子の育成 ~「器械・器具を使っての運動遊び」「器械運動」の指 導法の工夫を通して~
忠生第三小学校	算数	自ら考え 学び合う授業づくり ~練り上げの部分を中心~
小山ヶ丘小学校	国語科を中心に各教 科・専科	かかわり合い 伝え合い すすんで考える子の育成 ~話す・聞く活動を通して~
小山中央小学校	特別支援教育	ひとりひとりを大切にした支援の工夫
大戸小学校 武蔵岡中学校	各教科・領域 他	小中9年間を通した考える力の育成 ~基礎・基本と体験学習を重視して~
堺中学校	不適応・いじめ・ 心の悩み	「こころの悩み」の理解と早期解消を進めるために ~メンタルヘルスリテラシーの育成を目指して~



2011 年度 小中一貫モデル校一覧

小 学 校	中 学 校	活動内容
七国山小学校	山崎中学校	小・中学校連携による、学力向上に重点をおいた指導実践
成瀬台小学校 成瀬中央小学校	成瀬台中学校	小・中学校連携による、学力向上に重点をおいた指導実践
南第四小学校	南中学校	小・中学校連携による、生活指導に重点をおいた指導実践
鶴川第四小学校	真光寺中学校	小・中学校連携による、学力向上に重点をおいた指導実践
藤の台小学校 本町田東小学校	薬師中学校	小・中学校連携による、学力向上に重点をおいた指導実践

各種研究活動

教育研究会

市立小・中学校の教員で組織されている研究会は、各教科・領域の研究を進めています。 そして、この活動を強力に援助するための助成事業を行っています。

校内研究

各小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。この研究を集約するために研究推進校に応募する場合が多く、また、教育委員会でも奨励しています。

各種委員会

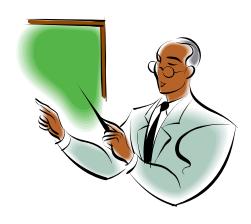
教育委員会に各種委員会を設置し、町田市の教育の充実・発展を期して教育内容・方法に限らず、幅広い分野での研究を行っています。委員会には、「特別支援教育推進委員会」や「人権教育推進委員会」等があります。

東京教師道場

東京教師道場は、経験豊かな教員が助言者となり、選ばれた若手教員(部員)の「授業力」の 向上及び他の教員を指導する資質・能力の育成を図ることを目的に 2006 年 4 月に始まった東京 都教育委員会の制度です。

授業研究や研究協議を通して、部員の授業力のみならず、助言者自らの資質・能力の向上も 期待されています。部員は2年間にわたって継続的に研修を受け、将来の「授業力」のリーダーとなります。

町田市からは 20 名の教員が部員として、6名が助言者として推薦され、授業をよりよいものに改善するための視点や具体的な方法を学び、積極的に研修を進めています。



9. 学校保健

学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るという"保健管理"と、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていく"保健教育"を目的として実施しています。

(1)各種診断・検査

全児童・生徒を対象に身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、 結核などの検診を実施。病気の予防と早期発見に努めています。

(2)学校環境衛生の確保

子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、教室の照明等の検査、飲料水・プールの水質 検査などを実施しています。

(3)町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。市立小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため積極的な活動をしています。

(4)日本スポーツ振興センター

日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2010年度 日本人が一分派典センター加入及び紹刊状况									
区分		給付状況							
区刀	区分 加入状況 (人) 小学校 23,968 中学校 9,626	給付件数 (件)	給付額 (円)						
小学校	23,968	1,907	11,328,803						
中学校	9,626	1,639	12,754,414						
合 計	33,594	3,546	24,083,217						

2010年度 日本スポーツ振興センター加入及び給付状況

2010年度 身体計測平均値(市・都・全国平均値比較)

			千及 多体引剂干均值(四十岁但心		
		項	目		男 	<i>t</i>)	
在	籍	者 数		小 12,376	中 4,961	小 11.576	中 4,662
生 受	 診			12,376		11,576	4,662
	(1)栄			12,322		11,539	4,559
栄養 状態	(2)肥		<u>。</u> 向	209		132	17
		<u> </u>		16		8	27
脊柱 胸郭	(2)胸		 常	25		16	5
	(2)114	裸眼視力測定	<u> </u>	12,162		11,355	4,236
		(1)1.0以上	H (1) (₹)♥> H H	8,923		7,486	1,790
	裸眼	(2)1.0未満	0.7以上	1,238		1,432	520
視力	視力	(3)0.7未満	0.3以上	1,195	+	1,391	819
1,0,7,3		(4)0.3未満	0.05/1	806		1,046	1,107
		`'	 者のうち眼鏡・コンタクト装用者	693		967	1,186
	眼鏡・			161		192	316
	受	診	者	12,272		11,504	4,537
RB	(1)伝染性			12,212	·	1	0
眼 疾患	<u> </u>	└─────── ╭ギー性眼疾患		349		337	101
	, ,	の眼疾患		235	+	250	34
	受	診	 者	8,187		7,673	3,106
聴力	 難	#/	 聴	60		51	29
	受	診		12,296		11,514	4,524
	(1)耳疾患			953	+i	865	215
耳鼻 咽喉		<u></u> アレルギー性鼻		1,021		554	429
疾患	`	の他の鼻・副		1,077		557	97
		·····································		98		74	8
皮膚	` '	皮膚疾患		2	<u> </u>	2	0
疾患	· ,	デー性皮膚疾	 患	490	 	415	231
	受	診	者	12,332			4,578
結核	(1)結核患			1		0	0
	····	 `````		17	6	16	5
	受 診	者 (心電	[図検査]	2,073	1,663	1,851	1,587
心臓	(1)心臓疾	 : : : : :		82		86	27
	(2)心電区			29	24	15	32
	受	診	者	12,356	4,854	11,551	4,564
検尿	(1)尿蛋白			44	217	81	126
	(2)尿糖検	 t出		8		8	5
寄生	受	診	者	6,187	-	5,756	-
虫卵 保有	寄生虫卵作	保有者		10	-	6	-
	(1)気管支	喘息		922	297	552	193
その他	(2)腎臟疾	患		12	9	19	7
	(3)その他	の疾病・異常		160	61	128	38
	(1)歯科受	診者		12,320	4,847	11,548	4,560
	(2)う歯	乳歯又は永	ア 処置完了者	3,558	1,198	3,371	1,269
	・要観	久歯のう歯	イ 未処置歯のある者	3,255	1,101	2,774	1,042
	察歯 ウ 永久歯(う歯経験者	2,149	2,134	2,300	2,158
		エ 乳歯又は	永久歯に要観察歯のある者	1,136	748	1,116	766
	(3)歯肉	ア 歯周疾患		135	190	127	92
歯科	の状態	イ 歯周疾患	要観察者	916	713	733	493
	(4)歯列・	咬合の異常		298	194	316	154
	(5)顎関節	の異常		C	3	2	6
	(6)その他	の歯・口腔の	疾病・異常	227	23	229	16
	(7)永久箧		ア 未処置歯数(D)	510	658	744	795
	う歯の (小学校第)内容 第6学年及び中	イ う歯による喪失歯数(M)	C	0	0	0
	学校第1学		ウ 処置歯数(F)	1,042	1,168	1,129	1,557

2010年度 身体計測平均値(市・都・全国平均値比較)

			12 / 1			וי אוי		7 IE VUTA			
種別	性別	年齢項目	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
		町田市平均	116.6	122.6	128.0	133.2	138.5	144.3	152.0	159.6	165.2
—	男	都平均	116.9	123.0	128.7	134.2	138.8	145.2	152.7	160.5	165.8
身 長		全国平均	116.7	122.5	128.2	133.5	138.8	145.0	152.4	159.7	165.1
(cm)		町田市平均	115.4	121.5	127.4	133.4	140.0	146.4	151.9	152.7	156.9
	女	都平均	116.4	121.9	127.7	133.9	140.6	147.1	152.2	155.9	157.1
		全国平均	115.8	121.7	127.4	133.5	140.2	146.8	151.9	155.0	156.5
		町田市平均	21.2	23.7	26.7	29.6	33.3	37.1	42.7	48.8	53.8
44	男	都平均	21.2	24.1	27.1	30.6	33.6	38.7	44.0	49.9	54.8
体 重		全国平均	21.4	24.0	27.2	30.5	34.1	38.4	44.1	49.2	54.4
≡ (kg)		町田市平均	20.6	23.1	26.1	29.6	33.5	38.1	43.3	45.9	49.4
(0)	女	都平均	21.1	23.1	26.3	29.9	34.3	39.2	43.4	47.3	49.6
		全国平均	21.0	23.5	26.5	30.0	34.1	39.0	43.8	47.3	50.0
		町田市平均	64.5	67.5	70.0	72.4	74.6	77.2	80.6	84.6	87.9
ri-	男	都平均	65.1	67.8	70.5	72.9	74.9	77.8	81.6	85.4	88.6
座 高 (cm)		全国平均	64.9	67.6	70.3	72.7	74.9	77.6	81.3	85.0	88.1
		町田市平均	64.1	67.0	69.7	72.5	75.6	78.9	81.9	82.8	84.7
	女	都平均	64.9	67.5	70.2	72.9	76.1	79.4	82.1	84.0	84.8
		全国平均	64.5	67.3	70.0	72.7	75.9	79.2	82.1	83.8	84.8





結核検診

2003 年度より市立小・中学校の児童・生徒全員を対象に、問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、必要な場合に重点的に精密検査を実施しています。

2010 年度 結核検診状況

(単位:人)

		問診調査	結核対策	精密検査	対象者数	精密	検査受検	者数	結果
区分	対象者	実施者	委員会要	X線撮影	ツヘ゛ルクリン	X線撮影	ツベルクリン	反応検査	異常の
		天 旭 百	検討者数	A 統1取引	反応検査	入 徐/取示》		X線撮影	あった者
小学校	23,968	23,940	69	29	5	29	5	1	0
中学校	9,626	9,509	23	11		10			0
合 計	33,594	33,449	92	40	5	39	5	1	0

心臓検診

小学1年生と中学1年生全員と、校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に心電図、心音図による検査を行っています。

2010 年度 心臓検診状況

(単位:人(%))

区分	対象者		一次	二次検診			
区 刀	刈象有	受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診者数
小学校(1年生)	3,933	3,926	3,827	51	47 (1.2)	43	8
" (その他)	20,035	55	49	3	3 (5.5)	3	2
小 計	23,968	3,981	3,876	54	50 (1.3)	46	10
中学校(1年生)	3,267	3,247	3,137	30	75 (2.3)	66	7
" (その他)	6,359	28	21	1	1(3.6)	1	0
小 計	9,626	3,275	3,158	31	76 (2.3)	67	7
合 計	33,594	7,256	7,034	85	126 (1.7)	113	17

要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

尿(腎臓)検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2010年度 尿検査状況

(単位:人(%))

БДД	计包本	-	一次検査	二次検査		
区分	対象者	被検査者	陽性者	被検査者	陽性者	
小学校	23,968	23,938	391 (1.63)	377	134 (0.56)	
中学校	9,626	9,429	637 (6.76)	595	176 (1.87)	
合 計	33,594	33,367	1,028 (3.08)	972	310 (0.93)	

陽性者率は一次検査者数に対するもの

ぎょう虫検査

小学校の低学年(1年生~3年生)の児童に実施しています。

2010年度 ぎょう虫検査状況

(単位:人(%))

					•
区分		一次検査	二次検査		
区刀	対象者	被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	11,962	11,958	16 (0.1)	16	2(0.0)

陽性者率は一時検査者数に対するもの

貧血検査

中学1年生の女子を対象に実施しています。

2010年度 貧血検査状況 (単位:人(%))

[区分 対象者		被検査者	異常なし	要	経過観察 精密検査
中学校	1年女子	1,602	1,438	1,255		109 (7.6)
	2年女子	1,519	30	18		8 (26.7)
	3年女子	1,563	28	16		9 (32.1)
合	計	4,684	1,496	1,289		126 (8.4)

要経過観察・精査率は被検査者数に対するもの



10. 学校給食

町田市の学校給食は、1947 年 12 月に町田小(現町田第一小)で週1回のみそ汁給食が始まりです。1955 年から徐々に完全給食に移行し、1963 年に鶴川地区に最初の共同調理所(1979年廃止)が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。現在、小学校 42校で単独校方式の完全給食を実施しています。また、2005年9月より中学校給食を毎年4校ずつ実施し、2009年度に全中学校で給食が実施になりました。給食の形態は、給食を希望する生徒に、業者が調理して学校に弁当形式の給食を配送する弁当併用外注給食方式です。献立は、市の栄養士が、国・都で定める学校給食摂取基準及び食品構成に基づいて作成しています。

(1)学校給食の指導目標

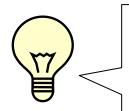
現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食の 指導にあたっては、食事の正しいあり方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を 育て、児童の心身を健全に発達させることを目標にしています。

(2)学校給食の栄養内容

栄養管理は、国の学校給食摂取基準をもとに町田市独自の食品構成によって行っています。 献立は、安全なもの、自然なもの、手作りのものをモットーに各学校の栄養士が作成しています。

(3) 学校給食の衛生管理

学校給食は、安全性の確保に特に注意し、保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や調理員等の研修会等を開催しています。1973年度からは食品の細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。また、現在は給食室のドライ運用を進めています。



ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗 浄作業をおこなうことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制 できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防い だりすることができます。

(4)学校給食施設の整備

給食施設の整備は、衛生管理の徹底、作業能率・安全性の向上を目標に実施しています。 大型備品としては、食器洗浄機、食器消毒保管庫、牛乳保冷庫等を年次計画に基づいて更新しています。

2011 年度 主な学校給食施設の整備状況

学 校	整備内容					
町田第二小	給食室改修工事による調理施設・機器の整備・買い替え					
町田第六小	給食室改修工事による調理施設・機器の整備・買い替え					
南大谷小	ガス立体自動炊飯機の整備					
成瀬中央小	ガススチームコンベクションオーブンの整備					
三輪小	ガス立体自動炊飯機の整備					
その他の学校	大型冷蔵庫・高速度ミキサー・フードスライサー等の買い替え					

(5)町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、1983年4月に市民の直接請求に応えて設置されました。この協議会は、町田市の学校給食の望ましいあり方を確立するために、食事内容、食品の安全性、食生活のあり方、給食費等の諸問題を協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

小学校給食費保護者負担額1食単価表示

学年 金額	1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学生
月額	3,600 円	3,800 円	4,000 円	300 円 × 各月給食回数
1 食単価	215 円	225 円	240 円	300 円

学校給食摂取基準

区分		栄	量	
	児童(6~7歳)	児童(8~9歳)	児童(10~11歳)	児童(12~14歳)
エネルギー(Kcal)	560	660	770	850
たんぱく質(g) 範囲	16 10 ~ 25	20 13 ~ 28	25 17 ~ 30	28 19 ~ 35
脂 質(%)	学	校給食による摂取工	ネルギー全体の 25~3	30%
ナトリウム(食塩相当量)(g)	2 未満	2.5 未満	3 未満	3 未満
カルシウム(mg) 目標値	300 320	350 380	400 480	420 470
鉄 (mg)	3	3	4	4
ビタミン A(μgRE) 範囲	130 130 ~ 390	140 140 ~ 420	170 170 ~ 510	210 210 ~ 630
ビタミン B1(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミン B2(mg)	0.4	0.5	0.5	0.6
ビタミン C (mg)	20	23	26	33
食物繊維 (g)	5.5	6.0	6.5	7.5

2011年9月献立例 小学校 (抜粋)

				名	
	献立名	赤 (血や肉を作る)	黄 (熱や力のもと)	緑 (体の調子を整える)	献立メモ
12 月	きのこうどん・いかの生姜焼き 磯香和え・月見だんご 牛乳	鶏肉・油揚げ いか・のり 牛乳	うどん・白玉粉 上新粉・上白糖 片栗粉・油	しめじ・えのき茸 干し椎茸・玉葱・長葱 人参・生姜・小松菜 もやし・	・12 日は十五夜 (中秋の名月)の 行事食として月 見団子を作りま
13 火	麦ご飯・なす入り麻婆豆腐 野菜のレモン醤油和え 果物・牛乳	豚挽肉・豆腐 みそ・牛乳	米・麦・油 三温糖・片栗粉 ごま油・ごま	生姜・にんにく・玉葱 人参・干し椎茸・なす たけのこ・長葱・もやし キャベツ・人参・レモン	す。 ・なすは7月~9 月が「旬」の野菜 です。
14	わかめご飯・ホッケの塩焼き 肉じゃが煮・煮浸し 牛乳	わかめ・豚肉 ちりめんじゃこ さつま揚げ・ホッケ 牛乳	米・ごま・油 じゃが芋・三温糖 こんにゃく	人参・玉葱・干し椎茸 グリンピース・もやし 小松菜	・ビーンズコロッ ケには茹でてつ ぶした大豆も使
15	柏パン・ビーンズコロッケ ボイルキャベツ・にら玉汁 果物・牛乳	豚挽肉・大豆・卵 豚肉・牛乳	パン・じゃが芋 マッシュポテト 小麦粉・パン粉 片栗粉・油	玉葱・人参・キャベツ にら・巨峰	います。食物繊維 がたっぷりの手 作りコロッケで す。
16 金	タコライス・ゴーヤチャンプル もずく味噌汁・果物 牛乳	豚挽肉・チーズ ハム・豆腐・卵 もずく・油揚げ みそ・牛乳	米・油・じゃが芋 上白糖・	玉葱・人参・にんにく ホールコーン・きゅうり 干し椎茸・もやし・長葱 にがうり・梨	・16 日は沖縄県の 料理を取り入れ ました。



16日(金)のメニュー

タコライスはタコスの「具」 を上にのせたご飯です。



ゴーヤ(にがうり)の入った炒め物です。ゴーヤは独特の苦味がありますが、薄切りにして塩もみすると苦味が薄くなります。

海草類は健康を保つのに欠かせないミネラルを多く含みます。

2011年9月献立例 中学校 (抜粋)

	+1			食 品 名		.v. <u>+</u>	· /=
	献立名	血や肉を作る		熱や力のもと	体の調子を整える	栄養	価
15	ごはん(ゆかり) 鮭のフライ&パスタ 鶏肉と春雨のエスニック炒め ひじきと豆のマリネ 果物 牛乳	鮭 たまご ベーコン 鶏肉モモ だいず	牛乳 ひじき	精白米・パン粉・ スパゲティ・砂糖・ 緑豆はるさめ・ サラダ油・ごま油・ オリーブ油	いんげん・小松菜・ にら・人参・しめじ・ エリンギ・ 玉葱・ ピーマン・キャベツ・ えだまめ・オレンジ	エネルギー たんぱく質 脂質 食塩相当量	862kca1 34.9 g 25.3 g 3.3 g
16	ごはん・ごま塩 イタリアンハンバーグ 小松菜とコーンのソテー きんぴら (コンニャク) チーズポテト 果物 牛乳	ハンバーグベーコン	牛乳 プロセ スチー ズ	精白米・強化米・ シェルマカロニ・黒ごま・つ きこんにゃく・ 砂糖・じゃがいも・ バター・ごま油	トマト缶詰・人参・ 小松菜・玉葱・ マッシュルーム・しめじ・ トウモロコシ・ズッキーニ・ ごぼう・オレンジ	エネルギー たんぱく質 脂質 食塩相当量	928kcal 31.2 g 28.0 g 3.2 g



16日(金)のメニュー

根菜のきんぴらです。根菜に は不足しがちな食物繊維が 豊富です。便秘予防にも効果 があります。



ジャガイモをマッシュし、 チーズ、牛乳を混ぜ込みま した。カルシウムもたっぷ りなチーズポテトです。

町田特注ハンバーグです。 れんこんが入っていて、歯 ごたえもよく人気のメニュ ーです。

野菜たっぷりのトマトソー スをかけました。

11. 学校施設

学校施設は、単に教育の場を提供するのみならず、児童・生徒の成長、発達そのものに深くかかわるものであり、豊かな人間性を育む環境として極めて重要です。既存の施設を良好に維持し、安全性、耐久性を確保することはもちろんのこと、新たな時代に向けて教育内容や方法が多様化する中で、それに対応した施設づくりを進めていかなければなりません。

(1)学校施設の現状

1950年代後半の東京への人口集中に伴い、市域へも都市化の波が押し寄せ、1960年代から公団・公社をはじめとする大規模な宅地開発が進みました。その結果、児童・生徒数の急激な増加をもたらし、学校建設が市政の緊急かつ重要な課題となりました。こうして、既存の木造校舎の鉄筋化、体育館・プールの整備とあわせ、"新増改築の緊急時代"を迎えることになったのです。

1965年4月には、小学校16校、中学校6校であったものが、約20年の間に、小学校28校、中学校14校が新設されました。こうした集中的な学校建設は、施設の老朽化も一斉に進行することを意味しており、町田市の特徴の一つでもあります。

急激な増加をみせた児童・生徒数は、人口増加の鈍化や出生率の低下などにより、児童は 1980年、生徒は 1985年をピークに減少していましたが、児童数は 2001年度から、生徒数は 2006年度から再び増加に転じています。以前生じた余裕教室を再利用して対応していますが、それだけでは対応できず、校舎を新増築する学校も出てきています。

(2)学校施設の整備

施設の機能を維持し、耐久性を確保するために、屋上防水工事や電気設備の改修、その他の維持補修工事、老朽化が進んでいる体育館・プールの改修等、教育環境を向上させるための事業を進めています。また、児童・生徒数の急増に対応するために教室整備を行います。

2010年度の主な整備実績

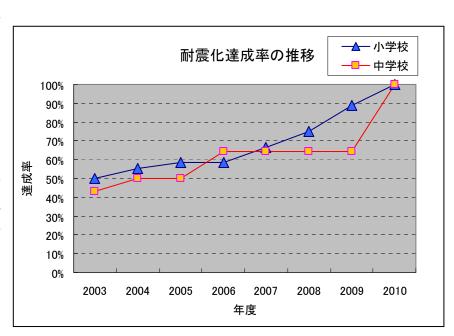
校=校舎 屋=体育館

工事内容	小学校	中学校
耐震補強事業	高ヶ坂小学校(校・屋) 南つくし野小学校(屋) 金井小学校(校) 小山小学校(校・屋)	成瀬台中学校(屋) 南成瀬中学校(屋) 山崎中学校(校・屋) 真光寺中学校(校)
防音事業	町田第一小学校(2年度目) 町田第四小学校(1年度目) 南第三小学校(1年度目)	
校庭芝生化事業	小山田小学校	
中学校新設事業		小山中学校(1年度目)
大規模改修事業		つくし野中学校(2年度目)

(3)学校施設の耐震補強工事

1995年に発生し、甚大な被害をもたらした阪神淡路大地震をはじめとする最近の地震災害では、現行の耐震設計基準(1981年6月1日)により設計された建物で崩壊・大破などの重大な被害を受けたものは極めて少なく、大被害が生じた建物の大半は、現行の耐震設計基準以前の建物でした。

市では、1981 年以前に建てられた校舎、体育館の耐震診断調査を開始し、1999 年度に公立小・中学校の対象校全校の耐震診断調査を完了しました。この診断結果等に基づき、小・中学校の施設建物について必要な耐震補強工事を進めてきました。耐震補強が必要と診断された小学校 36 校、中学校 14校につきまして耐震補強工事を行い、2010 年度に市立小中学校全校の耐震化率 100%を達成いたしました。



(4)学校新設事業

児童の増加による大規模校化を解消し、学校規模及び運営の適正化を図るため、学校新設事業を進めてまいりました。2005年4月に「小山ヶ丘小学校」、2009年4月に「図師小学校」、2010年4月に「小山中央小学校」が開校しました。これにより市立小学校数は42校となりました。

現在、堺中学校の大規模校化を解消するため、小山中学校を建設しており、2012 年 4 月開校する 予定です。敷地の段差を活かし、南側に保存緑地を擁した自然豊かな多摩丘陵の眺望と木々の緑の 景観を楽しめる教室配置となっています。また、太陽光発電、中水利用を行うことで環境負荷の低 減を図っています。



完成イメージ1



完成イメージ2



1. 生涯学習

(1)社会教育委員

社会教育委員は、教育委員会が行う社会教育行政に関する諮問機関として設けられた制度です。 社会教育行政に広く各方面の良識と経験を反映させ、地域の社会教育・生涯学習活動が民間と行政 の緊密な連携のもとに進められるために重要な役割を果たすものです。その構成と職務としての役 割については、社会教育法に規定されています。社会教育委員は、学校教育及び社会教育・生涯学 習の関係者並びに学識経験者で構成されています。任期は2年、定数は15名以内と条例で定められ ています。社会教育委員の職務は、教育長を経て教育委員会に助言をするための職務、教育委員会 に対して直接行う助言的職務と、市町村の社会教育委員に限って本来の諮問機関としての職務のほ かに実践的な指導の職務があります。町田市の社会教育委員の会議では、いろいろな答申や提言を 行い社会教育・生涯学習の推進に努めています。その主なものは下表のとおりです。

社会教育委員の答申・提言の一覧表

答申・提言名	答申日	内容(骨子)
町田市における家庭・学校・地域の 連携を強化する社会教育(青少年) 行政のあり方について - 提言 -	2000.3.29	町田市の子どもたちの実態、子どもたちを取り巻く学校・家庭・地域の現況、青少年育成団体・青少年施設の現状と問題点、家庭・学校・地域の連携を強化するための検討事項「町田市子育て活性化緊急プラン」の提示
町田らしい生涯学習推進(支援)計画策定に向けての重点施策について - 答申 -	2002.4.22	行政が生涯学習に取り組む必要性。町田市の生涯学習推進 に必要な8つの方策を提示。町田らしい生涯学習社会を構 築するための具体的施策
町田らしい生涯学習推進(支援)計画策定に向けての重点施策について - 第二次答申 -	2004.4.22	町田市における学習機会の提供とその現状。地域の学習環境の見直し。それぞれの地域(住区)で特に必要とされる世代の生涯学習の内容とその仕組み。町田らしい「活躍する人が育つ」生涯学習社会を推進するための具体的施策
町田の地域活動を活性化させるため の生涯学習プログラム~学校の特別 教室を利用した生涯学習クラブの設立~ - 提言 -	2006.4.25	子どもに関わる問題、高齢者に関わる問題、社会教育の課題、町田市固有の課題。市民の中に生まれた活動の具体例、活動事例からの示唆、町田の生涯学習の方向。学校の特別教室を活用した生涯学習プログラムを展開するための具体的施策
子ども行政一元化に向けた組織改正 に関わる青少年教育について - 提言 -	2008.2.7	子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育 について4つの施策を提言
今後の生涯学習施策について - 提言 -	2008.4.22	組織改正にあたり、生涯学習と社会教育の捕らえ方、首長部局と教育委員会の協力、生涯学習推進を支える行政の役割の明確化、生涯学習に関するネットワークの構築、学校をめぐる市の施策の生徒方針の明確化、市民協働を推進する上で生涯学習が果たす役割について6つの項目を提言
町田市における生涯学習センターの機能、学習機会の提供のあり方について - 答申 -	2010.3.26	町田市の生涯学習センターの理念、機能と具体像の提示。 それらを元にした5項目の実現のための提案と10項目 の実現のための施策及び今後に向けての提案

(2)まちだ市民大学HATS

教育委員会では、市民の生涯学習にかかわる条件整備の一環として、1993年6月に「まちだ市民大学HATS」を開校しました。2010年度は次のとおり、通年と前・後期に分けて講座を開催しました。また、特別講座では、フリーアナウンサーの生島ヒロシ氏による環境公開講座、生涯学習人材育成のための「生涯学習コーディネーター養成講座(全5回)」を開催しました。

今後も市民大学推進計画に基づき市民へのより多彩な学習機会の提供に努めます。

2010年度実施状況

通年講座(4月~12月)

講座名	講座 回数	延べ受講 出席者数	実施概要
多摩丘陵の自然入門	13回	441人	多摩丘陵の自然に親しみ、自然環境保全の認識を 高めることをねらいとし、市内の自然保護団体の 協力の下、自然保護の実情を知り、理解を深める ために、野外学習を実施しました。まとめとして、 自然環境保全の大切さを次世代へつなげていくと いうテーマで話し合いを行いました。
まちだの福祉	40回 (全コー ス合計)	264人	障がい者福祉コースと高齢者福祉コースがあり、それぞれ短期コースと通年コースを設定、全部で4コースにわかれて施設実習を行いました。また、町田の福祉について理解を深めるというねらいから、町田の福祉の現状や、障がい者・認知症サポート、家族の介護、地域福祉などの講義も行っています。



多摩丘陵の自然入門

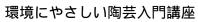


まちだの福祉

前期講座(4月~7月)

講座名	講座 回数	延べ受講 出席者数	実施概要
まちだ de エコ・ツアー - ここからはじめる エコ・アクション -	11回 (全コー ス合計)	137人	Aコース(みどりコース) Bコース(水・ごみコース)に分け、それぞれ環境保全活動を体験、また、両コース合同によるごみ処理施設等の見学や環境を考えるポイントを巡るバスツアーを実施しました。講座修了後、ボランティア活動を始める受講生が続出しました。
心と体の元気学 - 健康な身体づくりを 始めましょう -	10回	576人	身体を動かすきっかけづくりとして、誰でも楽しく参加できる内容で実施した講座です。阿波踊りや気功・太極拳、カローリングなどのさまざまな種目に挑戦、「自分に合ったスポーツ探し」という視点からのアプローチも好評でした。
まちだ市民国際学 - アフリカを知る F I F A ワールドカッ プ出場国を通じて -	10回	581人	FIFAワールドカップ南アフリカ大会の開催に合わせ、メディアがサッカーに注目する中、あえて、報道されないアフリカ社会の現実を学ぶことを全体のねらいとしました。アフリカ出場国6カ国を切り口として、各国に関する有識者を講師に招き、実施しました。
町田の郷土史 - 縄文から幕末まで -	12回	615人	町田の歴史を学ぶための入門的な講座として、 縄文から幕末まで時代を追って学習する講座で す。講義で学んだ歴史を目で確かめられるバスツ アーでは市内の史跡各所を見学しました。講座修 了後も個人やグループで郷土史の学習を続けたい という声が多くありました。
環境にやさしい 陶芸入門講座 - 作って楽しく、使っ て楽しいあなただけの 作品づくり -	9回	211人	初心者を対象に、陶芸の一連の工程を学ぶ入門として、タタラ作りやひも作りなどの基本的な技法を学び、皿や壷、茶碗を制作しました。最終回には作品鑑賞と受講生自身が作った茶碗を用いてお茶会を行い、創作する楽しみと使う喜びを味わう講座になっています。
人間科学 - 現代の「生老病死」 と向きあう -	11回	646人	人間の「いのち」について人権と生命倫理の視点から学ぶ講座として、「地域医療」「終末期医療」「再生医療」「医療崩壊」「iPS細胞研究」「臓器移植問題」などを主な題材とし、企画運営しました。講座修了後には、受講者の懇談会も行われました。







人間科学・人間関係学

後期講座(9月~12月)

横座 延べ受講 ロケ州市					
講座名	回数	出席者数	実施概要		
まちだ市民環境塾 - 今地球におきている 本当の事をしっかりと 学びます -	11回	273人	名古屋で開催された「COP10生物多様性国際会議」にちなんだ講義を講座の軸として、食の安全性、ごみ・リサイクル、景観保全、環境教育の講義も行い、地球環境問題を町田市民が自分のくらしの中で受け止めるきっかけを与えました。		
心と体の元気学 - 健康な身体づくりを 始めましょう -	10回	566人	毎年好評のカローリングや阿波踊りのほか、今回は新たに腰痛膝痛体操や、ゆる体操を取り入れ、今後の生活に役立つさまざまな運動を学びました。講座終了時には、「これをきっかけに運動を習慣づけていきたい」との感想がありました。		
まちだ市民国際学 - 東アジア共同体とは 何か? -	10回	590人	北京オリンピック・上海万博など、世界が中国 に注目する中、「東アジア共同体構想」をテーマに 設定し、東アジア経済、東アジア文化圏、東アジ アの安全保障等の視点から多面的に学びました。		
町田の郷土史 - 明治から現代まで -	12回	570人	明治から現代まで時代を追って学習する講義が中心の講座です。小野路や野津田地域を歩きながら、自分たちの目で歴史を確かめる現地見学も行いました。今後も地域の歴史を学びたいという要望に応えていける講座を実施します。		
環境にやさしい 陶芸入門講座 - 作って楽しく、使っ て楽しいあなただけの 作品づくり -	9回	107人	初心者を対象にした入門講座として、タタラ作りやひも作りなど手びねりの技法での作品作りや、釉薬掛けなどを行い、陶芸全般についての学習、あわせて土器の野焼きなども実施しました。最終回には作品鑑賞と受講生自身が作った茶碗を用いてお茶会を行い、創作する楽しみと使う喜びを味わう講座になっています。		
環境にやさしい 陶芸講座 - やきもののリサイク ルに関する地産地消の 実証実験講座 -	10回 (全コー ス合計)	101人	生活の中で壊れたり、不用になったりしたやきものを資源として、再びやきものに生まれ変わる陶磁器のリサイクルについて学ぶ講座を実施しました。本講座は他市町村では類を見ないもので、この講座の取り組みを「まちだ市民大学HATS紀要第1号」として発行しました。		
人間関係学 - 人間関係の多様性と 向き合う -	11回	654人	価値観や人間関係が、ますます多様化している 現代、かけがえのない個を互いに認め合い、地域 で共に自分らしく生きるため、親子関係や性の多 様性、子どもや若者、結婚、労働、老後などの問 題をテーマとし、人間関係の多様性を学ぶ講座で す。		





「環境にやさしい陶芸 講座」の様子です。 不用になった食器を細 かくしています。

特別講座

講座名	講座 回数	延べ受講 出席者数	実施概要
- 46億歳の地球に、 今、私たちができること - フリーアナウンサーの 生島ヒロシさんが語る	1回	113人	この講座は「まちだ市民環境塾」の特別公開講座として実施しました。複雑で多様な生態系をどう保全していくかという課題、あるいは、温暖化問題など地球環境問題に対して、私たちのできることを目的としました。 エコで健康な生活スタイルの視点から、楽しくエコライフを送るコツが、数多く提起されました。
生涯学習コーディネー ター養成講座 - 生涯学習コーディネ ーターって何? -	5回	110人	この講座は、町田市の生涯学習・社会教育を旧来の行政主導から行政と住民の協働へと転換させるひとつのきっかけとして立案しました。町田市の生涯学習を今後さらに推進・発展させていくリーダーの養成を目的としています。講座終了後、修了生の大半が参加する有志グループができ、講座として成果が得られました。

(3)生涯学習情報の提供・団体活動への援助

市内には学習・文化活動を行っている社会教育関係団体が数多くあります。また、近年では個人の生涯学習に対する関心も高まっています。そこで、教育委員会では、市民の皆さまにさまざまな生涯学習に関する情報をお届けするとともに、市民団体の自主的な生涯学習活動がより活発に展開されるよう、いろいろな制度を設けて援助を行っています。

生涯学習情報の提供

情報コーナー

市役所森野分庁舎の1階に「情報コーナー」を設置しています。このコーナーでは、各方面から送付される定期刊行物及び講座・催し物のチラシ配布、ポスター掲示をし、町田市内に限らず、他の地域や学校等も含めたさまざまな生涯学習に関する情報を閲覧できるようになっています。

生涯学習NAVI

市民が生涯学習を行う際に役立てていただけるよう、町田市の講座・イベント情報誌「生涯学習NAVI」を春と秋の2回発行し、無料で配布しています。生涯学習の事業を特集するとともに、市内や近隣の地域で催される講座及びイベント等を紹介しています。

団体活動への援助

社会教育関係団体事業費補助金

市民を対象に行う発表会・講演会、青少年健全育成に関する事業など、社会教育の振興を促進させると認められる事業を行う社会教育関係団体に対し、講師の謝礼、会場の借上料及び印刷費等の事業にかかる経費の一部を援助しています。

社会教育関係団体事業費補助金申請団体数・交付総額・交付団体数

区分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
申請団体数	8	6	8	7	9
補助金交付総額(円)	405,694	460,760	499,200	499,694	404,647
交付団体数	8	6	8	7	8

社会教育関係団体講師派遣制度

学習・文化活動を行うことを目的として活動する市内の団体が、会員以外にも広く参加を呼びかけ、講師を招いて実施する学習会・講演会に対し、その講師の謝礼を援助しています。

社会教育関係団体講師派遣制度謝礼支払額・申請団体数・実施団体数

区分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
謝礼支払額(円)	1,300,000	1,440,000	1,470,000	1,208,000	1,275,000
申請団体数	67	73	74	63	67
実施団体数	66	72	73	61	65

(4)学校施設「特別教室」の開放

市民の学習・団体活動等、地域活動の場として、開放区画のある次の学校の「特別教室」の開放 を、学校教育に支障のない範囲で行っています。

利用できる特別教室

本町田小学校

多目的室、ランチルーム

木曽境川小学校

理科室、図工室、音楽教室、家庭科室

小山ヶ丘小学校

会議室、理科室、図工室、音楽室、第3音楽室、家庭科室 鶴川中学校

小ホール(階段教室)、ミーティングルーム

技術室及び家庭科室(夏季期間のみ可)



利用案内

利用時間

- ・平日 午後6時30分~午後9時
- ・土日祝日 午前9時~午後9時 午前・午後・夜間の3区分での利用となり、継続利用は原則できません。
- ・夏季期間(夏休み)の平日 小学校・中学校 午後1時~午後5時 鶴川中学校(技術室・家庭科室)午後6時30分~午後9時 休室日

毎週水曜日、年末年始、学校行事又は、町田市教育委員会が指定する日

利用の方法

利用する場合は、事前に団体登録が必要です。利用できる団体は、代表者が市内在住の20歳以上の方で、5人以上で構成される団体(半数以上が市内在住又は在勤、在学者であること)です。団体登録は、団体構成員名簿を用意した上で、生涯学習課で登録していただきます。

学校施設のため、活動内容によっては、利用できない場合もあります。利用申請受付は、利用する各開放校の管理人事務所において、決められた時間内のみとなります。

- ・翌月分の申込み受付日時…毎月第1土曜日の午後1時(休室日の場合は第2土曜日) 受付時に、重複がある場合は、抽選となります。
- ・空き状況での申込み受付日時(利用日の7日前まで)…平日午後6時30分~午後7時30分、土・日曜日、祝休日は午後1時~午後2時

2010年度利用状況

学校	利用教室	延べ利用人数(人)
 本町田小学校	多目的室	1 040
本町田小子 校	ランチルーム	1,040
	理科室	
	図工室	
木曽境川小学校	音楽室	981
	家庭科室	
	ランチルーム()	
	会議室	
	理科室	
 小山ヶ丘小学校	図工室	2 220
小山グ丘小子似	音楽室	2,329
	第3音楽室	
	家庭科室	
	小ホール(階段教室)	
鶴川中学校	ミーティングルーム	948
	技術室及び家庭科室	

2011年3月まで。

2. 公民館

町田市の公民館は、昭和25年に原町田公会堂を譲り受け、町田町公民館として利用されるようになったのが始まりです。その後昭和53年(1978年)に建て替えを行い、町田市公民館となりました。しかし、市民の二 - ズに充分応えるには手狭になったため、原町田六丁目市街地再開発事業で建設する商業ビル内に新公民館をつくることになり、1998年に利用者・地元住民・学識経験者等で構成する公民館移転建設検討委員会が組織され、2000年9月に実施計画が報告されました。2002年6月に竣工、2002年10月に『まちだ中央公民館』としてオープンしました。公民館では、さまざまな事業を行い、またグループ活動や集会などへの会場提供などをとおして、市民の文化・学習活動の機会提供に努めています。

(1)施設概要

所在 町田市原町田 6-8-1

構造 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造地下2階・地上8階建ての 内、6階~8階

延床面積 2,676.84㎡

(2)施設内容

ホール 定員158名

ホール控室 定員10名2室

学習室 定員30名1室 定員21名1室 定員18名1室 定員15名2室 定員12名2室

調理実習室 定員37名

美術工芸室 定員30名

視聴覚室 定員36名

プレイルーム 定員18名

音楽室 定員24名1室 定員18名1室

和 室 定員45名1室 定員24名1室

保育室 定員20名1室

(3) 利用案内

利用時間 午前9時~午後10時

休館日 第4月曜日(祝日、振替休日にあたるときは、その翌日)、 12月29日~翌年1月3日

使用できる方

市内在住、在勤、在学の方で構成するサークル(5人以上)の方 申し込み

「町田市施設案内予約システム」により、抽選申し込み及び空き施設の予約ができます。

(4)各種講座等の開催

公民館では講座、講演会、コンサート等を開催しています。講座・講演会の一部は、公民館から 出向き、地域でも開催しています。また、市民企画による講座・学級、公民館まつりなど、さまざ まな事業を実施しています。

講座型

講座型の事業では、市民講座や文学講座、家庭教育、市内の大学・民間企業との共催などを実施しています。

市民講座や文学講座は、今日的課題や趣味・教養に関する内容などで実施しています。

家庭教育学級は、子どもを持つ親を対象に実施しています。乳幼児・小学生・中学生の3つのコースがあり、それぞれ今日的課題について学んでいます。

講演会等

身近な問題を中心に、だれもが気軽に参加できるような内容で単発の講演会やコンサートを実施しています。また、青少年を対象に"夏休み子どもフェアー"や"春休み子どもひろば"なども行っています。

市民企画型

市民が企画する事業として、市民企画講座と自主学級があります。

市民企画講座は、市内各地域での住民による主体的な講座開催を目的とし、市民 5 人以上で組織する運営委員会が公民館職員と協力して企画、運営、実施するものです。生活の改善や住みやすい街づくりにつながり、公民館周辺以外の施設で実施予定の企画を優先的に採り上げます。

自主学級は、変動する社会の中で、「男女共生」・「家庭教育」・「公民館の学び」という3つのテーマから継続的かつ集団的な学習を通して、生活文化の振興、社会福祉の増進を目指しています。10~20名で集まり、学級内容を決めて、自主的に運営していくもので、講師謝礼と保育を公費で行っています。

公民館まつり

公民館を利用している多くの団体、サークルが、日 頃の成果を発表し、交流する場として1981年から毎年 行っています。



公民館まつり

(5) ことぶき大学

ことぶき大学のはじまりは、1966年に開催された60歳以上の方対象の学級です。内容は、日本経済の動向、長寿の秘けつ、芸術鑑賞、老後の生活設計、高齢者の健康管理などでした。その後、高齢者の増加と多様な学習要望に応えるために制度の改正を行い、現在に至っています。歴史・文学等概ね11コースを実施し、"楽しく学んで豊かに生きる"をモットーに約1,000名以上の方が、学習や交流に楽しい時を過ごしています。

(6)障がい者青年学級

1974年、障がいのある青年20名の参加で開設された障がい者青年学級は、現在、170名を超える青年が参加し、6月~3月まで月2回の日曜日に公民館とひかり療育園を会場に、さらに1997年度に町田第二小学校で始まった土曜学級が現在では、月2回の土曜日に公民館を会場に活動を行っています。この青年学級は、障がい者の教育保障の視点から開設しているもので、"生きる力、働く力"の獲得を目標に学習活動、自治活動、仲間づくり、集団づくりを行っています。

(7)町田市公民館運営審議会

公民館運営審議会は、学校関係者(1名)、学識経験者(3名)、公募の市民(11名)からなる 15名の委員で構成されています。毎月定例会を開催し、館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき、調査、審議を行っています。2004年1月には「障がい者青年学級の将来的あり方について」の答申を作成したほか、公民館利用者懇談会などに関わっています。

(8)施設貸し出し状況(2010年度)

会議室名	利用件数(件)	利用人数(人)
ホール	915	34,122
学習室 1 ・ 2	1,720	20,795
学習室3・4	1,688	12,076
学習室5・6・7	2,553	21,000
和室1・2	1,638	14,342
音楽室 1 ・ 2	1,773	15,674
プレイルーム	852	7,668
調理実習室	848	10,525
美術工芸室	850	9,280
視聴覚室	846	11,905
保育室	477	5,481

(9)事業一覧(2010年度)

形態	対象	事業名	回数	人数 (延)
		市民企画講座		
		・ 完璧な親なんていない	6	40
		・ えのぐをつくる・つかう	3	50
		・ 賢いマンション管理の基礎講座	4	44
		・ 子どもの文化を考えよう!	5	180
١.		・ 古武術介護予防と高齢者の為の基礎知識	3	63
市		・ かけがえのない命!今、私たちに必要なこと!	5	65
		・ ゆるやかな地域でのつながりを求めて	4	47
民		・ 公民館で何かができる!	6	121
		・ 夫婦の関係が良くなる三つのヒケツ!	3	40
١.		・ 知って 癒して 人間関係	3	41
企		市民共催講座		
	般	・ 町田をもっと知る講座	3	420
	132	・ 名主日記に読む幕末の町田	1	58
画		自主男女共生学級		
		学級(学習)活動 (各学級単位で月1~2回、テーマに沿っての学習)	12学級	1,690
型		開級記念講演会	3	89
		研修企画		
		・ 性教育と生教育	1	51
		・ コミックから読み取るジェンダー	1	25
		・ 公民館の学びを考える	1	26
		閉級式(3回とも研修会のテーマから一つを選んでグループ討議)		
		・ 第3回目は、地震のため中止	2	50

形態	対象	事業名	回数	人数 (延)
講座型	一般	市民講座 ・ 筝で音楽の歴史を体感! ・ 童話を書いてみよう -童話創作実践講座- ・ パイプオルガンの魅力 ・ 糖尿病予防講座 家庭教育学級 ・ 乳幼児を持つ保護者のための講座 ・ 小学生を持つ保護者のための講座 ・ 中学生を持つ保護者のための講座 親と子の交流ひろば ・ きしゃポッポ ・ パパきしゃ 東京女学館大学共催講座	6 4 3 5 7 4 4 33 11	134 73 62 78 139 44 53 612 65
		・ グローバルに考える	3	89



形態	対象	事業名	回数	人数 (延)
		サタデーコンサート		
		・ Vol.49 ~春風にのせて~小林正枝『ヴァイオリンの夕べ』	1	160
		・ 第5回 まちだフレッシュコンサート	1	143
		· Vol.50 「室内楽の愉しみ」	1	129
		・サタデーライブ9 Panana Cat'2 コンサート	1	133
		・ Vol.51 「秋の訪れと共に愉しむ、ピアノトリオの調べ	1	123
		~ロマン派からピアソラへ~」		400
		・ Vol.52 「野田清隆ピアノリサイタル」 ・ サタデーライブ10 タイムトリップ・コンサート	1	136
		・ Vol.53 ピアノデュオJumellesによるコンサート	1	137 124
		・ vor.55 ピアファコオJulier resによるコンリード ~冬の夜のおくりもの~	'	124
		夏休みこどもコンサート		
		・ ~ヴィオラとチェロとピアノ~楽しいアンサンブル	1	125
		平和事業	'	123
		・ 戦時資料展(サダコと折り鶴・原爆ポスター展・戦時資料展)	9	421
		・「原爆体験談」	1	31
		・中央大学の学生製作「多摩の戦跡」DVD上映	9	421
		・ 「65年目の平和を祈る語り読み」	1	79
講		・「紙芝居」上演	2	110
		・すいとん試食会	1	80
演	_	他部共催事業		
<i>1</i> 75		・防災展	5	363
	40	・ 自主防災組織防災リーダー養成講座 《防災安全課・住宅課・町田 ・ 自主防災組織防災リーダー養成講座 消防署共催》「防災・救急展」	1	50
会	般	・木造住宅の耐震相談会	1	21
		・ 第 5 回総合健康づくりフェアー2010(台風のため午前中のみ開催)	1	20
等		・ アフガンに生きる子どもたち 《福祉総務課共催》	1	60
"		・阪神淡路大震災避難所から考える 《防災安全課共催》	1	101
		・中里 斉氏によるギャラリートーク 《国際版画美術館共催》	1	17
		・ 観音・地蔵か人々に与えたハリーとは…。 丿	1	24
		大学等共催事業		70
		・まち・コレ	1	76 95
		・昭和薬科大学共催「食と健康」 民間企業等共催事業	'	95
		氏同正未守兵性争未 ・ 町田市シルバー人材センター共催「まちだの達人」	1	21
		・ 五藤光学研究所共催「親子星空教室」		116
		・ 五藤光学研究所共催「小惑星探査機はやぶさ」講演会		116
		・町田商工会議所共催「リスク・マネジメント シンポジウム」		48
		市民共催講演会	'	.0
		・ 江戸・東京の町づくり	1	125
		その他講演会等		0
		・花粉症対策	1	63
		・ 働かざる者を食わすべし? - ベーシック・インカム その思想と理論 -	1	34
		・今年の夏は浴衣を着よう!	1	14
		・和太鼓一日体験講座	1	25



形態	対象	事業名	回数	人数 (延)
_		文学	6	806
こ		歴史	6	806
ح	_	美術	6	843
忑	高	音楽	6	805
	齢	中国の文化	6	752
き	者	日本の伝統	6	124
大		健康	6	140
大学		絵手紙	6	124
		鎌倉散歩	7	91

形態	事業名	回数	人数 (延)
	開級式 🗇 公民館学級	1	75
	√ ひかり学級	1	66
	 土曜学級	1	68
	学級活動		
	公民館学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(公民館)	12	934
	ひかり学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(ひかり療育園)	12	750
障	土曜学級 原則として第2・4土曜日に月2回実施(公民館)	12	761
が	合宿 ← 公民館学級	2	139
	⟨ ひかり学級	2	118
161	し 土曜学級 	2	130
者	成果発表会 公民館学級	1	79
青	⟨ ひかり学級	1	65
年	し 土曜学級	1	71
	担当者会議	39	1,525
学	担当者調整会議	8 16	48 118
級	ニュース作り 青年学級を語る会 (公民館学級	10	34
	「日本子級を記る会」 公民語子級	1	21
	土曜学級	1	35
	スポーツ大会(東京都)	1	21
	スポーツ大会(町田市)	1	27
	学級活動総括	2	46
	公民館まつり参加(年1回)	1	60

形態	事 業 名	回数	参加 (延)
	第30回公民館まつり (実行委員会	4	63団体
	(10月22 ・23・24日) 展示	3日	27団体
そ	〈 発表	3日	34団体
の	模擬店	3日	2団体
1	○ 来館者	3日	2,836人
他	公民館だより (発行 6回/編集会議 12回)	12	
	編集委員:市民公募 3 名・公運審 2 名		
	印刷機講習会	2	4団体

3. 図書館

市立図書館の前身は、1953年ごろ町田町役場内に設置された図書室で、1956年9月に「町田町立図書館」となりました。開館当初は蔵書が1,000冊にも満たない閲覧中心の施設でした。1958年2月、市制施行に伴って館名を「町田市立図書館」と改め、更に1968年9月には中町2丁目に移転して、プレハブ建てながらも個人貸出しの図書館としてスタートしました。その後移動図書館「そよかぜ号」の巡回を1970年10月よりはじめ、1972年5月には建て替えにより新装オープンしています。また、1972年2月に「鶴川分館」(1977年10月に現在地に移転)、1974年6月に「金森分館」(2000年7月に現在地に移転)、1976年7月に「木曽山崎分館」、1983年9月には「堺分館」がそれぞれ開館しました。

1980年代後半から新しい図書館の建設を望む声が高まり、1990年11月に中央図書館が開館、 CD、ビデオなどの貸出や館内視聴といった新しいサービスが始まりました。貸出返却をコンピュータで行う市内の中心的図書館の誕生です。これに伴って「町田市立町田図書館」は「さるびあ図書館」に、その他の分館もそれぞれ「図書館」に名称を変え、地域館として新たなスタートを切りました。1992年の7月には市立の図書館全館をコンピュータで結ぶオンライン化も完成しています。

その後1999年4月からは祝日開館、平日の開館時間の延長及び地域館の夜間延長の実施、同年11月には貸出冊数制限の緩和を行いました。

館名	所在地	電話	開館年月日	建物面積
中央図書館	原町田 3-2-9	728-8220	1990.11.30	5,262.00 m²
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722-3768	1972. 5.22	1,234.32 m²
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735-5691	1972. 2.15	259.75 m²
金森図書館	金森 1021	710-1717	1974. 6. 3	1,494.56 m²
木曽山崎図書館	山崎町 2160	793-6767	1976. 7.15	320.60 m²
堺図書館	相原町 795-1	774-2131	1983. 9.25	429.00 m²
町田市民文学館	原町田 4-16-17	739-3420	2006.10.27	2,156.27 m ²

町田市立図書館一覧

開館時間と休館日

館名	開館	休館日	
中央図書館	火・水・金 木・土・日・祝休日	午前10時~午後8時 午前10時~午後5時	・毎週月曜日(祝休日の場合
さるびあ 鶴川 金森	火・水・金 木・土・日・祝休日	午前10時~午後6時午前10時~午後5時	は開館) ・毎月第2木曜日(祝日の場 合は開館し、翌日休館)
木曽山崎堺			・特別館内整理期間 ・年末年始
町田市民文学館	火~日、祝休日	午前10時~午後5時	

蔵書統計(図書資料・視聴覚資料)

	一般図書	児童図書	地域資料	図書資料合計(冊)	視聴覚資料
中央	457,009	67,457	39,092	563,558	43,699
さるびあ	80,709	49,865	3,564	134,138	7
鶴川	29,507	20,814	1,414	51,735	7
金森	94,384	43,196	2,439	140,019	11
木曽山崎	41,294	24,954	1,820	68,068	9
堺	45,757	28,907	2,376	77,040	16
町田市民文学館	17,439	1,801	123	19,363	0

視聴覚資料(CD、カセットテープ、LD、ビデオテープ、DVD)

(1)貸出サービス

個人貸出

町田市内在住・在勤・在学の方を対象に、利用券を発行し貸出を行っています。

利用登録後は、全館合わせて本・雑誌など1人10冊2週間(うち新刊扱いの雑誌は1人1冊1週間・貸出用レファレンス資料は1週間) DVD・ビデオテープ・CD・カセットテープは合わせて1人3点1週間借りることができます。

個人登録者数(町田市)

一般	児童	在学一般	在学児童	在勤	合計(人)
86,188	15,140	2,286	123	2,493	106,230

図書資料・視聴覚資料 個人貸出冊数

	一般図書	地域資料	児童図書	雑誌	合計(冊)	視聴覚資料(点)
中央	1,068,027	4,517	197,262	63,047	1,332,853	243,665
さるびあ	273,298	362	126,193	33,028	432,881	22
鶴川	293,125	740	174,663	32,442	500,970	1
金森	527,461	959	309,433	59,895	897,748	0
木曽山崎	261,203	424	131,909	25,670	419,206	0
堺	113,947	264	74,378	10,707	199,296	0
さるびあ移動図書館	49,164	13	41,973	6,140	97,290	0
堺移動図書館	19,563	5	31,361	2,987	53,916	0
町田市民文学館	3,318	21	1,310	312	4,961	0
Web-OPAC	136,664	482	30,181	7,439	174,766	0
合計	2,745,770	7,787	1,118,663	241,667	4,113,887	243,688

インターネットからの貸出延長数

団体貸出

図書館に利用登録がある地域文庫や読書会等を対象に、図書の団体貸出しを行っています。

2010 年度 団体登録数

区分	種別	団体数	貸出冊数・期間
学校・地域文庫	小学校	51	600 冊・6 ヶ月
	地域文庫	15	000 冊 6 0 万
読み聞かせ団体・その他	保育園・幼稚園	26	
	読書会	52	300 冊・3 ヶ月
	学童保育クラブ	15	300 皿,3 0 円
	その他	26	
庁内	市役所各課	47	50 冊・1 ヶ月
合計		232	

2010 年度 図書資料 団体貸出冊数

	一般図書	児童図書	雑誌	合計(冊)
中央	467	2927	110	3,504
さるびあ	264	7,204	59	7,527
鶴川	32	607	2	641
金森	715	3,256	87	4,058
木曽山崎	29	417	11	457
堺	217	917	2	1,136
さるびあ移動図書館	31	1,487	1	1,519
堺移動図書館	643	1,328	384	2,355
町田市民文学館	51	171	1	223
合計	2,449	18,314	657	21,420

学校図書館支援貸出(配本システム=軽自動車メールカー運行による配本)

学校図書館の資料が不十分である現状の中で、図書館が学校図書館を支援するため、2008 年6月から開始しました。さるびあ図書館が担当し、調べ学習等の資料を定期的に配本し、貸 出すことで学校図書館をサポートしています。

2010 年度 学校支援貸出冊数等

	小学校	中学校
登録学校数 (校)	36	11
依頼学校数(校)	103	12
依頼件数(冊)	135	12
貸出総冊数	3,860	316

市民センター等における図書館資料(予約資料)受渡しサービス

近くに図書館がない地域の市民向けに、2010年9月から忠生市民センター、小山市民センター及び南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡しサービスを開始しました。

2010年度 受渡し冊数一覧

場所	冊数
忠生市民センター	3,073
小山市民センター	1,755
南町田駅前連絡所	8,815

(2)移動図書館サービス

図書館が身近にない地域に対して図書館サービスを継続的に提供するため、3台の移動図書館「そよかぜ号」が2週間に1回、66箇所のサービスステーション(さるびあ図書館から2台で42箇所、堺図書館から1台で24箇所)に巡回しています。



移動図書館車

2010年度 移動図書館利用者数・巡回数

	移動図書館利用者数	移動図書館巡回数
さるびあ	17,738	984
堺	10,041	538

(3)リクエストサービス

求める図書が見当たらないときは、リクエストをすることができます(2011年10月より制度変更し1人10冊まで)。対象は町田市内在住・在勤・在学の利用登録者で、申込み方法はリクエスト用紙によるカウンター受付のほか、館内利用者検索機、インターネットからも可能です。

リクエストを受けた図書が貸出中の場合は、返却後、受付順に貸出しています(リクエストの取り置きは、用意ができてから10日間)。図書館で所蔵していない図書の場合は、新たに購入したり、他の図書館から借り入れるなどして、なるべく早く貸出しができるようにしています。

2010 年度 リクエスト件数

	カウンター	館内利用検索機	インターネット	合計(件)
中央	40,902	21,047	163,722	225,671
さるびあ	15,432	7,265	64,769	87,466
鶴川	14,881	8,645	109,468	132,994
金森	24,305	18,933	149,934	193,172
木曽山崎	16,471	7,047	53,698	77,216
堺	4,676	3,383	19,203	27,262
さるびあ移動図書館	9,855	-	-	9,855
堺移動図書館	7,321	ı	1	7,321
町田市民文学館	632	338	896	1,866
合計	134,475	66,658	561,690	762,823

(4)レファレンスサービス

図書館の資料や機能を活用して、利用者からのさまざまな調べものや探しものについてお手伝いするサービスです。中央図書館においては、専用カウンターを設け、各種有料データベースによる検索サービスも行っています。

2010年度 レファレンス受付件数 (中央図書館のみ)

レファレンスカウンター	レファレンス	レファレンス
総受付件数(件)	(一般)	(地域資料)
10,619	8,305	1,088

レファレンスカウンター総受付件数には、貸出その他を含みます。

(5)障がい者サービス

目の不自由な方に録音図書・点字図書の貸出、製作や、対面朗読を行っています。

また、来館が困難な方には、市民ボランティアのご協力により宅配貸出のサービスも行っています。

設備としては各館に車いすで利用できるトイレやスロープ等があります。

2010年度 対面朗読

実施館	実利用者数	延べ件数	実朗読者数	朗読時間
中央・木曽山崎	10	405	36	876時間51分

2010年度 視覚障がい者への障がい者用資料の郵送貸出

録音(テープ)	録音(デイジー)	点字資料·絵本	合計(点)
2,262	547	127	2,936

デイジー・・・専用機器やパソコンソフトで再生するデジタル録音図書の名称。 DAISYという規格に基づき、CD-Rに記録してあります。

2010年度 肢体不自由利用者への宅配貸出

	実利用者数	延べ利用者数	実宅配者数	貸出点数
中央	4	84	11	482
さるびあ	2	46	2	103
鶴川	2	47	2	324
金森	7	129	8	588
木曽山崎	3	36	3	245
堺	1	23	1	110
合計	19	365	27	1,852

玉川学園文化センターを経由しての貸出を含みます。

(6)視聴覚サービス

中央図書館では視聴覚資料の貸出しを行っています。館内ではCD・カセットテープ・ビデオテープ・レーザーディスクの視聴(試聴)もできます。

また、持込みのノートパソコンが利用できるパソコン席を設けています。無線 L A Nサービス「ホットスポット」のアクセスポイントも設置しており、契約していればインターネットの利用も可能です。

(7)児童サービス

本と子どもを結びつけるため各館とも児童コーナーの充実に努めており、いつも子どもたちでにぎわっています。子どもの新刊本リスト「みんなでよもうこどものほん」の発行や、おはなし会、乳幼児向けおはなし会、子ども映画会などの行事も行っています。

2010年度 児童向け事業

	おはなし会		乳幼児向け	乳幼児向けおはなし会		子ども映画会	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
中央	76	1,243	24	686	12	403	
さるびあ	24	428	23	713	1	-	
在鳥リ!	24	358	2	36	-	-	
金森	46	1,212	11	353	-	-	
木曽山崎	49	1,251	23	734	11	330	
堺	34	407	-	-	12	137	

(8)ヤングアダルトサービス

中高生の年代を対象にしたサービスを行っています。ライトノベルや職業案内の本などが多くあります。ヤングアダルト新刊本案内「YA通信」を毎月発行していて、館内で配布するほか中学校、高等学校へも送っています。また、中央図書館のヤングアダルトコーナーには、利用者が自由に記載できる「わいわいノート」が置かれていて、とても人気があります。

(9) ホームページ上でのサービス

インターネットの普及に対応するため、2004年4月よりホームページ上での蔵書検索サービス、 リクエスト受付、電子メールによる利用者への予約連絡サービスを実施しました。さらに、2010年 2月からはインターネットによる貸出延長サービスも実施しています。

[URL]

http://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08library/library.html

(10)相互利用サービス

1998年12月に相模原市と、2007年10月に八王子市と、さらに2008年4月に府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市との間に相互利用協定が結ばれ、町田市民も前記各市の図書館が利用できるようになりました。

なお、相互利用市の市民からの資料予約は受け付けていません。

個人登録者数(相互利用市民)

2011年3月31日現在

相模原	八王子	日野	多摩	調布	稲城	府中	合計(人)
13,562	569	70	153	29	63	34	14,480

2010 年度 相互利用貸出冊数

	図書・雑誌	視聴覚資料	ハンディキャップ資料	合計(冊)
相模原市	289,178	45,977	30	335,185
八王子市	10,333	741	0	11,074
稲城市	166	81	0	247
調布市	123	3	0	126
府中市	187	14	0	201
日野市	1,166	159	0	1,325
多摩市	452	368	0	820
合計	301,605	47,343	30	348,978

(11) 行事

図書館では、以下のような行事を開催しています。

講演会

参加者の知的興味を満足させるとともに、図書館の利用につながるような講演会を実施しています。

映画会

月毎にテーマを決め、毎週金曜日、中央図書館6階ホールで映画を上映しています。また、 毎月第3金曜日には、2歳から就学前のお子様をお預かりする保育付き映画会も行っています。

図書館入門講座

図書館を使い慣れていない方に、図書館の上手な利用法を知っていただき、気軽に図書館を利用していただけるよう、本の並べ方や利用者用検索機の使い方、館内見学を内容とした講座を実施しています。

展示会

中央図書館4・5階エスカレーターに沿ってあるショーケースや壁面に、個人やグループの作品(絵画・写真・工芸品)を展示しています。展示期間は、原則2週間です。年に1度、12月から1月に市広報やチラシなどで翌年度分の募集を行います。

2010年度 実施行事等一覧

行事名	回数(回)	参加者数(人)
講演会	6	663
映画会	48	4,957
図書館入門講座	6	60
展示会	24	-



周年行事

2010年は「国民読書年」であるとともに、中央図書館開館20周年、移動図書館運行40周年、金森図書館移転10周年にあたっていました。そこで、それぞれを記念した行事を行いました。中央図書館では、市民の実行委員会が「フェスタ ぶらり ライブラリー in まちだ」を企画・運営し、講演会・おはなし会・展示会等多数の行事を行いました。移動図書館については、パネル展示やぬりえの募集・掲示、「そよかぜ号」体験学習等のイベントを通じて、移動図書館のPRを行いました。また、金森図書館では、紙芝居師による紙芝居公演や10周年年表の展示等のイベントを行いました。

(12)町田市立図書館協議会

図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の主催する事業及び図書館奉仕について、審議等を行っています。

(13) 町田市子ども読書活動推進計画

町田市では子どもと読書に関する施策の基本として、2004 年 12 月に町田市子ども読書活動推進計画を策定し 2005 年 4 月から 2010 年 3 月まで取り組みを行いました。それらの成果と課題を検証した上で、2010 年 3 月に「第二次町田市子ども読書活動推進計画」を策定し、2010 年 4 月から取り組みを行っています。



町田市立図書館キャラクター「よむぽん」

4. 町田市民文学館

町田市民文学館ことばらんどは、1997年、故遠藤周作氏の蔵書・遺品の寄贈をきっかけにおこった「町田市に文学館を」の声に応え、2006年10月に開館しました。この間、小説家八木義徳氏や桜田常久氏、作詞家宮川哲夫氏の資料など、町田ゆかりの文学者の資料が次々と寄贈されました。これら後世に伝えるべき町田の文化遺産を収集し、保存・公開を行うことが当館の大きな目的であり、市民が文学を通し出会い、交流し、その成果を発表しあえる「市民の文学活動」の拠点となることを目指しています。

中心市街地に隣接する、かつては公民館として親しまれていた立地や、図書館との密接な連携も 当館の特徴です。町田の文学資源を繋ぐネットワークの要として機能するとともに、展覧会や講演 会を通じて文学の新たな魅力を伝え、「ことば」のもつ力との出会いをお手伝いします。

(1)施設概要

所在 町田市原町田 4 16 17

電話 739・3420

構造 鉄筋コンクリート、地下2階、地上3階建て

延床面積 2,156.27 m²

(2)施設内容

1階 文学サロン、資料閲覧室、市民研究員室、印刷室

2階 展示室、大会議室

3階 会議室(6室)保育室



町田市民文学館

(3)利用案内

開館時間 会議室・文学サロン 午前9時~午後10時 展示室・資料閲覧室 午前10時~午後5時 (展示室入室は午後4時30分まで)

体館日 月曜日(祝休日・振替休日のときは開館) 毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、 12月29日~翌年1月4日、特別整理日

(4)各種機能

図書館機能

町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、雑誌、文学全集、児童書、辞・事典類、全国

の文学館の情報ファイルなどを文学サロン、資料閲覧室で閲覧することができます。

さらに、町田市立図書館の利用券を使って資料の貸出し、リクエスト制度を利用することができます。その他、文学資料に関する相談(レファレンスサービス)にも積極的にお応えしています。

統計については、第3章「図書館」参照

資料の収集・保存・展示機能

収集・保存

町田ゆかりの文学者の資料を中心に、文学資料の収集・保存をしています。

調査研究

町田ゆかりの文学者の資料の調査研究及び情報の提供を行っています。市民の研究活動を学芸員が支援する「市民研究員制度」では、新たな3つのテーマで活動を行っています。

展覧会

町田ゆかりの文学者を取り上げる展覧会を中心に、夏休み期間中の子どもたちも楽しめる展 覧会を含め、年4回の展覧会を行っています。

2010年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数(日間)	入館者数(人)
紙芝居がやってきた!展	61	4,270
ひらけ!ときめく絵本たち - わたなべゆういち展	61	7,289
生誕 100 年 随筆家・白洲正子	39	4,076
- あざやかなる生の軌跡展	39	4,070
没後 30 年 芥川賞作家・桜田常久展	55	2 501
- 町田の戦中・戦後を生きて -	55	3,591



紙芝居展



わたなべゆういち展



白洲正子展



桜田常久展

学習機能

「町田の文学」の魅力を発見し、「文学のおもしろさ」や「ことばの力」に触れることができる講座、講演会、おはなし会などを開催しています。

講座等

乳幼児と保護者を対象に「ちちんぷいぷい」、小学生を対象に「ことばであそぼう!」、「おとなのためのおはなし会」など"ことばを楽しむ"定期的な活動を行っています。連句講座や文学講座、児童文学講座など、市民の生活を豊かにし、生きる力の糧となる講座を開催しています。また講座終了後のサークル作りの援助も行っています。

講演会

展示に関連したテーマでの講演会、ことばやさまざまな文学に関連したテーマでの講演会を開催し、"文学はおもしろい"のメッセージを発信します。

2010年度実施 展示関連事業・学習事業一覧(一般対象)

※展=展覧会関連事業、学=学習事業

講演会	回数(回)	参加者数(人)
展「時代をつなぐ紙芝居~紙芝居文化史」	1	103
展「絵本から広がる世界」	1	62
展対談「随筆家・白洲正子の素顔」	1	103
展「北斎入門・桜田常久『画狂人北斎』にちなんで」	1	62
展「町田に生きた桜田常久をめぐる人々」	1	71
学「一太郎・ATOK開発物語」	1	35
学「詩歌に探る日本の秋」	1	87
計	7	523

講座	回数(回)	参加者数(人)
展 ワークショップ「演じてみよう紙芝居」	1	30
展 文学散歩 「正子が歩いた三輪」「正子が歩いた東京の坂道」	2	37
展「自筆原稿で読む白洲正子」	1	18
展「万葉の歌人たち・桜田常久展に寄せて」	2	106
学 近代文学講座 「熟年の目で読む日本の名作 - 昭和後期(戦後)編」	8	148
学 文学講座 「現代の詩を読んでいく」「鬼貫の内なる芭蕉」「近 代短歌の水脈」「英米児童文学への招待」	11	402
学 連句講座(入門編)	5	82
計	30	823

イベント	回数(回)	参加者数(人)
展白洲正子展内覧会	1	34
展 白洲正子展 朗読会 「朗読で味わう白洲正子の世界」「ことばで奏でる隠れ里」	2	127
展桜田常久展内覧会	1	51
展 桜田常久展 朗読会「平賀源内」「町田で暮らした日々」	2	75
展展新能	29	405
学 大人のためのおはなし会	11	813
学 紙芝居・大人の時間	9	415
学 百人一首かるた大会	1	14
学 文学館まつり	1	363
学 ちちちんぶいぶい支援隊会議	10	249
計	67	2,546

2010 年度実施 展示関連事業・学習事業一覧(子ども対象)

※展=展覧会関連事業、学=学習事業

講座	回数(回)	参加者数(人)
展 ワークショップ「しかけ絵本づくりにチャレンジ!」	3	106
展 ワークショップ「つくってみよう!自分だけのねこざかなかるた」	1	35
学 ちちんぷいぷい (0~1歳児親子)	30	908
学 子ども俳句教室 春・秋(小学生)	6	75
学 紙芝居ワークショップ (中高校生)	1	5
学 消しゴムはんこを作って夏のたよりを出そう(小学生)	1	10
学 クリスマスおたのしみ会 (5歳~小学生)	1	87
学 こども年賀状教室(小中学生対象)	2	31
学 ねこざかなかるた大会(小学生)	1	7
学 百人一首かるた会(小学生)	1	20
学 ダイナミック書初め(小学生)	1	20
学 2歳児あつまれ! 夏・秋・冬	3	121
計	51	1,425



イベント	回数(回)	参加者数(人)
展 紙芝居上演会「紙芝居がはじまるよ」	2	122
展 紙芝居上演会「毎週土曜は紙芝居!」	9	271
展「おはなしとハープの音色でたどるわたなべゆういちの世界」	1	253
展 ことばらんど劇場「みる・きく・たのしむ!絵本のみりょく」	2	159
展 わたなべゆういち展 おはなし会	7	136
学 かみしばいの時間です (乳幼児親子)	1	98
計	22	1,039

2010 年度実施 市民研究員制度

市民研究会	回数(回)	参加者数(人)
「白洲正子を読む会」	12	9
「町田文学散歩マップ 玉川学園編をつくろう」	10	8
「みんなでつくろう!まほろMAP」	6	23
計	28	40

施設貸出機能

町田市施設案内予約システムに登録できる団体でその活動内容が文学に関する研究・創作・読書会・朗読会等である場合、文学館を「ホームグラウンド」として登録することができます。

2010年度利用実績

会議室使用回数 会議室利用人数		保育室利用回数	保育室利用人数		
3,492 回	36,967人	119 回	1,859人		



5. 歴史・文化財

町田市には古代の遺跡をはじめ、先人の遺した多くの文化遺産があります。しかし、近年の宅地開発や土地区画整理により、遺跡や古い建造物などの歴史資料が失われ、また、生活様式の変化により、古くからの生活用具や伝承などの民俗資料も失われつつあります。これらの文化財は、先人の生活ぶりを正しく知るための手掛かりとなるものです。町田市では 1960 年、町田市文化財保護条例を制定し、失われつつある文化財の保護に努めるとともに、郷土の歴史・文化を未来へ継承するため、資料の収集、保存、展示、調査研究等を行っています。

(1)自由民権資料館

明治10年代、全国各地で自由と権利を求めた運動が盛りあがり、薩長を中心とした明治藩閥政治に対して国会開設・憲法制定・地租軽減・自治などを要求し、その実現を目指した自由民権運動が展開されました。三多摩を含む神奈川県でも活発な動きがあり、なかでも町田市域は石阪昌孝や村野常右衛門、青木正太郎、細野喜代四郎ら有力な指導者を輩出しました。結社と呼ばれる組織がつくられ、政治学習運動が推し進められました。この運動のなかで、野津田村の村野常右衛門が私財を割き、1883年(明治16)2月に建てたのが「凌霜館(りょうそうかん)」という文武道場でした。

1984年11月にこの凌霜館跡地が子孫の方から市に寄付されたのを受け、市ではこのゆかりの地に自由民権運動を中心とした資料館を建てるとともに、隣接土地を所有する方の協力を得て、丘陵に続く貴重な緑を守っていくことになりました。1986年11月3日に開館し、1996年11月には増改築し、リニューアルオープンしました。常設展示「武相の民権/町田の民権」を行うとともに、意欲的に企画展示にも取り組んでいます。

施設概要

所在地 町田市野津田町897

電話 734・4508

構造 鉄筋コンクリート造、地下1階

地上2階建て

延床面積 911.15㎡

施設内容

展示施設 167.30㎡ 収蔵施設 180.00㎡

閲覧室等 116.65m²



自由民権資料館

利用案内

利用時間 午前9時~午後4時30分

休館日 月曜日(祝休日、振替休日にあたるときは、その翌日)、

12月28日~翌年1月4日、特別休館日(館内燻蒸日など)

資料の収集等

町田を中心としながら三多摩や神奈川県など明治10年代当時の活動範囲まで幅を拡げて 自由民権運動関係資料の収集に努めています。運動にかかわる直接の資料をはじめ、書簡、書籍、写真類、当時の新聞・雑誌、あるいは民権家の使ったゆかりの物などを収集、整理、保存、管理し、常設展やテーマを決めた企画展などを行います。

また、民権運動を対象とした論文や関連の文献なども、全国的な視点で幅広く集めています。そして、これらの資料や文献を充実させ、各地域の様々な情報を提供できる「文献センター」的な役割を果たすことを目指しています。さらに、資料館の前身の市史編さん室が収集した町田の歴史にかかわる資料、周辺地域の各自治体史や歴史書、市民活動の中から生み出された会誌・会報や記録類、ミニコミ・ローカル紙、自費出版物などの市民資料も同時に収集し、閲覧できる体制を整えています。



自由民権資料館閲覧室

2010年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数(日)	入館者数(人)
常設展示「武相の民権/町田の民権」	288	4,894
企画展示「絵図で見る町田 Part1」	38	1,039
企画展示「明治の学び舎」	44	1,083
特別展示「北条氏照朱印状」	28	505

(2)考古資料室

当資料室は、市内の遺跡から発掘された遺物や調査の記録類の保管を主な目的として、1991 年 3 月に竣工しました。

施設概要

所在 町田市下小山田町4016

電話 797・9661

構造 鉄筋コンクリート造、2階建て

延床面積 482.18 m

施設内容

収蔵庫 219.8㎡

実習室 76.5m²

撮影室 13.34㎡

展示室 35.0㎡



考古資料室

利用案内

開館日

7・8月 土・日曜日・祝休日

7・8月以外 第2・4土・日曜日、祝休日(12月28日~翌年1月4日は休館) 利用時間 午前10時~午後4時

(3) 文化財の保護

文化財とは、人間と自然が遺した文化的な遺産であり、歴史上、学術上、芸術上など、様々な観点から優れた価値をもつ「有形の財」「無形の技・芸」です。

文化財保護審議会

文化財保護審議会は、文化財の選定や文化財保護に関する教育委員会の諮問に応じて、調査、 審議及び建議するもので、文化財保護条例により設置されています。文化財に関し広くかつ高い 識見のある方10名以内で構成されることになっています。

埋蔵文化財の調査等

町田市域は遺跡の宝庫です。これまでに約1,000箇所の遺跡が確認されています。これらの遺跡は、開発によって常に破壊の危機にさらされています。開発に際しては、包蔵地についてはできる限り保存するように指導を行っていますが、これが不可能な場合は事前に調査、記録保存を行っています。

指定文化財

町田市内には、多くの重要な文化財が残っています。それらのいくつかは、次ページ表のとおり、国や都そして市の指定文化財になっています。



区分	名 称	所 在 地	指定年月日
国・重要文化財	旧永井家住宅	野津田町3270 薬師池公園内	
	妙福寺祖師堂	三輪町811	\$36. 1.31
	無極和尚坐像	*****	\$36. 1.31
	観世音菩薩立像		\$36. 1.31
都・有形文化財 都・有形文化財	旧荻野家住宅	野津田町3270 薬師池公園内	
	異形台付土器(2点)		\$50. 2. 6
	旧多摩郡小野路村名主小島家文書		H 5. 3.22
	小野路組合農兵隊関係資料		H12. 3. 6
	十六羅漢図		\$39.11.25
	長福寺山門・文珠堂・本堂格天井花丸絵画		\$48. 3. 8
	清水寺観音堂・鐘楼・水屋		\$48. 3. 8
	青木家住宅	相原町810	\$52. 2.23
	神蔵家住宅	金井8-26-2	\$52. 2.24
			\$59. 2.24
	天神社本殿		\$59. 2.24
	阿弥陀三尊像	7,111=	\$60. 4.17
	阿弥陀三尊像		\$60. 4.17
	阿弥陀如来坐像・地蔵菩薩立像	<u> </u>	S60. 4.17
市・有形文化財	釈迦如来坐像		\$60. 4.17
13/1/2013/13	菩薩立像脇侍像	=	\$62.11.13
	誕生釈迦仏立像		\$62.11.13
	聖徳太子立像		\$62.11.13
	薬師如来坐像		\$62.12.11
	箭幹八幡宮随身門		H 2. 2.14
	熊野神社本殿		H 2. 2.14
	村野常右衛門生家	小野路町1256-1他 野津田公園内	
	能ケ谷出土銭遺跡出土品一式		H 9. 3.25
	北条氏照朱印状 永禄5(1562)年7月5日	個人所蔵	H22.12.22
	北条氏照朱印状 永禄8(1565)年3月20日	個人所蔵	H22.12.22
	金井獅子舞	金井町八幡神社	\$38.10.22
市・無形民俗	丸山獅子舞	相原町諏訪神社	\$38.10.22
文化財	矢部八幡宮獅子舞	矢部町箭幹八幡宮	\$38.10.22
	大戸囃子	相原町大戸八雲神社	\$38.10.22
	三ツ目囃子	小山町三ツ目日枝神社	\$38.10.22
国・史跡	高ヶ坂石器時代遺跡(牢場・稲荷山・八幡平)	高ヶ坂1418-3他	T15. 2.24
	田端環状積石遺構	小山町3112-2,3113-2	\$46. 3.29
	青木家屋敷	相原町810他	S55. 2.21
都・史跡	小山田 1 号遺跡	小山田桜台2-16-32	S60. 3.18
即文则	本町田遺跡	本町田3455-36他	H 4. 3.30
	西谷戸横穴墓群	三輪緑山1-25-8	H 4. 3.30
	下三輪玉田谷戸横穴墓群	三輪町897	H20. 3.26
	(通称)代官屋敷	金井8-26-2	\$39.11.25
	木曽一里塚	木曽西4-14	S44. 9. 2
市・史跡	白坂横穴墓群	三輪町1720-7他	\$50.10.27
	(通称)鎌倉井戸	山崎町1050-1	S54. 9. 7
	白洲次郎・正子旧宅	能ヶ谷7-3-2他	H14.11.14
都・旧跡	相原かま跡	相原町陽田谷戸	T15. 4
HF 1H 147)	井出の沢古戦場	本町田菅原神社付近一帯	T15. 4
都・名勝	福王寺旧園地(薬師池公園)	野津田町3270	H10. 3.13
	アカガシ群落		S39.11.25
市・天然記念物	シダレザクラ	小山町2057-1 小山市民センター内	
	シイ	小野路町5451 田極氏方	\$39.11.25

指定文化財の紹介



【国指定重要文化財 旧永井家住宅】 野津田町 3270 (薬師池公園内)



【国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡】 高ヶ坂 1418-3 他



【東京都指定有形文化財 旧萩野家住宅】 野津田町 3270 (薬師池公園内)



【東京都指定史跡 田端環状積石遺構】 小山町 3112-2、3113-2



【東京都指定史跡 本町田遺跡】 本町田 3455-36 他

指定文化財の紹介



【東京都指定旧跡 井出の沢古戦場】 本町田菅原神社付近一帯



【町田市指定有形文化財 村野常右衛門生家】 小野路町 1256-1 他 野津田公園内



【町田市指定史跡 木曽一里塚】 木曽西 4-14



【町田市指定有形文化財 能ヶ谷出土銭(約1万枚の古銭)】 下小山田町4016(考古資料室)





1. 町田市教育委員

/		数 	工 夕 Th 75	/T #D		委員長(互選)
年		教育委員			教育長	氏名及び任期
1960	58.2.1 小菅 朴二 58.3.28 58.3.29 久保田 佐一59.3.28 59.3.29	58.2.1	58.2.1 <u>若林 順成 58.3.28</u> 58.3.29	58.2.1	58.2.1	58.2.1
		平本 精則	若林 健 64.3.28	渡辺 一雄	井上 桂一	平本 精則
1965	田中 邦茂		64.3.29	66.3.28 66.3.29	65.3.28 65.3.29 関田 歳明	
1970		70.3.28 70.10.19	鈴木 英正	花形 英一 70.3.28 70.10.19	69.3.28 69.6.25	70.3.28
	71.3.28		72.3.28 72.4.1		杉山 一人 73.3.28 73.3.29	田中 邦茂 71.3.28 71.7.12 木目田 至 72.7.11 72.7.12
1975	田中 邦茂	木目田 至	宮丸 郁子 76.3.31 76.4.1	前田 忠行	渋谷 茂	田中 邦茂
1980	80.3.31 80.4.1		坂本 孝子	81.3.31	81.3.28	木目田 至
1985	井上 聰	82.10.18 82.10.27	84.3.31 84.4.1	81.7.15 <u>齋藤</u> <u>謹也</u> 82.10.18 82.10.27	81.10.1 南保 正道	82.10.18 82.10.28 井上 聰 85.3.31 85.4.1
	88.3.31 88.4.1	井上 直之	五日市 恭子		86.4.1	齋藤 謹也 87.10.26
1990	川尻 泰子	90.10.26	92.3.31	齋藤 謹也	89.4.3 89.4.4 斎藤 秀夫	井上 直之 90.10.26 90.10.27
1995			92.4.1		93.3.31 93.4.1	井上 恭一 94.10.26 94.11.10 川尻 泰子 95.11.9
	96.3.31 96.4.1	井上 恭一	西村 絢子	98.10.26 98.10.27	98 3 31	95.11.13 井上 恭一 98.10.26 98.11.6
2000	00.3.31	02.10.26	00.3.31 00.7.1 古舘 和江02.3.31 02.4.1	江森 陽弘		西村 絢子 99.11.5 99.11.6 井上 恭一 01.11.5 01.11.6
2005	富川 快雄	02.10.28	名取 紀美江	02.10.28	山田 雄三	
2010		井関 孝善	08.6.30 08.7.1 髙橋 圭子	岡田 英子	10.3.31	富川快雄
	12.3.31	14.10.27	12.6.30	14.10.27	10.4.1 渋谷 友克 14.3.31	11.11.5

2. 各種委員一覧

町田市社会教育委員(任期 2010.5.1~2012.4.30)

氏 名	区分	氏 名	区分
小 澤 英 雄	学校教育関係者	森 口 克 弘	学 識 経 験 者
天 利 公 一	<i>II</i>	木 村 真理子	"
野澤滋享1	社会教育関係者	小川久江	"
槻 木 珠 美	<i>''</i>	脇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	"
川田三郎	<i>II</i>	山 城 譲 治 2	"
瓜 生 ふみ子	<i>II</i>	薗 田 碩 哉	"

^{1:}任期2011.6.6~2012.4.30

町田市文化財保護審議会委員(任期2011.6.1~2013.5.31)

氏 名	区分	氏 名	区分
阿 部 朝 衛	考 古 学	大 野 敏	建築史
池上裕子	日本中世史・近世史	小島政孝	郷 土 史
井 上 恭 一	郷 土 史	鶴巻孝雄	日本近代史
内 野 秀 重	自 然 誌	八木橋伸浩	民 俗 学

まちだ市民大学 H A T S 運営協議会委員 (任期2011.4.1~2013.3.31)

氏 名	区 分	氏 名	区分
森 口 克	弘 社会教育関係者	石 川 清	学識経験者
川島	演 "	三 和 献 一	"
岡田	栄 "	瀬 沼 克 彰	"
髙島みり	ゆき "	辰 巳 厚 子	"

町田市立図書館協議会委員(任期2011.8.1~2013.7.31)

氏 名	区分	氏 名	区分
富 田 直 人	学校教育関係者	玉 目 哲 廉	社会教育関係者
石 井 清 文	<i>"</i>	竹 内 美 季	<i>II</i>
水 越 規容子	社会教育関係者	山 口 洋	"
市川美奈	<i>''</i>	沢 里 冬 子	学識経験者
久 保 礼 子	<i>II</i>	松尾昇治	<i>II</i>

^{2:}任期2010.6.1~2012.4.30

町田市民文学館協議会委員(任期 2011.4.1~2013.3.31)

氏 名	区分	氏 名	区分
西久保律子	学校教育関係者	多 田 茂 治	学識経験者
相澤史郎	学識経験者	岩崎俊男	市民
勝又浩	"	小田中 柑子	市民
嶋 岡 晨	"	渡辺富子	市民
鈴 木 正	"		

町田市公民館運営審議会委員(任期2010.5.1~2012.4.30)

氏 名	区分	氏 名	区分
菅 谷 万里子 1	学校教育関係者	野 口 久美子	社会教育関係者
大 橋 健 治	社会教育関係者	八戸志緒	"
川島演	"	宮崎美喜	<i>"</i>
斉 藤 幸 子	"	渡辺弘子	"
高 下 裕 子	"	川田三郎	学識経験者
武 田 祐 子	"	上別府 隆 男	"
富川尚子	"	中 村 香	"
富澤知子	"		

^{1:}任期 2011.4.1~2012.4.30

3. 小学校一覧

(2011年5月1日現在)

	学校名	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校記念日	校長名	学級数	児童数	特別支援学級の児童数
			-5 HI				'		知 13
1	町田第一	中町 1 - 20 - 30	722 · 3105	明 6.5	6月11日	田澤 清英	19(2•2)	635	情 10
2	町田第二	原町田 4 - 26 - 40	722 · 3316	昭 27. 4. 1	6月25日	菅谷万里子	12(2)	397	知 11
3	町田第三	本町田 1212	722 · 3329	<i>"</i> 27. 4. 1	6月10日	小出 紀子	15	490	
4	町田第四	森野 2 - 21 - 28	722 · 3727	<i>"</i> 30. 4. 1	6月15日	大原 龍一	18	602	(情)56
5	町田第五	玉川学園 4 - 14 - 7	725 • 8178	<i>"</i> 38. 4. 1	6月1日	宮島 徹	18(1)	557	知 5
6	町田第六	南大谷 1260	722 · 3659	<i>"</i> 40. 4. 1	6月1日	金武 素子	12(2)	336	肢 9
7	南大谷	南大谷 811 - 1	725 · 2551	<i>"</i> 49. 4. 1	6月10日	西岡 郁雄	17(3)	563	知 21
8	藤の台	金井町 3040 - 15	726 · 1005	<i>"</i> 48. 4. 1	6月1日	上原 敬子	18(2)	610	知 13
9	本町田東	本町田 3350	722 • 8193	<i>"</i> 45. 4. 1	6月22日	宮崎倉太郎	13	417	(弱) 7 (難)10 (言)23
10	本 町 田	本町田 2032	721 • 5561	平 14. 4. 1	6月24日	小原 良雄	18(4)	585	知 25
11	南第一	鶴間 187	795 · 2274	明 6. 6.10	6月10日	黒沢志津夫	17	565	
12	南第二	成瀬 4797	727 · 0805	<i>"</i> 6. 6. 1	6月1日	中村 雄一	13(2)	412	知 11
13	南第三	金森 443	722 · 2663	昭 33. 4. 1	6月2日	池田 雅志	16	523	
14	南第四	金森 1091 - 1	796 • 1326	<i>"</i> 43. 4. 1	5月21日	宇田陽一	17(2•2)	575	知 11 情 13
15	つくし野	つくし野 2-21-11	795 · 3295	<i>"</i> 47. 4. 1	5月27日	小澤 英雄	12	424	
16	小川	小川 3 - 10 - 1	795 · 0002	<i>"</i> 50. 4. 1	6月 9日	高野 和美	19	665	
17	成瀬台	成瀬台 2 - 5 - 2	723 · 3001	<i>"</i> 50. 4. 1	6月10日	岩田恵美子	19	672	(情)46
18	鶴間	鶴間 1083	796 · 1951	<i>"</i> 52. 4. 1	6月9日	小林 光市	17	506	
19	高ケ坂	高ケ坂 729	725 • 4295	<i>"</i> 53. 4. 1	6月1日	相田 修治	12	376	
20	成瀬中央	成瀬2-8	728 • 6020	<i>"</i> 54. 4. 1	6月10日	大泉 永	8	224	
21	南成瀬	南成瀬 3 - 6	726 · 1080	<i>"</i> 55. 4. 1	6月16日	島田 昇	18	584	(情)34
22	南つくし野	南つくし野 2 - 4 - 8	796 · 1950	<i>"</i> 55. 4. 1	6月10日	原田 好美	24(3)	763	知 20
23	鶴川第一	野津田町 1290	735 · 1234	明 41. 4. 1	10月6日	村上 貞司	21	710	

	学校名	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校記念日	校長名	学級数	児童数	特別支援学 級の児童数
24	鶴川第二	能ヶ谷 7-24-1	735 • 5498	昭 39. 5. 1	5月1日	後藤 良秀	21(3)	704	知 17
25	鶴川第三	鶴川 6 - 5	735 · 2127	<i>"</i> 43. 1. 8	10月2日	高倉ひでみ	17	567	(情)45
26	鶴川第四	鶴川 3 - 22	735 · 2868	昭 46. 4. 1	6月20日	中村 勝巳	24(2)	847	知 12
27	金 井	金井町 2612 - 183	735 · 0010	<i>"</i> 53. 4. 1	6月1日	石井 清文	18(2)	563	知 13
28	大 蔵	大蔵町 286	734 · 2321	<i>"</i> 55. 4. 1	6月16日	麻生 豊	25	887	
29	三 輪	三輪町 330 - 1	044•988•5214	<i>"</i> 57. 4. 1	6月7日	齊藤 雄司	18	607	
30	忠 生	忠生 3 - 10 - 2	791 · 1021	大元. 9. 1	6月13日	高柳 寛和	20(3)	696	知 19
31	小山田	上小山田町 614	797 · 1824	昭 27.5.20	5月20日	富田 逸夫	17	509	
32	忠生第三	木曽東 3-11-3	791 · 0721	<i>"</i> 37. 4. 1	6月12日	古澤 厚人	15	491	(情)37
33	山 崎	忠生 2 - 15 - 26	793 · 2004	<i>"</i> 55. 4. 1	6月10日	最上 稔久	12(1)	342	肢 6
34	小山田南	小山田桜台 2 - 7	797 • 4541	<i>"</i> 59. 4. 1	5月30日	松本 啓吾	18(2)	567	知 16
35	木曽境川	木曽西 1-9-1	791 · 2086	平 13. 4. 1	11月1日	石井 文明	15(2)	468	知 16
36	七国山	山崎町 1314 - 2	791 · 2171	平 15. 4. 1	6月23日	山本 弘明	20(3)	700	知 19
37	図 師	図師町 239 - 19	789 • 6361	平 21. 4. 1	1月30日	西久保律子	15	446	(情)37
38	小 山	小山町 944	797 · 2733	明 6. 5. 1	5月1日	金子謙	24(2)	760	知 9
39	小山ヶ丘	小山ヶ丘 5 - 37	770 • 6251	平 17. 4 .1	11月12日	室屋 憲一	25(1)	845	知 8
40	小山中央	小山ヶ丘 3-7-1	798 • 0670	平 22. 4 .1	1月29日	内田 隆佳	19(1)	633	知 7
41	相原	相原町 1673	771 · 2341	明7. 7.20	6月20日	伊藤 孝司	18(2)	603	知 10
42	大 戸	相原町 3765 - 3	782 • 9091	昭 58. 4. 1	6月6日	吉岡 俊幸	6	128	

- 1. 学級数欄のカッコ内の数字は特別支援学級数で、外数です。
- 2. 特別支援学級欄の表示は次のとおりです。
 - 「知」 特別支援学級(知的障がい)「情」 特別支援学級(情緒障がい)「肢」 特別支援学級(肢体不自由)
 - 「難」 特別支援学級(難聴)「言」 特別支援学級(言語障がい)「弱」 特別支援学級(弱視)
 - ・カッコ書きは通級学級です。
 - ・数字は児童数です。
- 3. 忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。

4. 中学校一覧

(2011年5月1日現在)

							(= 0	「口坑江」	
	学校名	所 在 地	電話	開 校 年月日	開 校 記念日	校長名	学級数	生徒数	特別支援学 級の生徒数
1	町田第一	中町 1 - 27 - 5	722 • 2420	昭 22.4.1	5月26日	天利 公一	21(4 · 2)	763	知 25 肢 12
2	町田第二	南大谷 1327	722 • 1101	" 32.4.1	5月6日	富田 直人	15(1 • 5)	538	(難)6 (情)48
3	町田第三	本町田 1853	722 • 6095	<i>"</i> 43.4.1	5月27日	永関 和雄	12(2)	449	(情)12
4	南大谷	南大谷 985 - 1	723 • 5567	<i>"</i> 50.4.1	5月27日	千田 実	12(3)	394	知 18
5	南	金森 1200	796 • 2248	<i>"</i> 22.4.1	5月1日	有賀 章	19(1)	699	知 8
6	つくし野	南つくし野 2-14-2	795 • 0323	<i>"</i> 50.9.1	9月30日	山口 好司	22(5)	816	知 36
7	成 瀬 台	成瀬台 2 - 5 - 1	728 • 6030	<i>"</i> 54.4.1	5月26日	川尻 佳合	12(4)	426	知 26
8	南 成 瀬	南成瀬 7 - 7 - 1	729 • 3441	<i>"</i> 57.4.1	6月 1日	星越 健一	14	528	
9	鶴川	小野路町 1905 - 1	735 • 2405	<i>"</i> 22.4.1	5月1日	花田 英樹	13(4)	486	知 25
10	鶴川第二	鶴川 6 - 4	734 • 4343	# 48.4.1	6月 1日	佐藤 昇	21	780	
11	薬師	金井 1 - 20 - 1	725 • 5002	<i>"</i> 46.4.1	6月 1日	篠原やよい	9(3)	330	知 22
12	真 光 寺	真光寺 3 - 8 - 1	734 • 4605	<i>"</i> 55.4.1	5月1日	戸塚 吉彦	11	353	
13	金 井	金井 6 - 15 - 1	734 • 0259	<i>"</i> 59.4.1	6月 1日	武内 愛樹	13	443	
14	忠生	忠生 3 - 14 - 1	791 • 0821	<i>"</i> 22.4.1	5月1日	大川 武司	19(3)	666	知 21
15	山 崎	山崎町 1445	793 • 1021	" 54.4.1	6月 2日	並木 修	10(3)	302	知 17
16	木 曽	木曽町 2356	792 • 3081	" 58.4.1	6月 6日	岩田 敏行	7	254	
17	小山田	小山田桜台 1 - 12	797 • 4545	" 59.4.1	6月25日	布施 洋輔	17	612	
18	堺	相原町 752	771 • 2348	<i>"</i> 22.4.1	5月1日	比良田健一	22(2)	815	知 11
19	武蔵岡	相原町 3865	782 • 9155	<i>"</i> 58.4.1	6月 6日	守屋 裕一	3	78	

- 1. 学級数欄のカッコ内の数字は特別支援学級数で、外数です。
- 2. 特別支援学級欄の表示は次のとおりです。

「情」 特別支援学級(情緒障がい)

「肢」 特別支援学級(肢体不自由)

「難」 特別支援学級(難聴)

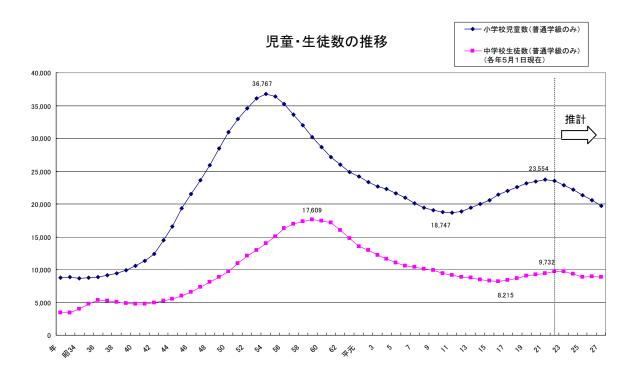
- ・カッコ書きは通級学級です。
- ・数字は生徒数です。

5. 児童・生徒・学級数の推移

(各年5月1日現在)

	小 学 校		中 学 校			合 計			
年度	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
平元	44	721(29)	24,855(116)	20	370 (14)	14,763(87)	64	1,091 (43)	39,618 (203)
2	44	719(30)	24,162(113)	20	355 (13)	13,520(67)	64	1,074 (43)	37,682 (180)
3	44	711(30)	23,376(120)	20	350 (13)	12,912(63)	64	1,061 (43)	36,288 (183)
4	44	698(30)	22,699(123)	20	333 (14)	12,221(61)	64	1,031 (44)	34,920 (184)
5	44	681(31)	22,171(130)	20	313 (12)	11,512(62)	64	994 (43)	33,683 (192)
6	44	672(35)	21,605(123)	20	303 (12)	11,047(62)	64	975 (47)	32,652 (185)
7	44	655(36)	20,968(119)	20	291 (16)	10,554(66)	64	946 (52)	31,522 (185)
8	44	638(36)	20,104(139)	20	291 (16)	10,420(68)	64	929 (52)	30,524 (207)
9	44	613(38)	19,444(145)	20	281 (15)	10,110(64)	64	894 (53)	29,554 (209)
10	44	613(36)	19,062(152)	20	275 (15)	9,892 (67)	64	888 (51)	28,954 (219)
11	44	604(37)	18,747(146)	20	262 (17)	9,471 (77)	64	866 (54)	28,218 (223)
12	44	600(38)	18,675(160)	20	257 (21)	9,182 (86)	64	857 (59)	27,857 (246)
13	43	603(39)	18,831(160)	20	252 (20)	8,893 (93)	63	855 (59)	27,724 (253)
14	41	616(31)	19,411(167)	20	247 (15)	8,725 (85)	61	863 (46)	28,136 (252)
15	39	628(36)	20,013(199)	20	241 (15)	8,453 (81)	59	869 (51)	28,466 (280)
16	39	639(37)	20,582(222)	20	240 (16)	8,287 (98)	59	879 (53)	28,869 (320)
17	40	656(41)	21,418(246)	20	236 (17)	8,215(104)	60	892 (58)	29,633 (350)
18	40	669(44)	21,973(268)	20	242 (22)	8,393(125)	60	911 (66)	30,366 (393)
19	40	686(51)	22,572(299)	20	244 (20)	8,660(120)	60	930 (71)	31,232 (419)
20	40	696(48)	23,111(302)	20	255 (23)	9,091(148)	60	951 (71)	32,202 (450)
21	41	710(48)	23,398(312)	20	259 (27)	9,235(179)	61	969 (75)	32,633 (491)
22	42	715(51)	23,687(320)	20	265 (30)	9,444(209)	62	980 (81)	33,131 (529)
23	42	720(51)	23,554(314)	19	272 (34)	9,732(221)	61	992 (85)	33,286 (535)

学級数、児童数、生徒数欄のカッコ内の数は特別支援学級で、外数です。



6. 学校施設一覧

学 校 名	体育	館	プ	- ル	校地面積	校(舎 面 和	∄ m ^²	教室	室数
学校名	年 月	面積	年 月	面積	m²	鉄 筋	鉄骨外	合 計	普通	特別
町田第一小学校	平14.9	1,259m²	平14.9	25m × 10m	12,570	4,979	37	5,016	23	12
町田第二小学校	昭48.3	668 m²	昭44.7	25m × 10m	9,923	4,330	74	4,404	14	13
町田第三小学校	<i>"</i> 49.11	684m²	<i>"</i> 46. 7	25m × 10m	13,892	4,823	419	5,242	17	13
町田第四小学校	# 49. 6	691 m²	<i>"</i> 44. 7	25m × 10m	15,677	5,490	85	5,575	19	19
町田第五小学校	<i>"</i> 48. 3	681 m²	<i>"</i> 44. 7	25m × 09m	12,426	5,314	46	5,360	20	18
町田第六小学校	<i>"</i> 47. 3	701 m²	<i>"</i> 44. 7	25m × 10m	15,702	5,559	105	5,664	15	14
南大谷小学校	# 51. 9	706m²	# 49. 7	25m × 10m	14,099	5,258	119	5,377	21	10
藤の台小学校	# 49.11	726m²	<i>"</i> 48. 7	25m × 10m	13,322	5,835	92	5,927	21	16
本町田東小学校	# 49. 5	736m²	<i>"</i> 46. 7	25m × 10m	16,771	5,706	17	5,723	15	19
1本町田小学校	("53. 6)	659m²	(" 52. 6)	25m × 10m	17,509	5,746	172	5,918	20	16
南第一小学校	# 46. 2	675 m²	<i>"</i> 57. 3	25m × 10m	13,650	5,910	68	5,978	17	14
南第二小学校	<i>"</i> 53. 7	743m²	<i>"</i> 54. 3	25m × 10m	16,500	5,970	62	6,032	15	14
南第三小学校	# 49. 9	723m²	" 52. 6	25m × 10m	11,063	4,964	96	5,060	19	16
南第四小学校	# 48.10	678m²	<i>"</i> 44. 7	25m × 10m	15,825	5,323	331	5,654	20	16
つくし野小学校	<i>"</i> 48. 3	668 m²	<i>"</i> 46. 7	25m × 10m	15,197	4,156	106	4,262	12	13
小 川 小 学 校	<i>"</i> 52. 8	703m²	<i>"</i> 50. 7	25m × 10m	16,076	5,776	51	5,827	19	16
成瀬台小学校	" 52. 7	703m²	" 50. 6	25m × 10m	16,513	6,483	95	6,578	19	19
鶴間小学校	# 53. 7	710m²	" 52. 6	25m × 10m	19,910	5,115	186	5,301	17	9
高ケ坂小学校	" 54. 5	683m²	" 53. 6	25m × 10m	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	<i>"</i> 55. 3	682m²	<i>"</i> 54. 6	25m × 10m	16,509	4,720	169	4,889	8	12
南成瀬小学校	" 55. 5	780m²	<i>"</i> 55. 6	25m × 10m	16,228	6,139	13	6,152	18	18
南つくし野小学校	" 55. 3	694m²	" 55. 5	25m × 10m	14,653	6,448	13	6,461	27	9
鶴川第一小学校	<i>"</i> 47. 3	668 m²	<i>"</i> 44. 8	25m × 10m	19,362	4,577	121	4,698	21	8
鶴川第二小学校	# 48. 2	668 m²	<i>"</i> 41. 6	25m × 10m	21,571	5,442	1110	6,552	24	12
鶴川第三小学校	<i>"</i> 49.11	724m²	<i>"</i> 44. 8	25m × 10m	19,828	7,070	27	7,097	17	30
鶴川第四小学校	<i>"</i> 49.12	724m²	<i>"</i> 46. 7	25m × 10m	19,829	6,634	91	6,725	28	16
金井小学校	<i>"</i> 53. 5	708m²	<i>"</i> 53. 7	25m × 10m	16,072	5,361	71	5,432	20	10
大 蔵 小 学 校	<i>"</i> 55. 3	695 m²	<i>"</i> 55. 7	25m × 10m	19,223	5,458	1119	6,577	25	13
三輪 小学校	<i>"</i> 57. 7	725 m²	<i>"</i> 57. 7	25m × 10m	13,812	5,026	0	5,026	18	10
2忠 生 小 学 校	<i>"</i> 47. 3	668 m²	<i>"</i> 45. 9	25m × 10m	14,228	5,246	1391	6,637	26	13
小山田小学校	<i>"</i> 55.11	888m²	<i>"</i> 55.10	25m × 10m	18,617	4,157	782	4,939	17	8
忠生第三小学校	<i>"</i> 51. 6	689 m²	<i>"</i> 44. 7	25m × 10m	13,138	5,586	82	5,668	15	23

	学	体 育 館		館	כ	f	ール	校地面積	校(教室数						
	-	ťΧ	₽		年月	1	面積	年月	1	面積	m²	鉄 筋	鉄骨外	合 計	普通	特別
Щ	崎	小	学	校	昭55.	3	732m²	昭55.	6	25m × 10m	16,299	5,236	141	5,377	13	17
小	山田	南	小学	校	″ 59.	3	710m²	" 59.	5	25m × 10m	17,833	6,321	670	6,991	20	17
	¹ 木曽	境川	川小学	₽校	(" 53.	5)	681 m²	(# 52.	6)	25m × 10m	16,735	5,501	225	5,726	17	13
	1七国	国山	小学	校	(# 51.	3)	653m²	(# 51.	6)	25m × 10m	22,772	4,928	1345	6,273	23	12
図	師	小	学	校	平21.	3	1,161 m²	平21.	3	25m × 11.4m	20,542	7,043	0	7,043	17	19
小	Щ	小	学	校	″ 51.	9	714m²	<i>"</i> 53.	6	25m × 10m	20,716	6,433	120	6,553	26	11
小	山ヶ	丘	小学	校	平17.	3	1,045m²	平17.	3	25m × 10m	15,743	8,402	0	8,402	30	15
小	山中	央	小学	校	平22.	2	1,101 m²	平22.	2	25m × 11.2m	29,125	8,236	0	8,236	23	15
相	原	小	学	校	昭48.	3	668m²	昭61.	5	25m × 10m	13,246	6,145	33	6,178	21	15
大	戸	小	学	校	″ 58.	4	753m²	<i>"</i> 58.	5	25m × 10m	26,738	5,476	0	5,476	6	18

¹ は学校適正規模適正配置事業に伴う統合校で、()内は旧施設完成年月となります。

² 忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。

学校名	体 育 館		プ	- ル	校地面積	校(舎 面 積	責 m²	教室	室数
子权有	年 月	面積	年 月	面積	m²	鉄 筋	鉄骨外	合 計	普通	特別
町田第一中学校	平4.8	1,366m²	平4.8	25m × 11m	15,113	6,749	1,369	8,118	24	21
町田第二中学校	昭57.3	976m²	昭43.8	25m × 11m	17,684	6,562	208	6,770	15	26
町田第三中学校	<i>"</i> 47. 3	702m²	<i>"</i> 44.12	25m × 11m	14,196	5,470	78	5,548	12	22
南大谷中学校	<i>"</i> 51. 7	944m²	<i>"</i> 50. 6	25m × 11m	19,026	6,263	164	6,427	16	17
南 中 学 校	平11. 2	1,924m²	平11. 2	25m × 11m	24,928	7,099	94	7,193	21	22
つくし野中学校	昭51.6	983m²	昭51.7	25m × 11m	16,527	7,676	150	7,826	27	20
成瀬台中学校	<i>"</i> 54. 5	992m²	<i>"</i> 54. 6	25m × 11m	16,502	8,231	143	8,374	15	24
南成瀬中学校	<i>"</i> 57. 3	1,084m²	<i>"</i> 57. 3	25m × 11m	19,962	6,680	0	6,680	14	23
鶴 川 中 学 校	平14. 1	1,293m²	平14. 1	25m × 11m	19,656	10,821	0	10,821	16	25
鶴川第二中学校	昭48.10	772m²	昭48.8	25m × 11m	16,520	7,490	146	7,636	21	19
薬 師 中 学 校	<i>"</i> 47. 3	710m²	<i>"</i> 46. 7	25m × 11m	20,048	6,539	83	6,622	12	24
真 光 寺 中 学 校	<i>"</i> 55. 5	947m²	<i>"</i> 55. 6	25m × 11m	17,940	6,179	148	6,327	11	16
金井中学校	<i>"</i> 59. 5	1,048m²	<i>"</i> 59. 5	25m × 11m	20,323	5,385	32	5,417	13	13
忠 生 中 学 校	平5.8	2,206m²	平5.8	25m × 11m	22,021	7,966	86	8,052	22	21
山崎中学校	昭54.5	1,005m²	昭54.6	25m × 11m	22,042	6,813	160	6,973	15	21
木 曽 中 学 校	<i>"</i> 58. 3	1,031 m²	<i>"</i> 58. 5	25m × 11m	21,599	6,455	0	6,455	7	24
小山田中学校	<i>"</i> 59. 3	1,085m²	<i>"</i> 59. 3	25m × 11m	21,274	5,312	949	6,261	17	18
堺 中 学 校	平20.2	1,234m²	平20.2	25m × 11m	14,907	7,600	66	7,666	23	15
武蔵岡中学校	昭58.5	904m²	昭58.5	25m × 11m	29,574	3,981	0	3,981	3	16

7. 学校施設新増改築のあゆみ

建築面積とは保有面積のことです。数値は建築時のものです。

											廷栄	山 傾	とは得	ᡮ∄Щ	傾り	رد	C 9 。	数】阻	目り廷	栄吁	のもの	<i>D</i> C 9	•
	特別教室						4								2								
	普通教室						2								4								
5 期	建築面積						1,679㎡			給 (251)					999 m²		(300)	給(233)					
	年月						昭47.3			2 . 12					, 52. 12		, 51.3	, 60.2					
	特別教室		2	4	ю	2	0			4		4		2	2		က	0					
	普斯		4	7	Ω.	9	∞			0		4		80	7		80	15					
4 期	建築面積		911m²	1,857m²	1,198㎡	給(271) 1,139㎡	941 m²			678m²		給 (265) 2,626㎡		2,402m²	1,385m²		1,149m²	1,413m²					
	年月		图55.8	<i>"</i> 49.11	49.6	52.12	44.6			49.5		54.9		49.9	, 48.3		, 53.8	53.8					
	特別教室			-	4	8	0		0	0		0		-	-	က	4	4		-			
	普斯斯		訪問学級	10	=	12	2		4	1		∞		2	4	=	0	0		0			
3 期	建築面積		370m²	給(146) 1,782㎡	1,826m²	2,907m²	給(151) 451㎡		370 m²	1,368m²		909 m²		889 m²	給 (144) 960 m²	1,711m²	666m²	666 m²	給(223)	424m²			
	年月		昭47.9	" 45.10	, 48.1	51.8	, 42.9		51.6	, 48.7		45.8		,, 48.5	, 44.10	49.10	, 52.8	,, 52.7	, 62.2	#3.3			
	特別教室	က	— R	0	0	» «	0	ю	4	-		0		0	0	7	0	-	0	и			
	新華教室	0	6	9	2	က	က	2	7	o		9		က	1	6	7	7	9				
2 期	建築面積	1,032m²	給(144) 1,600㎡	571m²	給(200) 1,236㎡	604m²	659m²	1, 438m²	1,578㎡	1,311㎡		507 m²		給(204) 488㎡	1,260m²	給 (163) 1,511㎡	1,029㎡	1,846m²	1,554m²	給(181)			
	年月	平14.9	昭45.8	,, 43.7	47.9	, 45.6	" 41 . 12	. 51.9	# 49.11	, 46.3		44.2		" 47 . 8	, 42.10	<i>"</i> 47.3	, 51.6	51.5	" 53.7	,, 55.3			
	特別教室	4 N	ري ش	2	0	0	8	4	2	e e	-	4	9	0	5	<u></u>	ر س	ر س	2	2	5	6	8
	新華文	26	12	4	=	9	12	8	22	12	18	10	25	7	4	9	13	=	15	12	20	25	26
1期	建築面積	給(140) 3,947㎡	1,819m²	747 m²	1,244m²	630m²	1,819m²	給(293) 3,820㎡	給(347) 4,007㎡	2,349m²	給(344) 5,918㎡	1,820m²	給(307) 6,018㎡	1,185m²	766 m²	1,147 m²	3,025m²	2,771m²	3,814m²	3,799m²	給(333) 5,088㎡	給 (255) 6 ,127 m²	給 (254) 6,461㎡
	年月	昭 44.7	, 40.3	" 41.3	, 46.5	" 42.3	" 40·3	" 48 . 12	" 48.3	" 45.7	平15.3	昭41.3	, 53.7	, 46.3	" 42.2	" 46.3	, 50.3	, 50.3	, 52.3	, 53.5	, 54.5	, 55.5	2.33 "
	孙 核 仇	田第一小学校品	田第二小学校 "	田第三小学校 "	田第四小学校,	田第五小学校』	田第六小学校,	大谷 小学校"	0 6 小学校"	町田東小学校 "	町田小学校	第一小学校	第二小学校』	第三小学校』	第四小学校』	くし野小学校』	二一字译	瀬台小学校,	間小学校』	ケ坂 小学校』	瀬中央小学校』	成瀬小学校	つくし野小学校
		明田	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	町田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	E E	繼	₩ ₩	₩	榧	極	極	極	U	\(\langle \)	浜	刨	恒	成漢	量	+

忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。 建築面積とは保有面積のことです。数値は建築時のものです。

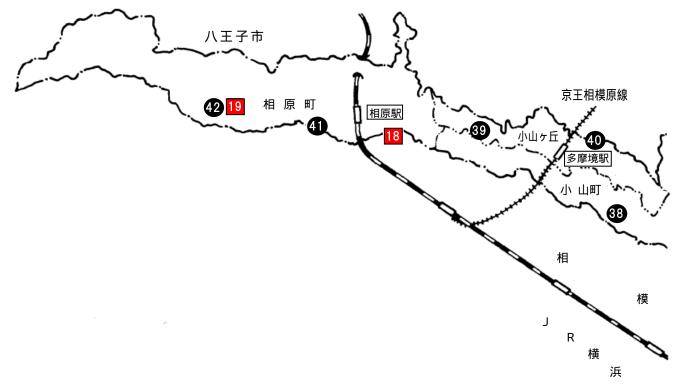
	特別教室		7																		
	部 数 室		4																		
5 期	建築面積	給 (241)	1,119 m²	給(321)					給(179)												
	年月	昭55.3	∓20.3	昭54.3					,, 57.3												
	特別 教室	2		9	0		2		4											က	
	普 教 室	9		8	∞		4		9											9	
4 期	建築面積	1,234 m²	給(212)	1,983 m²	1,178m²		891 m²		1,803 m²											給 (389) 2,439㎡	
	年月	昭50.7	, 60.3	" 49.11	, 50.6		平19.3		昭48.7											" 52.12	
	数 数 室 室	_	3	4	4		2		-	2			-							4	
	新 教 室	3	3	7	0		4		2	2			2							10	
3 期	建築面積	619m²	1,730 m²	1,858 m²	666 m²		443m²		781 m²	498 m²			406 m²							2,192 m²	
	年月	昭45.3	, 51.6	, 47.3	" 49.12		平19.3		昭45.6	平18.3			,, 62.3							, 51.6	
	特別 教室	0	2	0	က		-	1	2	0	7		2				2			0	0
	新 教 室 室	9	10	8	8		0	4	4	2	10		6				∞			9	2
2 期	建築面積	866 m²	1,875 m²	874m²	給(238) 1,665㎡		132m²	662 m²	1,245 m²	179 m²	給(250) 2,882㎡		1,688m²				1,303m²			488 m²	473m²
	年月	昭41.5	, 49.11	" 44.11	, 48.3		平17.11	" 4.2	昭43.7	昭63.3	昭 52.12		,, 60.3				, 57.3			" 46.3	平5.12
	排 数 验 室	3	1	2	က	2	2	9	0	2	0	9	2	7	6	19	9	15	17	0	9
	新 教 室	12	13	12	20	24	25	15	14	11	20	21	18	13	20	17	23	26	22	∞	18
1期	建築面積	1,603 m²	1,738 m²	2, 268 m²	3, 308 m²	給(293) 5,432 m²	給(252) 5,554 m²	給 (256) 4, 349㎡	1,406 m²	給(220) 4,157 m²	2,626 m²	給(257) 5,377 m²	給(244) 4,845㎡	給(428) 6,407 m²	給 (395) 6, 273 m²	給(394) 7,043 m²	給 (257) 5, 237 m²	編(505) 8,402 m²	給(485) 8,236 m²	900 m²	給(251) 4,967 m²
	年月	昭41.3	<i>"</i> 48.10	,, 42.9	# 46.3	, 53.3	,55.5	, 57.7	,, 42.1	,, 55.11	" 49.11	, 55.5	, 59.3	平14.3	" 16.3	平21.3	昭51.9	平17.3	平22.2	昭44.3	, 58.5
		学校	学校	· · · · ·	孙	核	校	校	校	校	校 	校	沙 校	茶	校	校	校	孙	茶	校	校
45		·[-	÷	÷	÷	孙	孙	· 注	₩	-	÷	· 小	÷	√ II	÷	孙	<u>₩</u>	÷	÷	₩ _	孙
ılı Z	₩	第一	第二	第二	第四	+	以	小	小	Ħ	第二	小一	田田	境川	∃	小业	√	ケ丘	<u>⊕</u>	原小	√ n
-ti	'	鶴 川	鶴 川	鶴 川	11 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	供井	大極	三離	思	TI (忠	当	III (÷	世	九Ⅲ	図	T	丁小	∃ ÷	相。原	K
		E在TT	EEEE	₩	E##	V14	_ 1\	111	nς	7	미건			17		īΣĬ		_ ¬¬		+	I,

	特別 教室		2
	普通 教室		9
(単)	建築面積	給(88) 167 m²	給 (93) 1,338 m²
	年月	∓15.3	, 16.3
		校	校
Q.	п	孙	₹
		÷	÷
\$	`	囙	紙
<u> [</u>]	ד	無	##
		櫮	⊷

建築面積とは保有面積のことです。数値は建築時のものです。

					-	C (14. 3	760.		0							
	特別 教室	学級																-	東及び 館棟	
	普通教室	訪問学級																-	校舎棟及び 体育館棟	
5 期	建築面積	514m²																345 m²	3,031 m²	
	年月	昭51.8																平7.2	平20.2	
	特別 教室	80		7		6					4	0						0	格枝室	
	普 教 室	0		9		4					7	12						2	格札	
4 期	建築面積	1,666㎡		1,021m²		2,605m²					2,269m²	1,492 m²						207 m²	292 m²	
	年月	昭48.10		" 49.5		, 52.9					, 57.3	, 55.3						, 63.3	, 50.2	
	特別教室	0	13	4	0	1	က	2			2	-			0			2	3	
	普通教室	6	-	0	7	13	က	0			80	7			10			0	4	
3 期	建築面積	1,320m²	3,052 m²	683 <i>m</i> ²	1,344 m²	2,116m²	1,010㎡	1,145m²			1,355m²	1,026m²			1,225m²			397 m²	2,308m²	
	年月	昭45.7	, 50 . 12	47 .3	, 51.9	, 47.3	1.19	, 61.5			7.05"	, 50.7			, 56.5			,, 62.3	昭55.5	
	特別教室	က	က	0	4	2	4	-			4	4			10	က		2	7	2
	普斯教室	6	14	9	0	9	10	9			0	0			12	0		ო	9	
2期	建築面積	1,440m²	2,041m²	749m²	784 m²	1,226㎡	2,164m²	1, 242m²			818m²	692 m²			4,439m²	870 m²		748m²	2,096m²	848m²
	年月	昭39.3	1.49.1	,,46.3	51.7	,, 46.3	,53.8	, 56.5			, 48.10	"47.3			,, 49.11	,, 62.3		. 60.3	48.8	平4.1
	特別教室	ر س	-	∞	7	0	∞	9	တ	18	en en	7	10	6	4	စ	10	∞	0	2
	普通 教室	10	თ	12	18	6	17	23	30	13	15	12	21	15	£	22	20	13	12	6
1期	建築面積	1,987 m²	1,445m²	2,981m²	4,289m²	762m²	4,643m²	5, 987m²	6,700m²	5,369㎡	3,123m²	3,378m²	6,327 m²	5,403m²	2, 146m²	6,103m²	6,487 m²	4,499m²	1,437 m²	3, 133m²
	年月	昭37.8	" 47.12	, 43.3	, 50.3	, 43.8	, 50.7	, 54.5	, 57.3	平13.1	昭48.3	, 46.3	, 55.5	, 59.5	" 48 . 7	, 54.5	, 58.5	, 59.3	" 47.11	, 58.5
4	ξ Д	町田第一中学校	町田第二中学校,	町田第三中学校	南大谷中学校	南中学校	つくし野中学校	成瀬台中学校	南成瀬中学校	鶴川中学校	鶴川第二中学校	瀬 師 中 学 校	真光寺中学校	金井中学校	市 年 学 校	二 高 中 学 校	大 雷 中 学 校	小山田中学校	堺 中 学 校,	武蔵岡中学校

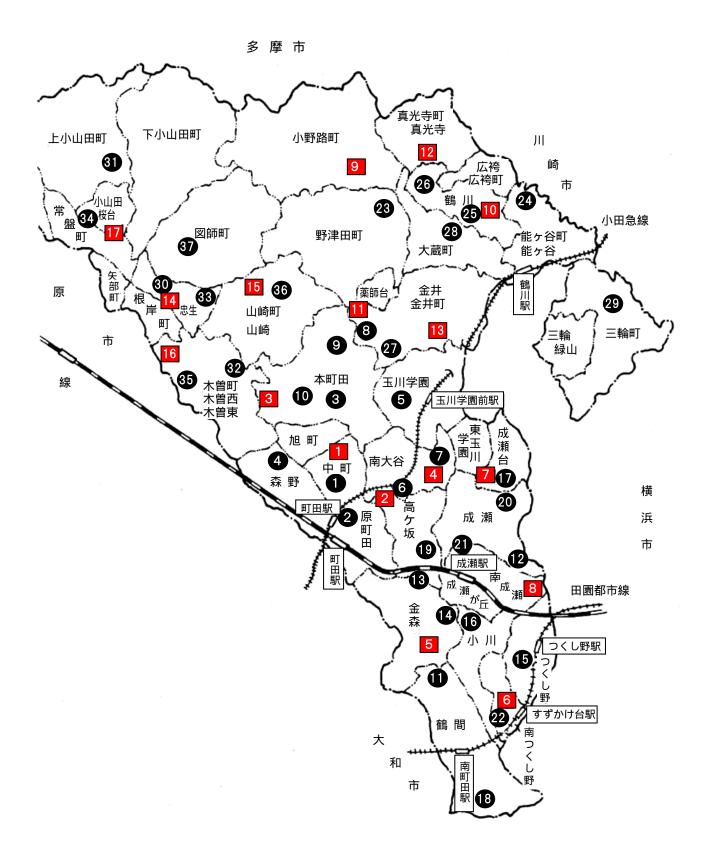
8. 小・中学校配置図



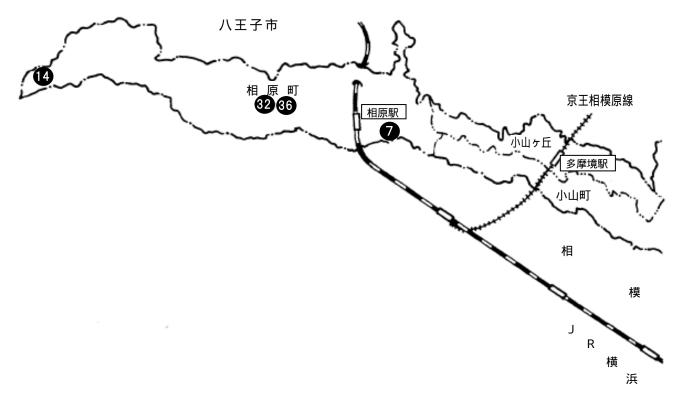
記号	小学校	記号	小学校
0	町田第一小	22	南つくし野小
2	町田第二小	23	鶴川第一小
3	町田第三小	24	鶴川第二小
4	町田第四小	25	鶴川第三小
5	町田第五小	26	鶴川第四小
6	町田第六小	27	金井小
Ð	南大谷小	28	大蔵小
8	藤の台小	29	三輪小
9	本町田東小	30	忠生小
10	本町田小	31	小山田小
•	南第一小	32	忠生第三小
12	南第二小	33	山崎小
13	南第三小	34	小山田南小
1	南第四小	35	木曽境川小
15	つくし野小	36	七国山小
16	小川小	37	図師小
Ð	成瀬台小	38	小山小
18	鶴間小	39	小山ヶ丘小
19	高ケ坂小	40	小山中央小
20	成瀬中央小	41	相原小
21	南成瀬小	42	大戸小
中什么	第一小学校计 201	1年0日	1日上11 中生小

記号	中学校
1	町田第一中
2	町田第二中
3	町田第三中
4	南大谷中
5	南中
6	つくし野中
7	成瀬台中
8	南成瀬中
9	鶴川中
10	鶴川第二中
11	薬師中
12	真光寺中
13	金井中
14	忠生中
15	山崎中
16	木曽中
17	小山田中
18	堺中
19	武蔵岡中

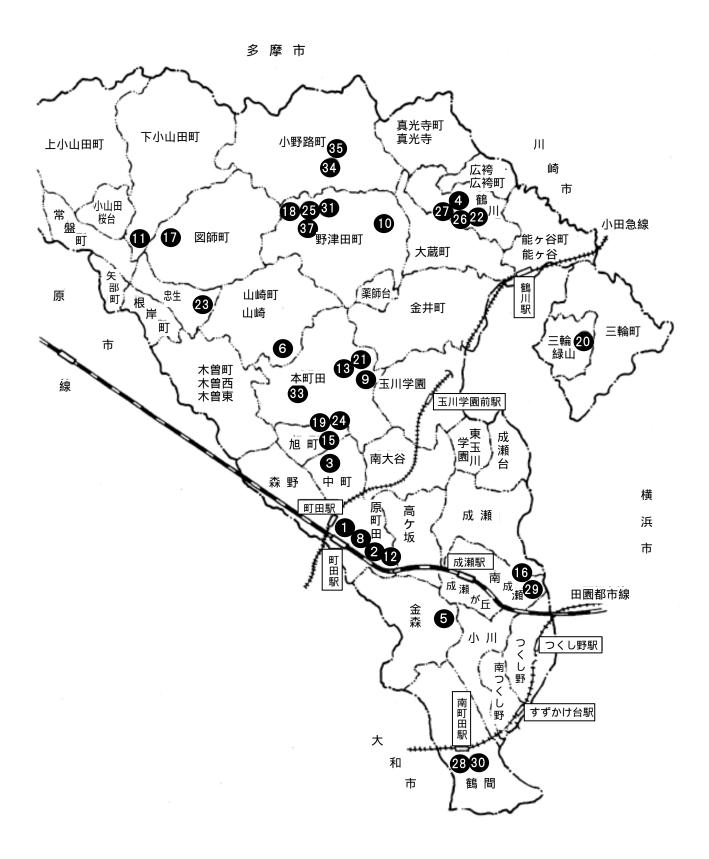
忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。



9. 社会教育施設配置図



記号	社会教育施設等	記号 社会教育施設等
0	まちだ中央公民館	② 三輪みどり山球場
2	中 央 図 書 館	藤の台球場
3	さるびあ図書館	22
4	鶴 川 図 書館	②3 忠生公園ソフトボール場
5	金森 図書館	24 町田中央公園テニスコート
6	木曽山崎図書館	25 野津田公園テニスコート
7	堺 図 書 館	26 鶴川中央公園テニスコート
8	町田市民文学館	27 鶴川第二テニスコート
9	市 立 博 物 館	28 鶴間公園テニスコート
8	自由民権資料館	29 成瀬クリーンセンターテニスコート
•	考 古 資 料 室	30 鶴間公園運動広場
12	国際版画美術館	31 上の原グラウンド
3	ひ な た 村	4 相原中央グラウンド
1	大地沢青少年センター	33 木曽山崎グラウンド
(1)	サン町田旭体育館	34 小野路グラウンド
16	総 合 体 育 館	35 小 野 路 球 場
	室 内 プ ー ル	4個原中央テニスコート
18	陸 上 競 技 場	37 野 津 田 球 場
19	町 田 市 民 球 場	



10. 年表

明治

年	月	項目
1871(明治 4)	2	小野郷学開校(華厳院、万松寺、大泉寺、南仙堂を輪番隔月)
1873 (明治 6)	3	小野郷学解体
()	4~5	市域に19の小学舎開校
		小野学舎(小野路)、智新学舎(野津田)、有隣学舎(上小山田)、又新学舎(下小山田)、
		向明学舎 (図師) 、励精学舎 (真光寺) 、育英学舎 (大蔵) 、研精学舎 (三輪) 、新民学舎 (小
		山)、誠教学舎(小山)、開矇学舎(鶴間)、成高学舎(成瀬)、共研学舎(金井)、昭明学舎
		(本町田)、真敬学舎(南大谷)、日新学舎(原町田)、誠意学舎(木曽)、孝養学舎(山崎)、
4074 (1111/17)		相原学舎(相原)
1874(明治7)	6	この年、大戸学舎開
1875 (明治 8)	6	県の指令により小学舎を学校と改称。村立の学校は村名に改定(小野学舎が小野路学校、 智研学舎が野津田学校、又新学舎が小山田学校、共研学舎が金井学校、昭明学舎が本町田
		首切子言が封津田子校、文체子言が小山田子校、共切子言が並升子校、昭明子言が本町田
1876 (明治 9)	7	小山田学校校舎新築
1010 (131110)	8	誠教学校が誠敬学校と改称、中村に校舎新築
1877 (明治 10)	4	大戸学校が奈良谷に移築
(12.1.7)	7	有隣学校校舎新築
	10	金井学校校舎新築
		この年、研精学校が岡上学校と合併
1878(明治 11)	3	成高学校が東雲寺火災により観性寺に移転
	5	橋本政直らが学習結社「責善社」を設立 ウログやは今の第
4070 (11254 40)	12	向明学校校舎新築 野港田学校校舎新築
1879(明治 12) 1880(明治 13)	10 2	野津田学校校舎新築 研精学校から能ヶ谷学校が独立
1000 (17/12 13)	7	私立学校養英館が相原村に開業
	,	この年、細野喜代四郎・井上光治らが学習結社「琢磨会」を結成
		この年、成高学校は高ヶ坂学校が分立し、成瀬学校と改称
		この年、本町田学校が陶化学校と改称
1881 (明治 14)	1	石阪昌孝らが中心となり「武相懇親会」を開催
	11	石阪昌孝らが政治結社「融貫社」を設立
1882(明治 15)	4	誠敬学校が小山学校と改称
	5	相原学校が中村に校舎新築(通称八丹学校)
4000 (1111/2 40 2	7	政治結社「融貫社」が学習結社「融貫社講学会」に組織変更
1883 (明治 16)	2	野津田村に文武道場「凌霜館」が設立
		この年、研精学校校舎新築 この年、日新学校校舎が浄運寺前に新築
1887 (明治 20)	10	開聴学校校舎が現南一小の地に新築
1889 (明治 22)	4	市制、町村制の施行により市域は5村(町田村、南村、鶴川村、忠生村、堺村)
1890(明治 23)	3	下小山田を中心に玉南青年会が設立
1891 (明治 24)	1	小山田、高ヶ坂の青年会が結成
1892(明治 25)	3	成瀬青年会結成
	4	鶴川村井上村長が学校の一新を図るため校名を変更。一部を統合のうえ、第一鶴川尋常小
		学校から第五鶴川尋常小学校の5校とする
		相原学校、新民学校等が補習科を設置
1893(明治 26)	4	大戸学校が大戸尋常小学校と改称 南、北、西多摩三郡を東京府へ移す
1895(明治 28)	2	割、北、四夕厚二命を宋宗的へ移り 鶴川高等小学校開校
1000 (17/12 20)	8	向明小学校に高等小学校併置
		鶴川村教育会設立
1899 (明治 32)		この年、小川青年会結成
1900 (明治 33)	12	高ヶ坂尋常小学校設立
1901 (明治 34)	4	相原尋常小学校に高等科併設
	5	小山尋常小学校に高等科併設
4000 (1111/2 05)		この年、南部4ヶ村教育会設立
1902 (明治 35)	3	鶴川実業補習学校が発足 日新・陶化・大谷小学校が統合されて町田尋常高等小学校となる
1903 (明治 36)	3 5	日新・陶化・人台小字校が統合されて町田等吊局等小字校となる 新民学校と小山尋常高等小学校が合併
1904(明治 37)	5 4	がは子校と小山等や高寺小子校が古げり、一山寺では一大山寺では、一大山寺では、一大山寺では、一大山寺では、一大山寺では、一大山寺では、一大山寺では、江田寺では、田田寺では、江田寺では、田村では、田田寺ではりは、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺では、田田寺にはい田寺では、田田寺にはい田寺では、田田寺にはい田寺にはいは、田田寺にはい田寺にはい田寺にはいは、田田寺にはい田寺にはい田寺にはいはい田寺にはい田寺にはいはい田寺にはい田寺にはい
1904(明治 37)	4	が山寺市高寺が子校校古が泉 鶴川村で第一・第二・第三・第四・第五鶴川尋常小学校と鶴川高等小学校が統廃合され、
.000 (7)/11 11)		鶴川尋常高等小学校となり、小野路、三輪に分教場を設置
		大戸尋常小学校と相原尋常高等小学校が合併し、大戸分教場を設置
	5	開瞭学校が南村尋常高等小学校と改称
1909 (明治 42)	6	現相原小の地に相原尋常小学校の新校舎完成

大正

年	月	項目
1912 (大正元)	9	忠生村で向明・小山田・有隣・誠意学校が統廃合され、忠生尋常高等小学校となり、小山
		田分教場を設置
1913 (大正2)	9	南第一農業補習夜学校、南第二農業補習夜学校が発足
1914 (大正3)	10	町田農業補習学校が発足
		この年、図師青年会、本町田青年会が発足
1916 (大正5)	5	堺村青年団が創立
1917 (大正 6)	1	忠生尋常小学校に忠生実業補習学校併設
1920 (大正9)	12	南第一農業補習夜学校が南第一実業補習学校、南第二農業補習夜学校が南第二実業補習学
		校と改称
1922 (大正 11)	1	忠生村小山田の同人結社「紅潮社」が同人誌『紅潮』を創刊
1923 (大正 12)	3	相原尋常小学校に高等科2年、相原実業補習学校を併設
	9	関東大震災で相原尋常小学校校舎が大破
1924 (大正 13)	1	忠生実業補習学校が農業公民学校となる
1925 (大正 14)	10	高ヶ坂遺跡の発掘開始
1926 (大正 15)	2	高ヶ坂遺跡が国史跡に指定
	2~5	相原、南村、鶴川等各小学校併設の実業補習学校が農業公民学校と改称
	6~7	各小学校に青年訓練所を併設

昭和

年	月	項目			
1927 (昭和2)		この年、町田尋常高等小学校に青年訓練所を兼ねた町田農公民学校が併設			
1929 (昭和4)	4	玉川学園開校			
		私立町田女学校開校			
		原町田幼稚園創設			
1930 (昭和5)	5	町田高等女学校が町田女学校に併設			
1932(昭和7)	3	町田女学校廃止			
1935(昭和 10)	10	青年学校令公布により、市域の各農業公民学校、青年訓練所が青年学校となる			
1939(昭和 14)	9	鶴川村に私立南多摩農村図書館が開設			
1941(昭和 16)	4	市域の小学校が国民学校と改称			
1942(昭和 17)	3	南村に翼賛青少年団が発会			
1012 (1414 11)	·	この年、玉川学園内に興亜工業大学が開校			
1943 (昭和 18)	1	南村で南多摩郡教育会第三支部教育報国挺身隊が結成			
1040 (нд/н 10)		この年、南国民学校で学校給食開始			
1944 (昭和 19)	8	市域の各村で品川区の鈴ヶ森、伊藤、立会国民学校の学童集団疎開を受け入れる			
1944 (40/11 19)	0	一に成められて田川区の政が称、ア版、立芸国民子校の子皇朱国珠州を支げ代れる。			
1945(昭和 20)	3	この中、南州文 11237855502000000000000000000000000000000000			
1943(中本120)	5 5	玉川工業等 子校開校 焼夷弾を受け、学童集団疎開寮の妙延寺、万松寺焼失			
	9	一成気痒を受け、子童楽団味開京の外延守、万福寺院大 一市域の各国民学校で始業式			
4040 (1771年1704)	10	市域の集団疎開学童の大部分が帰京			
1946(昭和 21)	5	私立桜美林学園開校			
	•	南多摩青年文化連盟発会 町田図書館設署系昌会設立			
4047 (1777 77 00)	9	町田図書館設置委員会設立			
1947 (昭和 22)	3	南多摩郡教育研究会(町田市教育研究会の前身)創立			
		私立町田高等女学校が町田町に移管			
		市域で6・3制による新制中学校が設置され、男女共学による開校式(町田第一中、南中、			
		鶴川中、忠生中、堺中)			
	12	町田小(現町田第一小)で学校給食(みそ汁)開始			
1948 (昭和 23)	3	町田町立町田高等女学校が東京都に移管			
	4	都立町田高等学校設立			
	6	南中、町田小にPTA結成			
	11	市域の教育事務は南多摩教育出張所の所管に			
1949 (昭和 24)	5	町田第一中にPTA結成			
1950 (昭和 25)	5	町田町長、社会教育委員会共催で憲法記念講演会			
	6	町議会の議決により町田町公民館を正式に設置			
	7	堺中にPTA結成			
	10	町田少年補導協会結成			
	11	第2回都教育委員選挙(町田町での投票率60%)			
		南村が社会教育委員会を設置			
1951 (昭和 26)	10	町田町社会教育委員制度発足			
	11	郷土芸能「三ツ目ばやし」文部省芸術祭郷土芸能コンクールに出演			
1952 (昭和 27)	4	町田第二小、町田第三小開校			

	5	忠生第二小が独立開校(現小山田小)
	11	市域各町村に公選制教育委員会発足
		町田町公民館条例施行
1953 (昭和 28)	8	原町田に児童館完成
1954 (昭和 29)	3	町田町役場内に図書室開設
	4	町田町と南村が合併
	10	『鶴川風土記』刊行
1955 (昭和 30)	4	町田第四小開校
	6	町田郷土研究会が「井手の沢古戦場の碑」を本町田菅原神社境内に建立
		町田第四小で完全給食開始
1956 (昭和 31)	2	鶴川村婦人会発足
	9	町田町立図書館創設
	10	市域の各町村で新教育委員会(任命制)発足
1957 (昭和 32)	4	町田第二中開校
	10	八木重吉詩碑完成
1958 (昭和 33)	2	市制施行(町田町、鶴川村、忠生村、堺村の1町3か村が合併)
		町田市教育委員会設置
	3	町田市連合青年団発足
	4	南第三小開校
		町田市婦人連絡協議会結成
	10	市青少年問題協議会条例制定
		市社会教育委員設置
		市章制定
	11	第1回小学校音楽会(市教委、小教研共催)
		│ 町田市小学校PTA(市P協)発足
1959 (昭和 34)	4	小学校科学教育センター設置
		町田第二小に「知恵遅れ学級」開設
	8	市営プール開設
1960 (昭和 35)	1	ボーイスカウト町田第1団結成
	4	小学校 3 年生用社会科副読本『私たちの町田』創刊
	6	町田第一小玉川分校(現町田第五小)開校
	7	市体育指導委員設置
		市青少年委員設置
	12	町田市文化財保護条例制定
1961 (昭和 36)	3	町田市文化財専門委員会発足
	4	町田第一中に障がい学級設置
		私立鶴川高等学校開校
	6	市青少年対策地区委員会設置
1962 (昭和 37)	2	交通安全都市宣言
	4	忠生第三小が独立開校
		中学校科学教育センター設置
		堺中小山分教場廃止
	5	緑のおばさん通学路に立つ
1963 (昭和 38)	3	鶴川地区給食共同調理所開設
	4	町田第五小開校
		教育相談室開設
		都立町田工業高等学校開校
	5	町田市歌、町田音頭できる
	8	鶴川の遺跡発掘調査開始
	11	
1964 (昭和 39)	4	鶴川第二小開校
		都立町田青年の家開所
	8	鶴川団地造成に伴う遺跡発掘調査開始(翌年4月まで)
		忠生中に学校プール第1号が完成
1965(昭和 40)	1	児童詩集『町田の子』創刊
	4	町田第六小開校
	_	市立体育館落成
	8	南地区学校プールが南中に完成
(5777)	11	第1回市民歩こう会
1966(昭和 41)	5	青少年健全育成都市宣言
	_	鶴川第一小新校舎落成、移転
	8	堺地区学校プールが堺中に完成
		鶴川地区学校プールが鶴川第二小に完成
		愛の鐘第1号が市役所屋上に設置
4007 (1777 ()	11	高ヶ坂石器時代遺跡復元
1967 (昭和 42)	3	第 1 回町田市社会教育大会開催 末第二小会本公技(用末第四小)開始
	4	南第三小金森分校(現南第四小)開校
	7	町田地区学校プールが町田第一中に完成
		本町田団地造成に伴う遺跡発掘調査開始(翌年4月まで)

	_	
	9	鶴川第三小開校
4000 (BTT 40)	11	鶴川中新校舎落成、移転
1968 (昭和 43)	3	相原小大戸分校閉校
	4	南第四小、忠生第四小、忠生第五小、町田第三中開校
		市教委配属指導主事が2人制
	_	教育委員会事務局に青少年課設置
	5	市民憲章制定
		玉川学園地区が都下2番目の文教地区に指定
(11	一小野路町に私立小島資料館開館
1969(昭和 44)	4	思生第六小開校
	5	田端遺跡保存工事完成
4070 (1777 45)	7	学童保育クラブが市内 2 か所に開設
1970 (昭和 45)	1	市役所新庁舎オープン
	4	緑ヶ丘小、本町田東小開校 終動図書館専「ストかぜ日、第年間投
	10	移動図書館車「そよかぜ号」運行開始
1971(昭和 46)	12 4	町田市学校保健会設立 南第一小つくし野分校、鶴川第四小、薬師中開校
1971(中山 40)	4	南第一ホラトし野カ牧、鶴川第四小、楽神中用牧 障がい者のためのスクールバスがスタート
		弾がいものだめのスケールバスがスケート 教育委員会事務局に施設課設置
		教育委員会事務局に記録試算 教育委員会事務局にスポーツ課設置
		教育安貞安事の同に入が、プロストランスの日 都立忠生高等学校開校
		本町田遺跡公園開園
	7	本町 田園跡 公園開園 町田第三小ほか 5 校にプール完成(全小中学校に配置)
	9	移動図書館車「そよかぜ2号」スタート
	11	第1回町田市学校保健大会開催
1972 (昭和 47)	2	市立図書館鶴川分館オープン
()	4	つくし野小が独立開校
		日向山公園テニスコート、中央公園バレーボールコート開設
	5	市立図書館本館新築完成
		D51型蒸気機関車が市立図書館本館わき(現すみれ会館横)に展示公開
	6	町田市学校給食協議会発足
	10	市子ども会育成会事務連絡協議会発足
		移動図書館車「そよかぜ3号」スタート
4070 (57777 40)	12	町田第二中防音校舎完成
1973 (昭和 48)	3	市少年相談員設置
	4	本町田西小、藤の台小、鶴川第二中開校 教立町田寿護学校開校
		都立町田養護学校開校 都立町田青年の家が市へ移管、青少年施設「ひなた村」としてオープン
	5	相原小温室プール開き
	6	町田第二小に肢体不自由児の訪問学級開級
		南第一小、南第二小、小山小開校百周年
	7	移動スポーツ車スタート
		青少年施設「ひなた村」が活動開始
	9	
	11	郷土資料館(現市立博物館)開館
1974(昭和 49)	2	第1回子どもマラソン大会開催
	3	旧荻野家住宅が薬師池公園に移築
		『町田市史』(上巻)刊行
	4	南大谷小開校
	_	町田第一小開校百周年 末立図書館会本八館オープン
	6	市立図書館金森分館オープン 相原小開校百周年
1975(昭和 50)	11 2	怕原小用仪日周午 堺中武道館完成
1973 (HE/FH 30)	3	が中以道時元成 旧永井家住宅を薬師池公園に移築
	4	小川小、成瀬台小、南大谷中、本町田中開校
		教育委員会事務局が2部制に
		都立野津田高等学校開校
		お立町田養護学校が野津田町に移転
	6	教育相談室に言語相談部門開設
		図書館で「声の図書」貸し出し開始
	9	つくし野中開校
	12	『堺村誌』刊行
1976(昭和 51)	2	町田第四小に「ことばの教室」開級
	3	『町田市史』(下巻)刊行
	4	忠生第七小開校
		郷土資料館が「町田市立博物館」と改称
	_	日本大学第三高等学校開校 自然体照材(長野県川 ト村 、) 村式
	5 7	│ 自然休暇村(長野県川上村)入村式 │ 市立図書館木曽山崎分館オープン
	1	ルガ四目的小日川町71時7 一ノノ

1977 (昭和 52) 10 10 10 10 10 10 10			
1977 (昭和 52)		8	
4		10	
4	1977 (昭和 52)	3	鶴川中の給食が中止
町田育・中に肢体不自由 中級 収 合成		4	鶴間小、原小、木曽小開校
教育和議室が教育相談所と改称 教育和議室が教育相談所と改称 教育和議室が教育相談所と改称 野田市文化連盟発足 自然休暇村のキャビン使用開始 全国選抜リトルリーグ野球大会プリーク 全国選抜リトルリーグ野球大会プリーク でのサマルで教育を教験化率、体育館保有率、小中学校のグール保有率 100%) 旧永井家住宅が国車要文化財に指定 高ヶ坂小高等板絵食調入 東京女管館短大が可申に移転 2 町田市民小一ルが落成 7 町田市民小一ルが落成 7 町田市民小一ルが落成 7 町田市民小石に館網所廃止 2 町田市民小石に館網所廃止 2 町田市民小田が高球 7 世級別川共同地で 2 町田市民小田が高球 7 世級別川共同地の 7 世級別別に 7 世級別別別に 7 世級別別に 7 世級別別に 7 世級別別別に 7 世級別別別に 7 世級別別別別に 7 世級別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別		-	
おか可用養護学校に高等部設置 町田市文化製料を含す 1978(昭和53)			
町田市文化連盟発足 日然味明や日本・ビン使用開始 全国選抜リトルリーグ野球大会で町田リトルリーグ優勝 市立図書館館川分館が移転オープン			
日然休暇村のキャビン使用開始 日然下級大会で町田リトルリーグ優勝 市立図書館錦川分館が移転オープン (この年で、中学校の校舎鉄筋化率、体育館保有率、小中学校のブール保有率 100%) 旧永井家柱宅が国重要文化財に指定 都立成瀬高砂度 本の水。金井小開校 都立成瀬高地民が町田に移転 大地沢青少年センターが通年施設としてオープン 1979 (昭和 54) 10 町田市公民館新装オープン 1980 (昭和 55) 4 初瀬中央市 11 11 11 11 11 11 11			
1978 (昭和 53) 10 10 10 10 10 10 10 1		7	
10 市立図書館鶴川分館を終析オープン (この年で、中学校の校舎鉄筋化率、体育館保有率、小中学校のブール保有率100%) 1978(昭和53) 1 旧永井家住宅が国重要文化財に指定 4 名が近外、金井内・川原校 学校給資に米飯給資導入 東京女学館及大部町田に移転 7 7 7 7 7 7 7 7 7			
1978(昭和 53)		_	至国選抜りトルリーク野球大会で町田リトルリーク優勝
1 日永才家住宅が国重要文化財に指定		10	
4 高ヶ坂小、金井小開校 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一			
お立成瀬高等学校開校 学校給食に米飯給食導入 東京女学館短大が町田に移転 10 11 11 12 1979(昭和 54) 18 10 12 19 11 11 13 13 14 14 15 15 15 15 15 15	1978(昭和 53)	1	
学校給食に米飯給食導入 10		4	高ヶ坂小、金井小開校
学校給食に米飯給食導入 10			都立成瀬高等学校開校
東京女学館短大が町田に移転 大地沢青少年センターが通年施設としてオープン 町田市に末・ルが落成 町町市の民館が設オープン 鶴川共同調理所廃止 成瀬中央小、成瀬台中、山崎中開校 学校機械警備開始 9 少年サッカー場オープン 南京瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校 都立小川高等学校開校 11 第10回町田市障がに学級、養護学校連合マラソン大会開催 薬師中水洗部が都大会で優勝 12 第1回公民館まつり 第1回公民館まつり 1883(昭和58) 2 忠生中事件起きる 大戸小、木高等学校開校 8 ド C 町田が第5 会社の開校 8 ド C 町田が第5 会社の開校 8 ド C 町田が第5 会社の開校 8 ド C 町田が第5 会社の開校 8 地域教育相談所開設 1984(昭和59) 4 地域教育相談所開設 8 地域教育相談所開設 8 地域教育相談所開設 1984(昭和60) 2 忠生中事・大会で優勝 11 1985(昭和60) 2 忠生中が「学校園・日和田・開校 本倉入谷戸遺跡から和開館 11 以出田・教育交流視察訪中団 12 第1次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 12 教育研究所が原小内にオープン 1866(昭和61) 3 関東地方最古の仏像が東雲 17 町田市立自由民権の碑 187 (昭和62) 4 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和63) 5 5 世界を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を			
10 10 10 10 10 10 10 10			東京女学館短大が町田に移転
10 町田市民ホールが落成 12 町田市公民館新装オープン 鶴川共同調理所廃止 2 城瀬中央小、成瀬台中、山崎中開校 学校機械警備開始 少年サッカー場オープン 南の瀬小、南のズ東小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校 都の瀬小、南のズ東小、大蔵・、山崎小、真光寺中開校 11 卯山田小新校舎完成(木造校舎解消) 第 10回町田市崎がい学級 後護学校連合マラソン大会開催 第 10回町田市崎がい学級 後護学校連合マラソン大会開催 第 10回町田市崎がい学級 後護学校連合マラソン大会開催 第 10回下町市崎がい学級 後護学校連合マラソン大会開催 第 10回下町・大会で優勝 第 10回下町・大会で優勝 第 10回下町・大会で優勝 第 10回下町・大会で優勝 第 10回下間・大会で優勝 第 10回下間・大会で展 10回下間・大会で優勝 12回下・大会で展 12回下・大会で展 12回下・大会で展 12回下・大会で展 12回下・ナース・ルー・エー・オーケストラ誕生 11回下・学校再建の歩み。刊行 11回下コープン 11回下の工会が表 11回下市・学校再建の歩み。刊で 12回下・大会に下 12回下・大会に下 12回下・大会に下 12回下の上の大会を計画では 12回下の上の大会を計画では 12回下の上の大会を計画では 12回下の上の大会を計画では 12回下の上の大会を計画では 12回下の上の大会を計画では 12回下の上の大会を計画では 12回下面・大会を対画では 12回下面・大会を対画では 12回下面 1		8	
1979 (昭和 54) 12			
1979 (昭和 54) 3			
4	1070(昭和 5/1)		
学校機械警備開始 学校機械警備開始 学校機械警備開始 学年サッカー場オーブン 南成瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校 都立小川高等学校開校 小山田小新校舎完成(木造校舎解消) 第1回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催 薬師中水泳部が都大会で優勝 F C 町町が第5回全日本少年サッカー大会で優勝 F C 町町 新立の場面 下 C 町	1070 (нд/н от)	_	
1980 (昭和 55) 4 一		7	
1980 (昭和 55) 4 南成瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校 都立小川高等学校開校 11 小山田川新校舎完成(木造校舎解消) 第 1 回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催 薬師中水泳部が都大会で優勝 7 平田田が第 5 回全日本少年サッカー大会で優勝 第 1 回公民館まつり 三輪小、南成瀬中が開校 忠生中事件起きる 4 大戸小、木曽中、武蔵岡中開校 都立山崎高等学校開校 地域教育書館堺分館開館 1984 (昭和 59) 4 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡がら和詢開弥出土 法政大学多摩キャンパス開校 小山田遠跡が特殊樹脂加工・産施して公園としてオーブン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 11 2 教育研究所が原小内にオーブン 11 12 数育研究所が原小内にオーブン 11 12 13 14 15 15 16 16 16 17 17 17 18 17 17 18 17 18 17 18 18		0	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	1000 (四年 55)		
11	1960 (哈和 33)	4	
第1回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催 薬師中水泳部が都大会で優勝 第1回公民館まつり 三輪小、南成瀬中が開校 忠生中事件起きる 4 大戸小、木曽中、武蔵岡中開校 都立山崎高等学校開校 地域教育相談所開設 市立図書館堺分館開館 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田薗藤が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第11 町田ジュニア・学校再建の歩み』刊行 第1 次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の究に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第2 次町田市教育交流視察訪中団 12 教育研究所が原小内にオープン 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第2 次町田市教育交流視察訪中団 11 町田市立自際版画美術館オープン 1987(昭和 62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 1988(昭和 63) 5 町田市中学生中国訪問団		44	
1981 (昭和 56)		11	
8 F C 町田が第5回全日本少年サッカー大会で優勝 12 第1回公民館まつり 三輪小、南成瀬中が開校 三輪小、木曽中、武蔵岡中開校 都立山崎高等学校開校 地域教育相談所開設 市立図書館堺分館開館 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオーブン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 1985 (昭和60) 2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第1次町田市教育交流視察訪中団 1世 民権の森に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 1986 (昭和61) 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第2次町田市教中視察 町田市立国際版画美術館オープン 市立中学校外属人英語学習指導補助者制度発足 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 1988 (昭和63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 1988 (昭和63) 5 町田市中学生中国訪問団	4004 (PTTT = 0)	_	
1982 (昭和 57) 4 三輪小、南成瀬中が開校 2 忠生中事件起きる 4 大戸小、木曽中、武蔵岡中開校 都立山崎高等学校開校 地域教育相談所開設 市立図書館堺分館開館 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 1986 (昭和 61) 3 関東が方最古の仏像が東雲寺で発見 第 2 次町田市教育交流保察訪中団 10 塩川文相が忠生中夜察 第 2 次町田市教育交流保察訪中団 11 町田市立国際版画美術館オープン 1987 (昭和 62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 町田市中学生中国訪問団	1981 (昭和 56)		
1982 (昭和 57) 1983 (昭和 58) 2		-	
1983 (昭和 58) 2 忠生中事件起きる 大戸小、木曽中、武蔵岡中開校 都立城育相談所開設 市立図書館堺分館開館 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡がら和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡がら科藤間加工を施して公園としてオープン 町田町立ニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第1次町田市教育交流視察訪中団 民権の森に「自由民権の碑」建立 教育、次町田市教育交流視察訪中団 民権の究所の小内にオープン 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第2次町田市教育交流視察訪中団 塩川文相が忠生中視察 第2次町田市立自由民権資料館オープン 町田市立自由民権資料館オープン 町田市立自由民権資料館オープン 町田市立自地民権資料館オープン 町市・本田学校外国人英語学習指導補助者制度発足 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 町田市中学生中国訪問団			
大戸小、木曽中、武蔵岡中開校 都立山崎高等学校開校 地域教育相談所開設 地域教育相談所開設 地域教育相談所開設 地域教育相談所開設 地域教育相談所開設 地域教育相談所開設 地域教育規則 地域教育规则 地域教育研究所が原小内にオープン 地域教育研究所が原小内にオープン 地域教育研究所が原小内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育研究所が原外内にオープン 地域教育者が教育を表述教育、第2次町田市教育交流視察訪中団 地域教育者が教育、第2次町田市政自由民権資料館オープン 地域教育者が教育、第2次町田市立自由民権資料館オープン 地域教育者が教育者が教育者が教育者が教育者が教育者が教育者が教育者が教育者が教育者が		4	
都立山崎高等学校開校 地域教育相談所開設 市立図書館堺分館開館 市立図書館堺分館開館 小山田南八、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 1985 (昭和 60) 2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第1 次町田・教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 教育研究所が原小内にオープン 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン 垣田市立自由民権資料館オープン 1987 (昭和 62) 4 町田市立自版極画美術館オープン 1987 (昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 1988 (昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 町田市中学生中国訪問団	1983(昭和 58)	2	
1984 (昭和 59) 4 地域教育相談所開設 市立図書館堺分館開館 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺が水樹脂加工を施して公園としてオープン 11 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 12 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 8 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 1986 (昭和 61) 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 町田市立自由民権資料館オープン 町田市立自由民権資料館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988 (昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団		4	
1984 (昭和 59) 1984 (昭和 59) 1984 (昭和 59) 4			都立山崎高等学校開校
1984 (昭和 59) 1984 (昭和 59) 1984 (昭和 59) 4		8	
1984 (昭和 59) 4 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 1985 (昭和 60) 2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 日権の森に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 1986 (昭和 61) 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 「加」文相が忠生中視察 町田市立自由民権資料館オープン 町田市立自由民権資料館オープン 町田市立国際版画美術館オープン 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988 (昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 町田市中学生中国訪問団		9	
木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 1985(昭和60) 2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 教育研究所が原小内にオープン 1986(昭和61) 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 町田市立自由民権資料館オープン 1987(昭和62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団	1984(昭和59)		
法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 8 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 2 教育研究所が原小内にオープン 1986(昭和61) 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 8 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン 1987(昭和62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団			
5			
11 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生 1985 (昭和 60) 2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 8 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 12 教育研究所が原小内にオープン 1986 (昭和 61) 3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 8 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン 1987 (昭和 62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988 (昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団		5	
1985 (昭和 60)2忠生中が『学校再建の歩み』刊行 第 1 次町田市教育交流視察訪中団 111986 (昭和 61)12教育研究所が原小内にオープン1986 (昭和 61)3関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 88第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10塩川文相が忠生中視察 111987 (昭和 62)4町田市立国際版画美術館オープン 61988 (昭和 63)5ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 81988 (昭和 63)5サイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8			
8第1次町田市教育交流視察訪中団11民権の森に「自由民権の碑」建立12教育研究所が原小内にオープン1986(昭和61)3関東地方最古の仏像が東雲寺で発見8第2次町田市教育交流視察訪中団10塩川文相が忠生中視察11町田市立自由民権資料館オープン1987(昭和62)4町田市立国際版画美術館オープン6市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足1988(昭和63)5ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン8町田市中学生中国訪問団	1985(昭和 60)		
11 民権の森に「自由民権の碑」建立 12 教育研究所が原小内にオープン1986 (昭和 61)3 関東地方最古の仏像が東雲寺で発見 8 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン1987 (昭和 62)4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足1988 (昭和 63)5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団	1000 (HE/TH 00)		
12教育研究所が原小内にオープン1986 (昭和 61)3関東地方最古の仏像が東雲寺で発見8第 2 次町田市教育交流視察訪中団10塩川文相が忠生中視察11町田市立自由民権資料館オープン1987 (昭和 62)4町田市立国際版画美術館オープン6市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足1988 (昭和 63)5ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン8町田市中学生中国訪問団		-	24・25日である人がルスの17日 足族の态に「白山足族の神、建立
1986 (昭和 61)3関東地方最古の仏像が東雲寺で発見8第 2 次町田市教育交流視察訪中団10塩川文相が忠生中視察11町田市立自由民権資料館オープン1987 (昭和 62)4町田市立国際版画美術館オープン6市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足1988 (昭和 63)5ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン8町田市中学生中国訪問団			
8 第 2 次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン 1987(昭和 62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団	1086(収刊 61)		
10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン 1987(昭和 62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団	1300 (HQ VH Q1)		
11 町田市立自由民権資料館オープン 1987(昭和62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団			
1987(昭和 62) 4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団		-	
6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足 1988(昭和 63) 5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団	4007 (17777 00)		
1988(昭和 63)	1987(昭和62)		
8 町田市中学生中国訪問団	4000 (1777 - 00)		
	1988(昭和 63)		
│ 12 │『町田市教育史。(上券)刊行		_	
ן יין אואיואנעט (ביין וווו)		12	『町田市教育史』(上巻)刊行

平成

年	月	項目
1989 (平成元)	7	自然休暇村本館オープン
		教育広報『まちだの教育』創刊
		教育委員会事務局が森野分庁舎へ移転
	8	忠生第五小で余裕教室を一般開放
	9	忠生少年野球場オープン
		第1回町田薪能
	10	市立室内プールオープン
1990 (平成 2)	1	自然休暇村に大型望遠鏡設置

	3	『町田市教育史』(下巻)刊行
	4	室内プール入場者 10 万人 国際版画美術館にハイビジョンギャラリー
	10	国际放画美術館にバイビグョグギャグサー 市立陸上競技場オープン
		市立総合体育館オープン
	11	市立中央図書館オープン
	12	町田市市民大学構想検討委員会が答申
1991(平成 3)	6	大地沢青少年センター本館オープン
	7 8	│ 国際版画美術館に110インチのハイビジョン │ 室内プール利用者が 100 万人を突破
	11	重内フール利用省が 100 万人を失破 町田市公民館が文部大臣表彰
1992 (平成4)	3	本町田遺跡、西谷戸横穴墓群が東京都指定史跡に
() /////		『町田市教育史』(資料編)刊行
	7	市立図書館全館がオンライン化
	8	ニュージーランドへ第1回中学生海外派遣団
	9	町田第一中体育館・温水プール落成
1993 (平成 5)	11	子ども議会が開会(小学 6 年生) ニュージーランドの中学生来訪
1993 (+11% 3)	6	ニューノー ファイのデザエネ的 まちだ市民大学HATSが開校
	7	しひなた村新装オープン
	9	忠生中体育館・プール落成
1994 (平成 6)	2	町田第四小内にまちだ市民大学の活動拠点が完成
	7	「町田市余裕教室活用計画案策定委員会」報告書まとまる
	10	青少年課発足 末立小 中学校の会談教室の活用による意思者短いない記書事業において、町田末がパイ
	11	│ 市立小・中学校の余裕教室の活用による高齢者福祉施設設置事業において、町田市がパイ │ ロット自治体に指定
		ロット日/A 日/A 日/A
1995 (平成7)	1	大地沢青少年センターにて町田市のジュニアリーダーと韓国の青少年が国際交流
	4	学校週5日制を月2回実施(毎月第4土曜日)
1996(平成 8)	3	鶴川第二小が東京都学校給食優良学校として表彰される
	_	町田市子どもセンター建設計画検討委員会が答申
	5	青少年健全育成都市宣言 30 周年記念事業スタート 子ども憲章実行委員会が子どもたちの手による「子ども憲章」を発表
	8	- すとも悪草美行委員会がすともたちの子による。すとも悪草すを光衣 - 堺中女子バスケットボール部が全国大会優勝
		成瀬台中女子バドミントン部、ダブルスで全国大会準優勝
	11	自由民権資料館新装オープン
1997 (平成9)	6	南中学ラグビー部が関東大会で優勝
4000 (\vec{17} \tau \)	10	鶴川第二小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
1998(平成 10)	12	│ つくし野小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「つくし野デイサービスセンター」が開所 │ 町田市立学校適正規模適正配置等審議会が答申
1999(平成 11)	3	南中体育館・温水プール落成
,	4	鶴川第四小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「デイサービス鶴川」が開所
	5	「町田市子どもセンター"ばあん"」がオープン
2000(平成 12)	1	
	4	教育部が学校教育部に、文化部が生涯学習部に名称変更 市教委配属指導主事が 4 人制
	7	巾教安配属指導エ争が4人間 金森図書館が移転新築オープン
2001 (平成 13)	3	『わたしとわたしたち - 人権と民権を考える - 』刊行
() ()	4	忠生第四小と木曽小を統合、「木曽境川小学校」が開校
		サン町田旭体育館オープン
	8	日本大学第三高等学校が第 83 回全国高等学校野球選手権大会で優勝
2002(平成 14)	10	子ども議会が開会(中学生) 新しい成人式「二十祭まちだ」を開催
2002 (+13% 14)	'	鶴川中新校舎、体育館、温水プール落成
	4	間川中が新校舎に移転
		木曽境川小が本校舎に移転
		本町田西小、緑ヶ丘小、原小を統合、「本町田小学校」が開校
		教育研究所が旧忠生第四小に移転
		学校週 5 日制が完全実施 小・中学校全校に「学校運営協議会」設置
		ホ・データ主義に、子教達当励職会」設置 市民大学HATSが森野分庁舎に移転
		子どもセンター"ばあん"来館者20万人
	5	学生教育ボランティア制度開始
	10	まちだ中央公民館(町田センタービル6階~8階)オープン
2003(平成 15)	2	町田第一小体育館、プール、増築校舎完成 「町田市立小・中学校選択制度検討委員会」報告書答申
2003 (TIX 13)	3 4	'町田巾立小・中子仪選折前及快討安員云」報告書合中 本町田小が本校舎に移転
	-	本町田小が本校音に19章4 忠生第五小・忠生第六小・忠生第七小を統合、「七国山小学校」が開校
		小・中学校全校に「主幹」職の教員配置される

		青少年課・学務課一部業務(私立幼稚園等保護者補助金等)を子ども生活部(子ども総務
		課・児童青少年課)へ組織移管替え
		指導課事務見直しに伴い4係(事務・指導・教職員・就学相談)が3係(管理・教職員・
	7	就学相談)制に 小山ヶ丘小学校建設に着工
2004 (平成 16)	3	「町田市立中学校給食実施計画」履行を答申
2004 (+11% 10)	4	七国山小が本校舎に移転(学校適正規模適正配置事業に伴う小学校3校統合終了)
		「町田市立小・中学校選択制度」開始
		指導課教育センター係発足(旧教育研究所と旧教育相談所組織を改組)
		教育センターに指導主事(市費負担)を新たに1人配属
	6	町田市教育センター改装オープン
	7	町田市立文学館着工
2005(平成 17)	4	
		小中学校全校で「教頭」から「副校長」に名称変更
		小学1年生の「生活指導補助者」91名を31校に派遣
		成瀬台小に「通級指導情緒障がい学級」を開設 小中学校「授業力」向上プログラム~9年目までの全教職員対象
		『発掘された町田の遺跡』全面改訂(前回1977年発行以来)
		教育総務課の3係(総務・経理・企画調整)を新たに3係(総務・事務・学校環境整備)
		上の原グラウンドオープン
		相原中央グラウンドオープン
	9	中学校給食を弁当併用外注方式により4校(忠生中・小山田中・堺中・武蔵丘中)で開始
— »		中学校2年生職場体験授業を実施
2006 (平成 18)	1	小・中学校に学校サポーター導入
	3	│小・中学校と教育センターを結ぶ学校ネットワークを整備 │インターネットでオーストラリアの小学生と国際交流
	4	インターネットとオーストンラアの小子主と国际文派 体育施設及び自然休暇村の管理、運営を指定管理者へ移行
	7	日本自治は大きない。日本の一部では、「は日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本
		小野路球場・グラウンドオープン
		木曽山崎グラウンドオープン
		相原中央テニスコートオープン
	5	中学校給食4校で追加実施(南中・つくし野中・成瀬台中・南成瀬中)
	10	町田市民文学館ことばらんどオープン
2007 (平成 19)	4	組織改正により、施設課の一部業務を営繕課へ移管
		特別支援教育開始 学校支援者ランティス開始
	5	学校支援ボランティア開始 中学校給食 4 校で追加実施(鶴川中・真光寺中・薬師中・鶴川第二中)
	6	e - ラーニング実施
	8	野津田球場オープン
	10	八王子市と図書館の相互利用開始
	12	図師小学校建設に着工
— »		『武相自由民権史料集』(全6巻)刊行
2008(平成 20)	3	
	4	MENTAL POLICE AND TO ISSUE MISSING ASSESSMENT ASSESSMEN
		│村・大地沢青少年センターを子ども生活部へ移管 │組織改正により、社会教育課を生涯学習課に名称変更し、一部業務を文化振興課に移管
		都立町田養護学校の学校名称が「都立町田の丘学園」に変更
		小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が開始
		京王沿線七市の図書館の相互利用開始
	5	中学校給食3校で追加実施(町田第一中・町田第三中・南大谷中)
	6	中学校給食1校で追加実施(町田第二中)
		さるびあ図書館を基点に学校図書館支援貸出事業スタート
	8	「町田市の教育に関する市民意識調査」実施 「町田市党校支援宝行委員会、設立
	10 11	「町田市学校支援実行委員会」設立 小山中央小学校建設に着工
2009 (平成 21)	2	小田中央小学校建設に有工 町田市教育プランを策定
2000 (1/3% 21)		町田市民文学館来館者 10 万人
	3	『町田市立小・中学校校歌集』発行
	4	保健給食課を新設し、学務課の一部業務を移管
		「図師小学校」が開校
	5	中学校給食4校で追加実施(本町田中・金井中・山崎中・木曽中)し、全中学校で給食を
	_	
2040 (77 🖶 22)	6	モデル校に学校支援地域理事を設置。その学校を「スクールボード校」としてスタート
2010(平成 22)	3 4	第1回中学生「東京駅伝」大会において男女とも優勝 「小山中央小学校」が開校
	9	・小山中央小子校」が開校 忠生センター、小山市民センター、南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡しサー
	9	心主ピンダー、小山中氏ピンダー、 山山駅 連絡別 (図音館資料の)
L	1	

	10	小山中学校建設に着工
	10	
	11	「フェスタぶらりライブラリー in まちだ」開催(中央図書館)
2011 (平成 23)	3	本町田中学校閉校
	8	日本大学第三高等学校が第 93 回全国高等学校野球選手権大会で優勝
	9	忠生第一小学校が忠生小学校に名称変更

11. 問い合わせ先一覧

市外局番 042-

教育委員会

教育総務課	森野 1-33-10	724-2172
施設課	森野 1-33-10	724-2174
学務課	森野 1-33-10	724-2176
保健給食課	森野 1-33-10	724-2177
指導課	森野 1-33-10	724-2154
教育センター	木曽東 3-1-3	793-2481
生涯学習課(生涯学習係)	森野 1-33-10	724-2181
生涯学習課 (文化財係)	森野 1-33-10	724-2554

学習施設

まちだ市民大学 HATS	森野 1-33-10	729-1195
中央図書館	原町田 3-2-9	728-8220
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722-3768
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735-5691
金森図書館	金森 1021	710-1717
木曽山崎図書館	山崎町 2160	793-6767
堺図書館	相原町 795-1	774-2131
町田市民文学館ことばらんど	原町田 4-16-17	739-3420
まちだ中央公民館	原町田 6-8-1	728-0071
自由民権資料館	野津田町 897	734-4508
考古資料室	下小山田町 4016	797-9661
国際版画美術館	原町田 4-28-1	726-2771
博物館	本町田 3562	726-1531

文化施設

自由民権資料館	野津田町 897	734-4508
考古資料室	下小山田町 4016	797-9661
国際版画美術館	原町田 4-28-1	726-2771
博物館	本町田 3562	726-1531



12. 私立学校等一覧

区分	学校名	住所	電話
私立小学校	玉川学園小学部	玉川学園 6-1-1	739-8613
松立小子秋	和光鶴川小学校	真光寺町 1282-1	736-0036
	桜美林中学校	常盤町 3758	797-2668
 私立中学校	玉川学園中等部	玉川学園 6-1-1	739-8593
松丛中子权	日本大学第三中学校	図師町 2375	793-2123
	和光中学校	真光寺町 1291	734-3402
	町田高等学校	中町 4-25-3	722-2201
	町田総合高等学校	木曽町 18-2276	791-7980
	野津田高等学校	野津田町 2001	734-2311
都立高等学校	成瀬高等学校	成瀬 1222-1	725-1533
	小川高等学校	小川 2-1002-1	796-9301
	町田工業高等学校	忠生 1-20-2	791-1035
	山崎高等学校	山崎町 1453-1	792-2891
	桜美林高等学校	常盤町 3758	797-2667
	玉川学園高等部	玉川学園 6-1-1	739-8533
私立高等学校・	明泉学園鶴川高等学校	三輪町 122	044-988-1126
私立高等専門学校	日本大学第三高等学校	図師町 2375	793-2123
	和光高等学校	真光寺町 1291	734-3403
	サレジオ工業高等専門学校	小山ヶ丘 4-6-8	775-3020
	桜美林大学・同短期大学部	常盤町 3758	797-2661
	国士舘大学	広袴 1-1-1	735-3111
	昭和薬科大学	東玉川学園 3-3165	721-1511
	玉川大学	玉川学園 6-1-1	739-8111
大学・短期大学	鶴川女子短期大学	三輪町 1135	044-988-1128
	東京家政学院大学	相原町 2600	782-9811
	東京女学館大学	鶴間 1105	796-1145
	法政大学	相原町 4342	783-2091
	和光大学	金井町 2160	044-988-1431
特別支援学校等	都立町田の丘学園	野津田町 2003	737-0570
1寸別又扳子仅守	私立日本聾話学校	野津田町 1942	735-2361

13. 町田市子ども憲章

みんな自分に素直に生き、

そしてお互いを認め合うそんな社会へ...

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。 そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、 まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

人間尊重社会の実現

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけではいけない。 相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

自主性の確立

「自分から」。それがいちばん大切なこと。人にやってもらうばかりではだめなんだ。 いつも楽しくなるよう

自分の道は自分で切り開いていきます。

個性の尊重

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違ってもこわくない。当たり前のことなんだ。 だから、

それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

命の大切さ

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。だから、 **みんなで助け合って生きていきます。**

学ぶ心の大切さ

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。だから、 ものごとに前向きに取り組んでいきます。

友情の大切さ

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。いつも気持ちがわかり合える、 そんな仲間。だから、

仲間を大切にし続けます。

夢を追う気持ち

現実にとらわれなくともいい。わずかな可能性でも、

自分の夢をもち続けます。

1996年5月11日制定

2011 町田の教育

発 行 2011年(平成23年)11月 編集・発行 町田市教育委員会 学校教育部 教育総務課 町田市森野1 33 10 電話 042・722・3111

刊行物番号

11-46

[庁内印刷]